



会 議 録

八幡市教育委員会

開催日時	令和6年8月26日（月曜日） 午後2時30分～午後4時24分	
場所	本庁舎5階 会議室5-2	
出席委員名	川 中 尚（教育長） 橋 本 陽 生（職務代理者） 佐 野 恵理子	八頭司 めぐみ 狩 野 理恵子
委員を除く出席者の職・氏名	部 長 辻 和 彦 次 長 渡 邊 晋 学校教育課主幹 田 原 麻 衣	こども未来課長 高 橋 洋 貴 こども未来課 加 川 美 和 《傍聴人 13名》

1. 開 会

2. 議 題（協議事項）

(1) 令和7年度以降使用中学校教科用図書に係る採択について

3. 配付資料について

・ 7月議事録（写し）

4. 閉 会

※次回定例教育委員会

日時：9月18日（水）午後3時から

場所：庁舎5階 会議室5-2

※学校訪問先

くすのき小学校（10：00）

男山第三中学校（11：30）



内 容

<p>[教 育 長] [高 橋 課 長] [教 育 長]</p>	<p>1. 開 会</p> <p>それでは、臨時教育委員会を開催いたします。こども未来課 本日の臨時教育委員会に13名の傍聴の申出がございますので、ご報告をいたします。 ただいま事務局より報告のありました傍聴の申出に対しまして、委員会の傍聴の取扱いは八幡市教育委員会傍聴規則第1条で、教育長の許可を得た者は傍聴する事ができると規定されております。ホームページには5名という形で記載されておりましたが13名全員が会場に入れます。また、令和6年4月25日付け6教学第512号、令和7年度使用教科書の採択事務処理についての京都府教育委員会からの通知の中にも、採択権者においては、より一層、採択結果及びその理由をはじめとする教科書採択に関する情報の積極的な公表に取り組み、採択に関する説明責任を果たすことが求められていることとあることから、13名全ての傍聴を許可したいと思います。何かご意見はございませんか。特にご意見がないようですので、可否を述べます。教育長として傍聴を許可したいと思います。それでは事務局から傍聴人に入場するよう伝えてください。暫時休憩します。</p> <p>《傍聴人が入場し着席》</p> <p>それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。議題1、令和7年度以降使用中学校教科用図書に係る採択についてを議題といたします。今回は令和7年度以降に中学校において使用する教科用図書についての採択をする会議でございます。各教育委員の先生方には6月の初め頃から検定済の教科書を検討していただきましたので、ご意見等を積極的に出していただけたらと思います。先月7月31日に山城地域での地区協議会が開かれて、山城地域で使用する教科書が選定されました。その事について事務局の方から報告を受けながら積極的なご意見をいただき、採択していただければと思います。それでは、まず地区協議会の説明をお願いします。</p>
<p>[田 原 主 幹]</p> <p>[教 育 長]</p>	<p>2. 議 題（協議事項）</p> <p>（1）令和7年度以降使用中学校教科用図書に係る採択について</p> <p>失礼いたします。第2回山城教科用図書採択地区協議会は、委員20名全員が出席し成立しております。</p> <p>まず、会長より選定についての基本的な観点として4点提示されました。</p> <p>1点目 山城地区において学力向上は、大きな課題の一つである。特に児童・生徒が、主体的に学習に取り組める工夫や児童・生徒の思考力・判断力・表現力の育成を図るための配慮等があるかといった学力向上の視点。</p> <p>2点目 教育を取り巻く多様な価値観がある中、公教育として、多種多様な意見がより反映されているか、公平性が担保されているかの視点。</p> <p>3点目 管内教員の若年化に伴い、授業の質を担保する上でも、若手教員でも授業で使いやすいかどうかの視点。</p> <p>4点目 児童・生徒が、親しみやすく、使いやすく、そして、主体的・対話的に学習に取り組むことが出来るかどうかの視点。以上4点を観点として、協議がなされました。</p> <p>教科用図書の選定ですが、まず教科ごとに順次代表調査員から10分程度調査・研究の報告をして頂きました。</p> <p>調査報告は、府教育長通知である「令和7年度使用中学校・義務教育諸学校後期課程、特別支援学級及び特別支援学校小・中学部の教科用図書の採択基準及び基本観点について」を踏まえ調査・研究が行われたものでございます。</p> <p>報告の後、代表調査員に質問を行い、その後代表調査員には退席していただき採択委員のみで協議し、1種類を選んでいただくという流れで選定が行われました。今回については、すべて全員一致で採決されております。以上、報告させていただきます。</p>
<p>[橋 本 委 員]</p>	<p>7月31日の採択地区協議会についての報告がありましたけれども、ただいまの報告につきまして、質問、ご意見はございますか。</p> <p>2点確認したいと思います。1点目は、選定についての観点を4点述べられましたけれど</p>



	<p>も、これは従来の観点と変わったところがあるのかどうか。2点目は、GIGAスクール構想から本市においても積極的にICT等の整備を進めていただき、学校教育の中で推進されているところであります。また、今回教科書選定にあたって見せていただきましたけれど、各社とも非常に素晴らしいデジタルコンテンツ等たくさんご用意されております。特にデジタルコンテンツ等の選定の扱いについて、どのように考えられているのでしょうか。</p>
[田原主幹]	<p>まず1点目につきましては、従来の4観点と変わりなくございます。2点目のデジタルコンテンツは、背景として2020年度までに小・中学生一人一台の学習用端末が国のGIGAスクール構想で一気に配備されデジタル対応が加速しておる中であります。山城の地区協議会でも話題に上がっておりまして、本市といたしましてもデジタルコンテンツの導入を進めている状況でございます。</p>
[教育長]	<p>これから順次、令和7年度以降使用中学校教科用図書採択を行いたいと思います。それでは、まず事務局から説明をお願いします。</p>
[田原主幹]	<p>中学校の調査報告書ですが、資料は、教科用図書調査報告書になります。この資料をもとに、ご協議をお願いいたします。</p> <p>なお、当該調査報告書は、「令和7年度使用中学校・義務教育諸学校後期課程、特別支援学級及び特別支援学校小・中学部の教科用図書の採択基準及び基本観点について」を踏まえ、調査・研究が行われたものでございます。調査報告書については、各発行者の優劣をつけることが目的ではなく、努めて各発行者の特徴を記入していただいております。</p>
[教育長]	<p>ただいまの説明について、ご質問等ございますか。ご質問がないようですので、続いて協議事項に移らせていただきます。</p>
[田原主幹]	<p>【国語】</p> <p>最初に、国語から行います。協議会の選定は、光村図書でございます。協議会が光村図書を選定した理由を事務局から説明をお願いします。</p>
[田原主幹]	<p>国語は、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の4社からの採択となります。特徴といたしましては、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮というところですか。どの教科書も言葉の力をメインに国語の教科書を作られているということであり、そこに焦点を当てて考えられたとの報告でした。特に光村図書は、言葉を丁寧に多角的に生徒が考えられるというところに焦点を当てられており、「思考の地図」という道しるべのようなものが、テーマの考えを広めるときには有効であるとのこと。代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「光村図書は、子どもたちが考える余地に関することで特徴的なことは。」という質問に対し、『学びのカギ』『学びの地図』で、既習の資質・能力を主体的に活用していくことができる。具体的には、『読むこと』の教材の後に『学びへの扉』が示されており、見通しを持って学習に取り組むことができる。」とのことでした。</p>
[教育長]	<p>事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございますか。</p>
[狩野委員]	<p>私、初めて中学校の教科書採択に関わらせていただきまして、本当にすごいなど。各社が色々な工夫をして子どもたちのために真剣に教科書を作っているというところに、まずは感動しました。GIGAスクール構想で一人一台の端末で授業が行われるようになり、本当にあちこちQRコードを読ませていただいて感心したんですけど、各社ともに様々な工夫がなされていることを実感しました。</p> <p>私は元々幼児期の教育に長年携わっておりますので、その観点から中学の教科書を見させていただきました。昨今、日本語の乱れ、表現力の弱さを私自身が感じているところで、教科書を見せていただきました。幼児期から自分の思いを人に伝える、対話する、コミュニケーション力の必要性が随分言われておりまして、幼児期でも自分なりに発達に合わせてきちんと話せるようなことを長年やってきております。その中で教科書を見せていただいて日本語ってすごい豊かにいろいろございますし、光村図書では教科書の中に「語彙ブック」というものが工夫されておりまして、これを見させていただいた時にすごい感動したんです。「あめ」一つとっても、状況が分かるように色々な言葉があるな。こういう言葉をしっかりと自分の中</p>



に落とし込んで子どもたちが日本という社会、世界の中で自分の思いを情緒豊かに話せるようになっていってほしいなと強く思いました。私自身がこの教科書を見て勉強したいなというぐらいです。そんなことで、本当に今の時代に大切な力が養われるんじゃないかなということを感じたところでございます。

それともう一点。ここ八幡市に住んでおりまして、私も中学の時に徒然草を読んだ時に、八幡のことがこんなふうに出ているとすごく感動した記憶がございます。各社とも徒然草を入れられて学びの多い教材かと思うんですけども、それに加えて八幡市では徒然草エッセイ大賞に取り組んでおり、その審査委員長が山極壽一さんです。3年生の教科書の中に山極さんがゴリラを通して論文を書かれておりますので、なんかすごくこの地域に更に密着した教科書につながっているんじゃないかなと感じました。本当に私自身が教科書を丁寧に読んで勉強していきたいなと思ったところですので、素敵な教材だなと感じております。

[教育長]

他にご意見等ございますか。

[橋本委員]

国語という教科の感じることを述べますと、各教科の言語活動が重視されている中でその基本となる部分を扱われているということで、非常に注目しているところであります。その点、各社とも基礎・基本をしっかり押さえられて、そのようなところに配慮されていると感心しながら見させていただいたところです。しかしながら、言語能力を高めるというのはどういうことなのか、やはり各社見る度いろいろな工夫があって難しいところがあるのかと思いつつ感じているところです。

生徒たちに考えさせる、あるいは教員がその部分についてしっかりと教育していくのは非常に難しく大変だと思いますが、全ての教科書が丁寧にいろいろと扱っておられるのでお聞きしますが、この辺りについて何か協議会で意見はありましたか。

[田原主幹]

指摘のとおり、少し教科書が丁寧過ぎるかなとも思われますが、論議の中では、例えばベテランの教員や中堅の教員、若手の教員、初めて国語の教員になった人に対しては、流れが分かるような教科書というのもあってもいいのではないのかなという意見がありました。

ただし、教職員が教材研究等、自分たちでますます深めなくてはならないというところに関しては、新採であろうが、中堅であろうが、ベテランであろうが、それはもう変わらないものだと思います。その中で、校内で国語科が、互いに教材研究をして深めていくものだと思います。ベテラン・中堅・若手、どの年代層にも授業がしやすいのが、特に光村図書の教科書であるとの報告でした。

[橋本委員]

今説明をお聞きして、基礎・基本あるいは知識・技能の習得について配慮されていると。これは各社ともそうだと思います。言葉の丁寧さとか多角的に生徒が考えられるようにという様なところ、特に「学びのカギ」「学びの地図」で既習の資質・能力を主体的に活用できると、今ご説明されたと思います。また、見通しをもって学習に取り組むことができるという説明もございました。最後にはベテラン・中堅・若手、どの年代層にも授業がしやすいという様なことも述べられました。また、国語は数学なんかと同じように積み上げの教科でありますし、小学校の連続性もございます。以上の点からして、光村図書が適切であると思えます。

[教育長]

他にご意見等ございませんか。

それでは、国語について光村図書・「国語」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。

[全委員]

《委員全員挙手》

[教育長]

全員一致で光村図書・「国語」を採択します。

【書写】

続きまして、書写についてよろしく申し上げます。協議会の選定は、光村図書でございます。協議会が光村図書を選定した理由を事務局から説明をお願いします。

[田原主幹]

書写は、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の4社からの採択となります。最大の特徴は、まず書写の冒頭に、学習のポイントが明確に書かれている点です。特に光村図書の場合は、附属の書写ブックが別刷りでついており、そこですぐに練習することで、3学年で積



	<p>み重ねていくことができるとの報告でした。代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「工夫や違いは。」という質問に対し、「デジタルコンテンツは東京書籍と光村図書が多く、特に光村図書は“別冊書写ブック”がついていることから、練習量が多くある。」とのことでした。また、東京書籍の書写の鍵については、「学年ごとに系統的であることが、こどもにはよいのではないかとこの意見があった。」とのことでした。また、「『思考力・判断力・表現力』に関して、学校現場の様子を含めて教えてほしい。」という意見に対し、「話し合いの機会が光村図書は多く、二次元コードを読み取ることで運筆の見本を見ることができ、主体的に学習に取り組むことができる。また、別冊は採点がしやすい。」とのことでした。</p>
[教育長]	ただいまの説明について、委員の方から何かご意見はございますか。
[八頭司委員]	家庭学習にどれだけ使えるのかが大切だと思います。光村図書は、姿勢についてふれていたり、左利きのデジタルコンテンツが用意されていたりするなど、多様なバリエーションがあります。QRコードについては、光村図書と東京書籍の両方に準備されていますが、光村図書はQRコードから筆遣いの動画等を確認することができ、自分で学習を進めていくうえでも非常に便利で、子どもたちにとって使いやすいと思いました。
[教育長]	他にご意見等ございますか。
[佐野委員]	国語科と連動しているのが望ましいと考えています。そこで、どのように思考力、判断力、表現力を高めようとしているのか。また、実際に書写の時間に、そのような時間を現場で先生方は取っておられるかどうか。単に、いわゆる書くことだけで書写だけをされているのか。現場の様子も含めて、この思考力、判断力、表現力がどのように育成可能なのかを、説明していただけますか。
[田原主幹]	話し合いの機会を、明確に示されているのは光村図書であったと聞いております。教材冒頭に、文字の原理や原則を考えたり話し合ったりする活動を設定することができるので、話し合いの機会は光村図書が多いとのこと。また、別冊書写ブックがついているため、短時間で効果的に指導ができ、先生方が添削しやすいとの報告でした。
[教育長]	他に委員の方から何かご意見はございますか。
[全委員]	それでは、書写について光村図書出版・「中学書写 一・二・三年」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。
[教育長]	《委員全員挙手》
[教育長]	全員一致で光村図書出版・「中学書写 一・二・三年」を採択します。
	【社会・地理】
[田原主幹]	引き続き社会科の地理的分野についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、帝国書院でございます。協議会が帝国書院を選定した理由を事務局から説明をお願いします。
[田原主幹]	社会科の地理分野は、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版の4社からの採択となります。基本的には、各社とも見開き2ページで1テーマを扱い、その中で導入と学習課題、展開、まとめという流れを構成しているとのことでした。代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「歴史との関係性についてはどうか。」という質問に対し、「各社とも明記されているが、特に小学校での既習に関しては、帝国書院と日本文教出版に特徴がみられる。」とのことでした。また、「よい写真を扱っているのはどこか。」という質問に対し、「目を引くのは帝国書院と教育出版であり、人の活動や市場の様子、スポーツに関することなどの写真が掲載されている。」とのことでした。
[教育長]	事務局から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございますか。
[狩野委員]	今説明の中にありましたように、豊かに世界中の色々な暮らしの写真がふんだんにあるなど。写真を見るだけで行ってみたいという思いが広がりました。特に帝国書院は、特設ページやコラムもありますしQRコードがすごくあって、あちこちQRコードを読んで見るだけ私自身が世界の色々なものを知れるなどということで、楽しく教科書を見させていただきました。
[教育長]	昨今、グローバル化がぐんと進みまして、様々な国や文化、歴史・産業等について学ぶことがとても大切な時代を迎えています。そこにおいて地域の特色を理解できるように工夫を



されているなど、つくづく感じました。例えばヨーロッパの文化の共通性と多様性、宗教や言語の分布、EUの経済格差についてもわかりやすく帝国書院の教科書の中に書かれているなど私自身が見せていただいた中で学んでおります。

そして、宮崎の地震から南海トラフのことも随分取り上げられて、この間は南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）も出ました。地震についても、南海トラフについてこういうふうに考えよう、こういうことですよと、ニュースに出てくるようなことがきちんと教科書の中に示されています。ハザードマップを使って避難先を考えるであったり、防災教育にもとても力を入れてらっしゃって、本当に生活に役立つ内容になっているなと思いました。今後の自然災害についての知識を高める、そして意識をもって日々の生活を送るという点でも素晴らしいなと思いましたので、私自身がもう一度教科書を見て学びたいなという思いになりました。

各社とも工夫されてますけれども、よりこの地域にとって学びの多いものになっているんじゃないかと感じました。

[教育長]

他にご意見等はございませんか。

[八頭司委員]

子どもたちが知らない世界や、様々な人たちが教科書に載っているのがよいと思います。特に帝国書院は、各地の特色がわかるような俯瞰図や概念図、イラスト等があり、子どもたちのこれからの学びに対する期待感や、課題意識を向上させるというところで、非常に効果が高いと思います。

[教育長]

他にご意見等はございませんか。

それでは、社会科の地理的分野について帝国書院・「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。

[全委員]

《委員全員挙手》

[教育長]

全員一致で帝国書院・「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」を採択します。

【社会・地図】

次に地図についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、帝国書院でございます。協議会が帝国書院を選定した理由を事務局から説明をお願いします。

[田原主幹]

地図は、東京書籍、帝国書院の2社からの採択となります。代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「小学校での既習事項の確認ができるのはどちらか。」との質問に対して、「特に帝国書院は、巻頭に『この地図帳の使い方』を記載し、小学校での既習事項の確認・地図の種類・見方使い方の確認などを示している。」とのことでした。また、2社ともSDGsのアイコンやコーナーが多数設けられており、特に帝国書院は、歴史や公民にかかわる資料や防災にかかわる項目には印がつけられているなど、資料が多く掲載されているとのことでした。

[教育長]

事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございますか。

[狩野委員]

今、ご説明にありましたように、帝国書院の教科書は歴史や公民にかかわる資料や防災にかかわる項目には印がつけられているということで、QRコードがあちこちにありまして、見ている中で本当にそうだなと実感しました。私個人的に地図を見るのがとても好きなんです。まず鳥瞰図から始まりまして立体的なイメージの中で世界の色々な国を見ることが出来る。今やグーグルの動画でも見ることができて、一気に世界を旅しているような状況ができる世の中ですけれども、やはり地図というものをきちんと自分の頭の中に入れて見せていただくと、ますます興味関心が高まるかなと思いました。

そして、今申しましたように歴史だったり産業だったり特産物だったり、地域の特色、事件までもがきちんと地図上に書かれていることにも感動しました。地震についても、過去の震源地も地図上で見ることが出来るのも素晴らしいことだなと思いました。QRコードで読み取りますとNHK for Schoolとも連動して、それぞれ地域の特色を動画で見ることが出来るのを本当に工夫されているなと思いました。そんなことでわくわくしながら見させていただいて、楽しみました。ぜひ、中学生も色々な思いで映像を通して学ぶ、そして教科書で更に地域の特色をしっかりと知っていくというような学びをしていただい



	<p>たらなと願っております。</p> <p>他にご意見はございませんか。</p> <p>特に帝国書院は、ハザードマップのコーナーがあり、授業などでも活用できると思います。本市でも大きな災害があり、子どもたちに防災教育を進めていくなかでも、その取っ掛かりにもなるのではと思いました。</p>
[教育長]	<p>それでは、地図について帝国書院・「中学校社会科地図」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。</p>
[八頭司委員]	
[教育長]	<p>《委員全員挙手》</p> <p>全員一致で帝国書院・「中学校社会科地図」採択します。</p> <p>【社会・歴史】</p> <p>それでは、次に社会科の歴史的分野についてよろしく申し上げます。協議会の選定は、帝国書院でございます。協議会が帝国書院を選定した理由を事務局から説明をお願いします。</p>
[全委員]	
[教育長]	
[田原主幹]	<p>社会科の歴史分野は、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版社、日本文教出版、自由社、育鵬社、学び舎、令和書籍の9社からの採択となります。各社とも、学習指導要領が示す教科及び歴史的分野の目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を取り上げ、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解できるよう工夫されているという報告でした。歴史について、代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「帝国書院はどのような特徴があるのか。」との質問に対して、「イラストやカラー資料も豊富で、生徒が学習内容を理解しやすいように工夫されている。画像から学ぶことが多い。」とのことでした。</p>
[教育長]	<p>事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございますか。</p>
[橋本委員]	<p>先ほど地図の方で帝国書院との関連性、こういうふうなものを歴史との関連で述べられました。社会の歴史は特に私自身、人権的な観点で非常に重要視しております。本市においても人権にかかわっては一番重要な項目の一つというふうに考えております。そのような点で人権についてどのように配慮されているのか。どのように教科書の中で観点として捉えられているのかお聞きしたいです。</p>
[田原主幹]	<p>人権についての調査については、外すことはできないと考えており、細かく見させていただいたとの報告でした。</p> <p>どの教科書につきましても、人権についての取扱い、例えば室町時代のことでありますとか、あるいは江戸時代のことでありますとか、あるいは明治に入ってから解放令の動きということについては、多少の差異はございますが、一定取扱いをされているとのことでした。</p> <p>例えば山川出版社につきましては、人権の取扱いについては、他社に比べると多少少ないとのことでした。また、学び舎につきましては、人間に焦点を当てた記述が非常に多くございましたので、人権についても多く取り扱っていたのではないかなとのことでした。その他の教科書につきましては、室町のことでありますとか、江戸時代、明治時代、あるいは大正時代というところについては、満遍なく取扱いがされているとの報告でした。</p>
[教育長]	<p>他にご意見等ございますか。</p>
[佐野委員]	<p>生徒が主体的・対話的に学習を進める観点で、各社たくさん工夫の跡が見られるところです。写真やイラスト、図表など、視覚的に訴えるような内容が多く、わたくしたち大人でもとても興味を引くようなところが多いと思いました。特に帝国書院は、「タイムトラベル」で各時代をイメージしやすいような工夫をしており、主体的な学びに有効であると感じました。</p>
[教育長]	<p>他にご意見等ございますか。</p> <p>それでは、社会科の歴史的分野について帝国書院・「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。</p>
[全委員]	<p>《委員全員挙手》</p>
[教育長]	<p>全員一致で帝国書院・「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」を採択します。</p> <p>【社会・公民】</p>



<p>[田原主幹]</p>	<p>それでは、次に社会科の公民的分野についてよろしくお願ひします。協議会の選定は、帝国書院でございます。協議会が帝国書院を選定した理由を事務局から説明をお願いします。</p> <p>社会科の公民分野は、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社の6社からの採択となります。各社とも、SDGsに関連する情報も併せて掲載されているので、系統的・横断的な学習ができるように工夫されているという報告でした。代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「18歳で主権者を育てるという観点からも、選挙権に関して触れている公民への期待は大きいと思う。各社の状況についてはどうか。」との質問に対して、「選挙に関する量が増えており、模擬投票や住民投票の写真を掲載している。」とのことでした。</p>
<p>[教育長] [佐野委員]</p>	<p>事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございますか。</p> <p>今回、社会科の分野は帝国書院に連動されたということは、大変喜ばしいことだと私は考えました。また、各社イラストや写真、図版等を効果的に活用できていると思います。特に帝国書院は、人権・平和・防災などの他分野に関する内容が多く掲載されています。教えやすさなどは話題にあがっていましたでしょうか。</p>
<p>[田原主幹]</p>	<p>単元を通して教えやすいのは、帝国書院であるとの報告でした。最後の単元が「課題探求学習」となっており、生徒自らテーマを決め、課題について調べ、3年間のまとめ活動が行えるように工夫されていること。また、各章・節ごとや見開きごとに問いに対応した学習課題が設定されていることから、教科書で教えやすいとの報告でした。</p>
<p>[教育長] [狩野委員]</p>	<p>他にご意見等ございますか。</p> <p>本当に各社ともにたくさんの写真・イラストでわかりやすく工夫されているなどと思います。先ほどの地理の方でも思いましたけれども、帝国書院の教科書はふんだんに写真があつて、これを作るだけでも大変なことだろうなど思いました。政治を身近に考えられるように自分事として社会に参画できるようにという工夫が、帝国書院の教科書には多分になされているのかなと読みながら思いました。</p>
<p>[教育長]</p>	<p>私は金融に関しては全然無知なんですけれども、そんな無知な私でもなるほど思ったり、中に回転寿司のしくみというのがありまして、こんなふうにするんだと中学生が自分の生活の中で教科書と照らし合わせて学べる工夫がなされていて素晴らしいなど思いました。身近なところから更に学びを深めるということは、これから大事なことではないかなと思います。</p>
<p>[教育長]</p>	<p>他にご意見等ございますか。</p> <p>それでは、社会科の公民的分野について帝国書院・「社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。</p>
<p>[全委員]</p>	<p>《委員全員挙手》</p>
<p>[教育長]</p>	<p>全員一致で帝国書院・「社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して」を採択します。</p> <p>【数学】</p>
<p>[田原主幹]</p>	<p>それでは、次に数学についてよろしくお願ひします。協議会の選定は、啓林館でございます。協議会が啓林館を選定した理由を事務局から説明をお願いします。</p> <p>数学は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、数研出版、日本文教出版の7社からの採択となります。各社とも、QRコードの活用による豊富なデジタルコンテンツが用意されており、生徒の実状に応じて主体的に内容や学習の形態を選択できるように工夫されているとの報告でした。代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「反復問題をデジタルコンテンツにし、それらを増やすことで、教科書を軽量化していることはあるのか。」という質問に対し、「特に啓林館が軽量化を図っており、解答にQRコードを用いている。」とのことでした。</p>
<p>[教育長] [八頭司委員]</p>	<p>事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございますか。</p> <p>学習した内容を積み上げて新しい学習へとつながるものだと考えます。小学校の算数で啓林館を使用していますが、中学校とのつながりはございますか。</p>
<p>[田原主幹]</p>	<p>小学校の教科書が7社ではございませんでしたので、そのつながりという部分について特に大きな話題にはなっていないとの報告でした。</p>



[教育長]	他にご意見等ございますか。
[橋本委員]	<p>数学ということを考えますと、学校訪問をして数学嫌いの子はいないかなと。苦手意識を持つ教科、積み上げの教科でありますから、どうしても積み残しの多い子がついていけない、こういう教育課題、大きな課題に直面する教科の一つであるかなと思います。今も出ておりましたけれども、小学校からの積み上げの教科でありますので特に躓き、取り残しは許されないということに、各社がどのように配慮されているかということで見させていただきますと、本当に一番そこに力を入れておられるのではないかなと。特にデジタルコンテンツ等の整備の辺りは新しい武器であると。個別最適化というんでしょうか、この辺りについて工夫されているところではないかと思えます。</p> <p>また、同時に数学というのは社会との関連性を子どもたちが理解しにくい、なんで数学を勉強しなくてはいけないのか、こういうふうなところが学習意欲等につながらないとお聞きしているところです。興味関心をいかに持たせるか、こういうところにも各社非常に工夫されているように思います。特に学んだことを取りこぼしがないようにきっちり定着させていく、そういうためには振り返り学習が非常に大事であると思えます。この辺りについて毎時間の学習であれば基本となる例題がきちんと理解できているかどうか、それを元に次の練習を段階的に進められているのか。この辺りが学習の歩みではないかなと思えます。</p> <p>振り返り学習、例題を解くことについてわかりやすいのはどの教科書か、議論されましたでしょうか。</p>
[田原主幹]	振り返りを動画で説明しているのは啓林館です。例題がわかりやすいとの報告でした。
[橋本委員]	今申しましたように、毎時間きっちり基本となるところが詳しく理解され、そういったことが家に帰ってもう一度見直すことができるということでご説明があったのではないかなと思います。特に自学自習、家庭学習が問題になっておりますので、毎時間の基本をしっかり理解して尚且つそれを家でも学習ができるということで、啓林館が適切であるとお聞きしました。
[教育長]	他にご意見等ございますか。
	それでは、数学について啓林館・「未来へひろがる数学」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。
[全委員]	《委員全員挙手》
[教育長]	全員一致で啓林館・「未来へひろがる数学」を採択します。
	【理科】
	次に理科についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、啓林館でございます。協議会が啓林館を選定した理由を事務局から説明をお願いします。
[田原主幹]	理科は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館の5社からの採択となります。各社とも、持続可能な開発目標（SDGs）を強く意識したつくりになっている印象です。また、実生活や実社会と関連付けた内容が充実しており、学習内容を通して、勤労観や職業観が育まれるよう配慮されているとの報告でした。代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「算数や数学との関連はあるのか。」という質問に対し、「教育出版は巻末資料を掲載し、啓林館は例題を示し解説を掲載している。」とのことでした。
[教育長]	事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございますか。
[狩野委員]	先ほど申しましたように私のベースは幼児教育にあります。幼児期の教育は砂遊び・水遊び、自然に触れて遊ぶことをしっかりとやっていく。そこでたくさんの不思議に出会って探究心を持つことが幼児期の教育の中ですごく大事にしなければならない部分ではないかと思えます。啓林館の教科書を見せていただきますと、探究をテーマにして自分で考えたり調べたりしてみたいなという要素が多分に詰まっているように感じました。中でもはてなスイッチというものが示されておりまして、幼児期からの経験の積み上げだなど。それをはてなと思うことで、不思議だな、なんでだろうという動機づけができるように工夫されているなと思いました。幼児期の教育は無自覚的な学びですけど、本当に生活科・理科、そして中学の理科というのがつながっているなど、教科書を見ながら学んだ次第です。



例えば、飼育栽培活動を幼児期の教育の中では、いのちに出会って大事にしていくということなんですけれど、それを生活科の中でもう一度学んで理科の中で、そして中1の生命につながっていくというのも感じたところですし、砂遊び・水遊びの経験が2年生の地域と天気、天気の変化などの単元に全部積み上げられていくんだなと思いました。更に幼児期の経験を大事にしていかなければならないんですけれど、それをきちんと経験を理論として教科書の中で、子どもたちがしっかり学んでいける工夫がなされているなど多分に感じた次第です。

[教育長]
[橋本委員]

他にご意見等ございますか。

今、探究の話がありました。幼児教育からずっと積みあがって小学校の生活科、理科、そして中学校へ、総合的な学習の時間なんかもその分野に入るんじゃないかなと思います。

しかしながら、子どもたちは確かに幼児期・小学校等については自然に触れ、興味をもって理科的な分野に関心をもっている子は多いと思います。残念ながら時間が制約される中で、そういうことも少なくなり興味関心から外れていくということなのかも知れませんが、やはり理科嫌いとはまでは言いませんけれど、文系と理系どちらを選ぶのか。進路選択の時にやはり文系の方が多くなる、そういう傾向があるのは実態でございます。そういった中で、自然観察とか外に出てということがありましたけれど、授業の中でそこまでできないとなると実験分野を各授業の中でどのように考えられているのか、工夫されているのではないかと注目がいくわけでありますが、この啓林館で私が注目したのは巻末の資料にある「探Qシート」が非常に具体的な実験、探究活動を促すそういうきっかけになっているように思います。

また、本文の中の探究実験、まさに実験をさせる時の探究実験と完全対応しているんです。こういったところは素晴らしいなど、直結しているなど。しかも、それが具体的な作業の中で、探Qシートという形でおかれているなど興味を持ちました。

合わせて用語解説もたくさんあるようですけれど、こちらについて何か特徴はあるのでしょうか。

[田原主幹]

用語解説について、少ないところは東京書籍の440。一番多いところで、特に啓林館が多く757語掲載されています。生徒は言葉が分からないところを調べられる準備がされているように思います。

[橋本委員]

先ほどから数学嫌いとかついていけない子のことばかり申し上げておりますけれど、分からない子については用語が分からなければますます分からない。だんだん専門的なことに高まっていけばいくほど、知らないことに会う度にこれはどういうことを意味しているのかということがすぐ手元で分かる、すぐ説明されているという辺りについては各社ともやられているようですが、今お聞きしましたら啓林館が一番多いということで、丁寧に扱われているのかなと思います。

先ほどのご説明と含めてやはり探究的なもの、特に私の場合は「探Qシート」と課題実験というんでしょうか、教科書の本文の中のこれが一体化されているという辺りのところ、あるいは用語解説等についても丁寧に説明がある、この辺りを踏まえ啓林館は適切な教科書ではないかなと思います。

[教育長]

他にご意見等ございますか。

それでは、理科について啓林館・「未来へひろがるサイエンス」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。

[全委員]

《委員全員挙手》

[教育長]

全員一致で啓林館・「未来へひろがるサイエンス」を採択します。

【音楽・一般】

続いて音楽・一般についてよろしく申し上げます。協議会の選定は、教育芸術社でございます。協議会が教育芸術社を選定した理由を事務局から説明をお願いします。

[田原主幹]

音楽・一般は、教育出版、教育芸術社の2社からの採択となります。2社とも、学習指導要領の示す音楽科の目標に従い、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育むことを基本に題材構成を工夫し、題材のねらいを明確に示しているとの報告でし



	<p>た。代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「自学自習や生活につながるような観点ではどうか。」との質問に対して、「特に教育芸術社は、楽器の奏法を身に付けるために、わかりやすい文章とイラスト、写真を用いて解説し、楽器の基礎的な技能の習得ができるよう、繰り返し学習する活動を示している。」とのことでした。</p>
[教育長]	事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございますか。
[佐野委員]	2社とも、英語で歌唱できる教材を扱ったり、年表や地図を用いたりして歴史的事象との関連を図っていることや、SDGsの取組との関連を図っていることがわかります。その他、異なる特徴はありますか。
[田原主幹]	教育出版は曲数が多いこと、教育芸術社は巻頭にて各界で活躍する方からのメッセージを記載し、道徳との関連を図っていることが特徴として報告されています。
[教育長]	他にご意見等ございますか。
[八頭司委員]	哲学的な面や特徴を踏まえ、現場の先生方が使いやすいものがよいと思います。
[教育長]	他にご意見等ございますか。
	それでは、音楽・一般について教育芸術社・「中学生の音楽」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。
[全委員]	《委員全員挙手》
[教育長]	全員一致で教育芸術社・「中学生の音楽」を採択します。
	【音楽・器楽】
	次に音楽・器楽についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、教育芸術社でございませぬ。協議会が教育芸術社を選定した理由を事務局から説明をお願いします。
[田原主幹]	器楽ですけれども、どちらの教科書についても学習指導要領に示す目標に従って、しっかりと題材の狙いを明確に示してあります。器楽教材と共に、歌唱教材や鑑賞の教材と創作教材との関連をつけながら、いろいろな教材が組み込まれていて、大変幅広い教材が使われていました。それから、楽器特有の奏法、それから所作まできちんと明確に示されているなどというふうに感じました。「楽典」や、「音楽の約束」という同じような表記がされていたり、創作についても、「音のスケッチ」、「My Melody」と同じ名前できくられているので、教科書と器楽の教科書とを同じように進める上でも大変整合性が取れていて、使いやすいとのことでした。
	器楽でも二次元コードが多数、動画や、説明で示されているので、今までなら音楽辞典みたいなものがあったてもいいかなというところがありますが、いろいろなことが教科書だけで学べる工夫がされているとのことでした。
[教育長]	事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございますか。
[佐野委員]	器楽においても二次元コードが多くありますが、学校現場の使い勝手について、何か意見は出ていましたか。
[田原主幹]	二次元コードの音源について、この曲にそれがあつたらいいねや創作でこういうことができたらいいね等、かゆいところに手が届くそういう工夫については、調査員では教育芸術社のほうが使いやすいという説明がありました。
[教育長]	他にご意見等ございますか。
[八頭司委員]	先ほどの説明の中にも、音楽一般の教科書と器楽の教科書とを同じように進める上で、大変整合性が取れているとのことでしたので、器楽も音楽一般と同じく教育芸術社がよいのではないかと思います。
[教育長]	他にご意見等ございますか。
[橋本委員]	器楽と言いますと私自身が特に演奏できるものがないのでそう思うのかもしれませんが、生涯に自分で演奏できる楽器を持つと豊かな人生を送る中で重要さを考えますと、義務教育の最後の段階になりますけれど、こころで興味を持ったらちょっとでも時間をかけてそれをやってみる、難しいかもしれないけれど教科書を中心に、今創作もデジタルでできると私に想像できないことを述べられていますが、そういう中で自分の何かちょっとでも弾ける楽器で創作もできると豊かな人生を送るために大事なかなと思います。



	<p>いろいろな工夫をされているので、なかなか両社とも優劣つけがたい。子どもたちの身近な楽器と言うと、学校訪問をしていて見かけるのはアルトリコーダー、あるいはギターかと思います。その2つを見ますとより教育芸術社の方が丁寧に説明されているのかなと思いました。</p>
[教育長]	他にご意見等ございますか。
[狩野委員]	私も今橋本委員がおっしゃられた意見にとっても賛成です。音楽や美術は自分の人生を豊かに生きるという意味でもすごく大事な学びの機会だと思っております。楽しいということと、ちょっとやってみたいな、音を出して演奏してみてこんなに楽しいなという経験がたくさんできるのは、すごく大事なことだと思っております。これは幼児期から一緒です。みんなと歌を歌ったり、楽器を演奏したり、そういう視点からも学びやすい、扱いやすいように工夫されているのかなと思いますので、ぜひ有効活用してもらって音に楽しむ、音楽で心を豊かにする子どもを育ててほしいなと思います。
[教育長]	それでは、音楽・器楽について教育芸術社・「中学生の音楽」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。
[全委員]	《委員全員挙手》
[教育長]	全員一致で教育芸術社・「中学生の音楽」を採択します。
	【美術】
	それでは、次に美術についてよろしく申し上げます。協議会の選定は、光村図書でございます。協議会が光村図書を選定した理由を事務局から説明をお願いします。
[田原主幹]	美術は、開隆堂、光村図書、日本文教出版の3社からの採択となります。各社とも他教科との関連につきましては、道徳や国語、英語等いろいろな教科とのつながりが分かるように表示されていたり、コラムが設定されていたりと、例えばSDGsと関連付けてある部分がある等、工夫して明記されているとの報告でございました。
	代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「鑑賞表現が充実しているのは。」との質問に対して、「特に光村図書は、美術2・3年において和紙風用紙が採用されており『日本の絵画を楽しむ五つのキーワード』という日本美術に焦点を当てた鑑賞が設定されている。」とのことでした。
[教育長]	事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございますか。
[狩野委員]	先ほども申しましたように、美術も生涯を豊かに生きるうえでとても重要な教科の一つであるかと思っております。年を取れば取るほど日本にはこういうお宝があったんだと感動する機会がたくさんあるかと思えます。教科書の中にふんだんにQRコードを入れてらっしゃいまして、動画で見て学ぶことがこの教科書の中からすぐ読み取れるかなと思いました。
	例えば、鉛筆の削り方とカッターナイフの使い方。こんなものもね、今もう鉛筆削りにびって入れたら勝手に動きますよね。ところが、授業の中できちんと押さえられているというのも、この光村図書の教科書の素晴らしいところだなと思うのと共に、先ほどの芸術鑑賞ですけれどQRコードを読んで体験できるということで、私も教科書を見せていただいてQRコードを見ながら例えば三十三間堂で風神雷神の像があって、三十三間堂がこういうふう映像として迫ってくるということで、改めてもう一度近いうちに行ってみたいなというような感動を持った次第です。そういうふう中学生も動画から色んな鑑賞ができる、日本の文化もですし、世界の文化も合わせて感動できるところで、本当に素晴らしい工夫をされているし、教科書が変わったんだなということを実感しております。ぜひ、各社ともに工夫はされているかと思うんですけれども、光村図書の資料等を見せていただきまして本当に自分自身が心を動かすきっかけをいただいたなと思いましたので、ぜひ中学生もそんなふう学んでほしいと願います。
[教育長]	他にご意見等ございますか。
[八頭司委員]	光村図書の別冊「資料」は、中学3年間で必要な資料がコンパクトにまとめられており、わかりやすい内容になっているのが印象的でした。
[教育長]	他にご意見等ございますか。



<p>[全 委 員] [教 育 長]</p>	<p>それでは、美術について光村図書・「美術」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。</p> <p>《委員全員挙手》</p> <p>全員一致で光村図書・「美術」を採択します。</p>
<p>[田 原 主 幹]</p>	<p>【保健体育】</p> <p>それでは、次に保健体育についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、東京書籍でございます。協議会が東京書籍を選定した理由を事務局から説明をお願いします。</p> <p>保健体育は、東京書籍、大日本図書、大修館書店、学研出版の4社からの採択となります。各社とも、デジタルコンテンツが充実しており、特に東京書籍はQRコードが多く、グループ協議がしやすいとの報告でした。代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「インターネットやタブレット、UDフォントはどういった利点があるか。」との質問に対して、「導入やまとめで映像を使うと、振り返りがしやすい。特に東京書籍の『巻末スキルブック』は、実習がまとめて提示されているので活用しやすい。」とのことでした。</p>
<p>[教 育 長] [橋 本 委 員]</p>	<p>事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございますか。</p> <p>最近体育はスポーツということで、スポーツの力を子どもたちにどのように教育するのか。また近年の災害、今も台風が近づいてきています。地震の問題もあります。いろいろな課題を醸し出しているところでもあります。つい最近にはコロナということで、世界中非常に困難が起きました。いつ何時、健康とか災害とか様々なものが押し寄せてくる中で、そういった自らの健康を維持しながら世界の環境を整えていくという辺り、非常に大きな役割を果たす教科ではないかなと思います。</p> <p>最近オリンピックがございましたけれど、日本もこれだけ色々なメダルが取れるようにどうして強くなったんだろうか。これは学校教育のスポーツの力が上がってきている。そのためには科学的な、技術的なものもあるでしょうし、様々な面があると思います。そういうふうなことも学校教育の中で新たなものを取り入れながら、進めて行くことが求められていると思います。</p> <p>そういったこともありまして、保健体育の中で東京書籍は二次元コード等多く、グループ協議がしやすく、新たな課題を発見しながら自らどうしたらスポーツ力を高められるかとか、自らの健康とか安全、みんなのそういったものを考えるかとか、周りに起こっている事態に対してどのように捉えられるか、こういうふうなことが非常に進められやすい仕組みになっているように思います。</p> <p>また、合わせてそういうスポーツ力と言いますか、自分の適性を捉えてどのようにそれを活かして将来の職業につなげていくか、大谷君ではありませんけれど、色々な夢を見る子どもたちも多くあるかと思っています。こういった中で特に質問としては、キャリア教育と保健体育の教材の中でどのように扱われていて、どのように教育されているのか。この辺りをお教えいただければと思います。</p>
<p>[田 原 主 幹]</p>	<p>特に東京書籍の方では教科書の中で色々な職業の方々が出ており、授業を通して色々な職業に触れながら職員が話し、教科書で伝えていくという所がキャリア教育で進められていることだと思っております。当日の協議会の方でも、キャリア教育については色々な写真が掲載されているというところからも東京書籍がいいのではないかという意見が多数ございました。</p>
<p>[橋 本 委 員] [教 育 長]</p>	<p>私もキャリア教育については、非常に丁寧に扱われているという印象を持っております。</p> <p>他にご意見等ございますか。</p>
<p>[佐 野 委 員]</p>	<p>保健体育についてもデジタルコンテンツを使って学びが広がって、授業はもちろん自学自習、活動場面に広げていけるなと思いました。「巻末スキルブック」に対しては、デジタルコンテンツを用いてAEDや交通事故、自然災害についても触れていたり、合わせて活用することで生徒たちが実生活においても役立つ教科書だなと感じましたので、東京書籍がいいなと私は感じました。</p>
<p>[教 育 長]</p>	<p>他にご意見等ございますか。</p>



[橋本委員]	<p>今述べられました「巻末スキルブック」は非常によくできているなど、感心しているところです。今一番頻繁に必要な熱中症の対応法もありますし、自転車の乗り方もありますし、本当に素晴らしいなと思っていますところでもあります。</p> <p>これとはちょっと違いますが性の多様性というものを取り扱っているところ。これは現代課題としても非常に注目されているところでもあります。その中で、SOGIE（ソジー）という言葉が紹介されています。性的指向（Sexual Orientation セクシャルオリエンテーション）、性自認（Gender Identity ジェンダーアイデンティティ）、性表現（Gender Expression ジェンダーエクスプレッション）、こういう組み合わせでソジーという言葉があるんですけども、いろいろ意見が分かれています中で、こういうものにチャレンジして扱われている点は非常に評価したいと思っています。ということで、東京書籍でいいのではないかと思います。</p>
[教育長]	<p>他にご意見等ございますか。</p> <p>それでは、保健体育について東京書籍・「新編 新しい保健体育」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。</p>
[全委員]	《委員全員挙手》
[教育長]	<p>全員一致で東京書籍・「新編 新しい保健体育」を採択します。</p> <p>【技術・家庭 技術分野】</p> <p>それでは、次に技術・家庭 技術分野についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、東京書籍でございます。協議会が東京書籍を選定した理由を事務局から説明をお願いします。</p>
[田原主幹]	<p>技術・家庭 技術分野は、東京書籍、教育図書、開隆堂の3社からの採択となります。各社ともQRコードによる追加情報や資料が多く用意されており、基本的に右上下に掲載されているとの報告でございました。写真やイラストでわかりやすく編集されているとの追加情報もございました。</p> <p>代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「SDGsやテクノロジーについて、よりわかりやすい教科書やその特徴はあるか。」との質問に対して、「各社とも関連付けられている。」とのことでした。構成については、各社とも大差ない印象です。</p>
[教育長]	事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございますか。
[八頭司委員]	学習指導要領に示していない内容の取扱いについて、差異はありますか。
[田原主幹]	東京書籍は、資料として一般の人のアンケートが掲載されており、技術がどう生かされているのか、また、取組内容が明記されていることが特徴として報告されています。
[教育長]	他にご意見等ございますか。
[橋本委員]	<p>近年、目まぐるしいテクノロジーの発達ということで、私などはついていけないことがほとんどなんですけれど、21世紀の科学文明の中で重視されているのは科学技術と人間社会との全体像、融合性というのでしょうか。細分化に対して知の統合、技術力が色んなものと統合するという点。物と物の関連、物と人の関連、部分最適化から全体最適化、こういった辺りの技術そのものを取り巻くものと一緒に技術力を社会の中に活かしていくというところに注目しています。各社ともこの辺りについては重点に取り組んで、いろいろと考えられておられます。SDGsの考え方とも当然つながっているところがございますけれど、そうした中で東京書籍の方は、「最適化の窓」というのが非常に注目されました。</p> <p>今申し上げましたように、技術力というのは安全性としても大丈夫なのか、社会からの要求にマッチしているのか、環境の負荷への対応はできているのか、経済性についても合理性があるのか、こういう様々なものとの最適化の中でこの技術というものがどのように扱われているのか。技術・家庭の見方・考え方というふうなものの捉え方について、具体的に概念を示されている点に注目をいたしました。</p> <p>また、キャリア教育にも多く触れられているわけですけども、ページの下に技術の工夫という欄が設けられており、非常にいいなと思って。技術に込められた問題解決、工夫、豆知識が非常に的確に扱われていることに感心いたしました。以上のことから、いいのではないかなと思いました。</p>



[教育長]	他にご意見等ございますか。 それでは、技術分野について東京書籍・「新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology (テクノロジー)」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。
[全委員]	《委員全員挙手》
[教育長]	全員一致で東京書籍・「新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology」を採択します。 【技術・家庭 家庭分野】 引き続き、技術・家庭 家庭分野についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、東京書籍でございます。協議会が東京書籍を選定した理由を事務局から説明をお願いします。
[田原主幹]	技術・家庭 家庭分野は、東京書籍、教育図書、開隆堂の3社からの採択となります。代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「タブレットにて考え方をまとめていたり、シンキングツールとして活用していたりする教科書はあるか。」との質問に対して、「特に東京書籍は、デジタルコンテンツを活用しながら活動や思考ツールを取り入れ、主体的・対話的に学習に取り組めるよう工夫している。」とのことでした。
[教育長]	事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございますか。
[狩野委員]	東京書籍はデジタルコンテンツがたくさんあるということで見させていただきました。本の中に料理の流れもございまして、運針も丁寧で見れば学べるというふうに工夫されているかなと思いました。映像から学ぶ機会がすごく簡単にできるんだなということを強く感じております。特に料理の手順もしっかり示されているんですけども、アレルギー対応についても配慮されている部分もあるのが素晴らしいなと思いました。小中高との関連も系統立ててされているということで、大事なことだなと思います。 世界の衣食住にも関心が持てるようにというような工夫もいろいろデジタルコンテンツも使いながらされているし、何よりも私は乳幼児の生活というところに感動しました。どの程度、どうなのかなと思って見させていただきました。中学生にとって乳幼児と出会うことがあまり機会としてございません。昔だったら身近なところに赤ちゃんがいてというようなことがあった時代とは違って、赤ちゃんを見る機会がございませんし、ある学校では乳児さんを連れて家庭科の授業を行っている事例も伺いました。そんな中なかなかそこまでできないと思いますので、QRコードで寝返りがどういう状態なのか、ハイハイがどういうことなのか、そういうのが映像を通して見られます。こんなふうに自分が育ってきたんだなということを体感できる教科書になっているなと思いましたので、人として生きる、生きる力の基礎をきちんと家庭科を通して生活の中で見につけていくことができる教材というのが詰まっているんだな、日々の生活を土台に考えられる教科書になっているなということで、素敵だなと思いました。
[教育長]	他にご意見等ございますか。
[佐野委員]	私も映像を見て生きていく上で必要なものがはっきり分かる、これは生徒にとってすごくありがたい教科書だなと感じました。特に東京書籍においては伝統文化や着物、郷土料理、お雑煮を取り上げているだけでなく、日本の文様や染織など取り上げられ伝統文化に触れやすい工夫がされているなと思いました。また、導入に問いかけがあり、考える動機づけから学びにつながる内容になっているなと思います。何より将来にわたり身につく役立つ内容がわかりやすく掲載されている本だと感じましたので、東京書籍がいいなと思いました。
[教育長]	他にご意見等ございますか。 それでは、家庭分野について東京書籍・「新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。
[全委員]	《委員全員挙手》
[教育長]	全員一致で東京書籍・「新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」を採択します。 【英語】



	<p>それでは、次に英語についてよろしくお願ひします。協議会の選定は、光村図書でございます。協議会が光村図書を選定した理由を事務局から説明をお願いします。</p>
[田原主幹]	<p>英語は、東京書籍、開隆堂、三省堂、教育出版、光村図書、啓林館の6社からの採択となります。各社とも、CAN-DOリスト形式の学習目標を掲載し、4技能5領域（聞く・読む・話す〈会話・発表〉・書く）の総合的育成ができる構成であるとの報告でした。代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「指導しやすい教科書は。」との質問に対して、「どの教科書も利点がある。」とのことでした。また、「デジタル教科書との関連は。」との質問に対して、「英語で動画等を見ることができるので、生徒たちの興味関心が高い。デジタルコンテンツは効果的である。」とのことでした。</p>
[教育長]	<p>事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございますか。</p>
[佐野委員]	<p>英語に対して6社出ていますが、その中で光村図書は4人の中学生のストーリーを展開しているとのことですが、何か意見はありましたか。</p>
[田原主幹]	<p>4名の生徒が出会い、様々な出来事を通して成長していく3年間ひと続きのストーリーになっています。次はどうなるんだろうと興味をひかれ、生徒たちが登場人物になりきってセリフを考えるなど、生活に寄り添っているという報告でした。</p>
[教育長]	<p>他にご意見等ございますか。</p>
[橋本委員]	<p>生徒が英語を習得する手順として教科書を用いることにはなりますが、教科書が変わるとなれば何かリスクに関して意見はありましたか。また、以前は東京書籍でしたが、4年前より光村図書に変わりました。教科書変更について意見はありましたか。</p>
[田原主幹]	<p>授業の最初は教科書で教えていくことには変わりないので、特に教科書が変わることへのリスクはないとのことでした。また、東京書籍は詳しいので、英語が苦手な生徒には合っているのかもしれないとの報告もございました。</p>
[橋本委員]	<p>今説明を聞いていて難しい判断だなと考えているわけですが、先ほど光村図書はストーリー性が特徴であって、3年間ひと続きのものが非常に学びやすい点なんではないでしょうか、教えやすいんでしょうか。まあ両方あるということなんではないでしょうか。一方、苦手な生徒には東京書籍というような辺りで。</p> <p>私も高校ではありますが英語を教えておまして、中学とちょっと違いますので何とも言えませんが、やはり指導法というのは様々です。教員も何人かいれば皆教え方・スタイルが違います。高校の場合は自由に自分のスタイルでやればいわけですけれど、義務教育となるとなかなかそうはいかないということです。何が言いたいかと言いますと、この教科書ならばこのように指導する、この教科書であればこう指導するというふうに、私自身はそういうやり方をしてまいりました。しかも、英語教育も本当に日進月歩というんでしょうか、日本がなかなか英語を話すことができないという課題をどのように教科書で克服できるのか。随分私の携わった時代から時間が経っているわけですけれども、まさにデジタルコンテンツが非常に整備されて素晴らしいものが出てきます。私なんかの時は音声教材、せいぜい映像教材ぐらいでありましたが、そういったものが整備されている中でこの教科書ならどうしているか、あの教科書ならどうしているか、というところの問題なのかというふうに思います。</p> <p>光村図書のストーリー性を選んだということで、私自身がどう判断をするか意見を申し上げますと、なかなか今までにないスタイルの考え方だなと思います。もちろん段階を踏んでやるという今までのスタイルの方が安全かもしれませんが、考え方によっては子どもたち、つまり4人の中学生ですか、それに関わっている友達とか先生とかいるわけですが、その4人の子どもたち、これもアメリカ人の転校生、韓国からの転校生というふうな人間模様もありますし、そういう友達が色々な学校行事や自分たちと同じような体験をしながら成長していく姿を共に味わえる、しかもその中で日本語で考えるところを英語をつけて考えていくという形で成長していく、自分も英語の力が伸びていく、こういうストーリー性と合わせて言語を習得する成長する姿は非常に新しい発想かなと思います。何が英語をものにするために大事かということは、興味関心をもってそういう場面を思い描くことができる。描く</p>



力というんでしょうか、Guess（ゲス）というんでしょうけれども、こういうふうなもの強く働く時については日本語でも言葉が出ますし、それを英語に置き換える場合も容易なのではないかなと思います。しかも合わせて自分と同じような感動が覚えられます。自分の成長と共に英語がついてくるということは、非常に幅広い教育がこの英語教育を展開することによってできるのではないかなと思います。場面を描くのが非常によい例であると、人間関係を絞った中で共に成長できる喜び、こういう中で英語を捉えるということで、現場の先生がご判断いただいているわけでありますので、そういうことであれば非常に幅広い英語教育、しかもそういった共に育つ中での英語教育、こういった辺りのところが評価されているんだと思いますので、現場の先生の成果・課題については支持したいと思います。

[教育長] 他にご意見等ございますか。

それでは、英語について光村図書・「Here We Go! ENGLISH COURSE（ヒアー ウィー ゴー イングリッシュ コース）」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。

[全委員] 《委員全員挙手》

[教育長] 全員一致で光村図書・「Here We Go! ENGLISH COURSE」を採択します。

【道徳】

それでは最後になります。道徳についてよろしくをお願いします。協議会の選定は、あかつき教育図書でございます。協議会があかつき教育図書を選定した理由を事務局から説明をお願いします。

[田原主幹] 道徳は、東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教出版、学研出版、あかつき教育図書、日本教科書の7社からの採択となります。各社ともに、現代的な課題を扱っているとの報告でした。代表調査員からの報告後の質疑応答の概要ですが、「地域ともからめて、どの教科書が使いやすいか。」との質問に対して、「日本という広い範囲から考えて、教科書に差異はない。」とのことでした。また、6年間あかつき教育図書を採用していることに関して、メリットやデメリットはあるか。」との質問に対して、「意識して教科書で取り組むようになった。」とのことでした。

[教育長] 事務局の方から説明頂きましたが、委員の方々、これに関して何か意見はございますか。

[狩野委員] 教科書を作っている段階で旬の人、中学生がもっと自分事として考えられるように今話題の人が随分使われているということ、以前に新聞等で読んだかなと思います。各社ともに様々な方が出てらっしゃって、中学生が自分事としてその人の人生から学ぶ工夫をされているんじゃないかなと思います。

あかつき教育図書の方には、この間も頑張られました池江璃花子さんとか、病気がわかり苦労されてそれでもご自身が耐えてもう一回新たにチャレンジをされた感動があるかなと思います。そういうものも教材にしながら、中学生が学んでいけるということは素晴らしいことだなと思いますし、世界が注目している大谷選手なんかも夢へのステップということで「マイ・プラス」というページで更にその人の思いをしっかりと感じられるような工夫をされているんだなと思います。人として生きていくために中学生が何をこれから自分の中で考え、感動して、何ができるのかということをも具体的に学べるような教材になっているのではないかなと思います。

更にいじめに関しては今大きな問題になっておりますけれども、各学年とも5月6月に重点を置いて、しっかりと年度当初にいじめがいけないということについて、中学生が学べるというような進み方もされてらっしゃるかなと思いますし、最近SNS等で誹謗中傷も多分に出てきています。この間のオリンピックでも様々な意見がございました。そういうところで情報モラルもきちんと押さえていかなければならない時代になっているかなと思います。大人がついていけないだけに、道徳の授業の中で中学生が話し合いながらこういう事がいけないよということを考える作りをあかつき教育図書の方では強く出されているように私自身が感じました。



	<p>共生だったり人権だったり多様性、そんなものが今どんどん世の中変わっておりますし、世界には色々な国があって色々な文化があって色々な人がいて、それが共に生きていくんだということを考えるいい学びのテキストになっているかなと感じさせていただきました。</p>
[教育長]	他にご意見等ございますか。
[八頭司委員]	あかつき教育図書は、導入用動画や終末動画が用意されており、教材理解や考えを深めるための工夫がされているように思います。また、従前より扱われている読み物資料の中で感動資料も多く採用していることから、読み物が自分事として考えられると思います。
[教育長]	他にご意見等ございますか。
[橋本委員]	<p>先ほどのご説明の中にもありましたけれど、日本という広い範囲から考えて教科書に差異はないと。本当に各社とも非常に工夫されて、色々な要素・教材を取り入れられているということで、毎回充実感に感心しているところです。そして、6年間あかつき教育図書を採用していることに関してメリットやデメリットはあるかとの問いに、意識して教科書で取り組むようになったということで、肯定的な評価を得られているとご説明いただきました。</p> <p>どの教科書も非常に素晴らしいと思うんですけども、やはりそれを先生方が本当に自分自身の中にしっかりと取り込まれて、その道徳的価値というんでしょうか意味合いというようなものを、教科書で教えるというよりも身近な出来事、クラスであればクラスで起こった今のことをどのようにパッとつなげられるかという、この教育力がものを言うのではないかなと思います。ぜひ、今まで使っておられてかなり深まりもあると思いますし、習熟もされておられると思いますので、指導力の向上を引き続き採用されるということであれば、そういったものを活かしてもう勉強しなくていい、勉強しなくていいというのは可笑しいことですけれども、そういうことじゃなくて身近なものと捉えて、そこに結び付ける力というものをぜひ育てていただければという意味合いで支持したいと思います。</p>
[教育長]	他にご意見等ございますか。
	それでは、道徳についてあかつき教育図書・「中学生の道徳」を八幡市教育委員会として採択することに賛成の委員は挙手をお願いします。
[全委員]	《委員全員挙手》
[教育長]	全員一致であかつき教育図書・「中学生の道徳」を採択します。
	教科書採択にかかる本日の協議は、全て終了いたしました。ここで、事務局のほうで確認をお願いします。
[田原主幹]	<p>それでは、本日の協議の結果につきまして報告をいたしますので、御確認のほどよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>令和7年度使用中学校教科用図書につきましては、教科、発行所の順に申し上げますので、確認のほどお願いします。</p> <p>国語・光村図書、書写・光村図書、社会 地理的分野・帝国書院、歴史的分野・帝国書院、公民的分野・帝国書院、地図・帝国書院、数学・啓林館、理科・啓林館、音楽 一般・教育芸術社、器楽合奏・教育芸術社、美術・光村図書、保健体育・東京書籍、技術・家庭 技術分野・東京書籍、家庭分野・東京書籍、英語・光村図書、道徳・あかつき教育図書、以上の結果となりました。以上です。</p>
[教育長]	ありがとうございます。
	協議いただいた結果については以上のとおりですけれども、何か御質問等ございませんか。
[狩野委員]	感想ですけれど、教科書をいろいろ見せていただきまして、中学生の学びが深まるように懸命にご努力されているな、そしてわかりやすく授業に活かせるように工夫されているなど、各社ともに敬意を表したいと思います。そのように一所懸命作ってもらった教科書を使って中学生の学びがより主体的・対話的で深い学びとなっていきますことを切に願ひたいと思います。
[教育長]	他にご意見等ございますか。
[橋本委員]	私も同じような感想を持ち、選定のたびに非常に素晴らしい質とレベル、工夫というんでしょうか、こういったものを感じているところです。特に、デジタル環境が飛躍的に素晴ら



しく準備されていることに感心しております。であるがゆえに、これは子どもたちにとって軽量化が非常に工夫されています。努力されているということについては非常に認めたいと思いますけれど、大きな負担になっていることも事実でありまして、何とかできないのかというふうなこともあります。更にデジタル化を進めて紙面を少なくするという方向もあるでしょうし、タブレットに収めるということもあるでしょうし、まあそんなことは言われるまでもなく考えておられると思いますけれど、ぜひ子どもたちの豊かな学びを進めると共に、教科書の在り方についても更にそういった面で工夫をされることが望まれる、子どもたちの負担軽減という面でもよろしくお願ひしたいなと思います。

[教 育 長]

他はよろしいですか。令和7年度使用中学校教科用図書採択協議について、終了いたします。

次に、配付資料について、事務局より説明願ひます。こども未来課。

3. 配付資料

[高 橋 課 長]

お手元に7月分の定例教育委員会の議事録の写しをお届けをしております。

[教 育 長]

次に、次回定例教育委員会の日程につきまして、事務局より説明願ひします。

[高 橋 課 長]

次回の定例教育委員会の日程でございます。9月18日水曜日、午後3時から庁舎5階会議室5-2で開催をいたします。学校訪問については、10時からくすのき小学校、11時30分から男山第三中学校への訪問を予定しております。

4. 閉会

[教 育 長]

特にお聞きになりたいことはございませんか。以上をもちまして、臨時教育委員会を閉会させていただきます。ご苦労様でございました。

教科書展示における意見集約表
 ～法定展示及び巡回展示において寄せられた意見書～
 (令和7年度以降使用中学校教科用図書)

教科名等	意見(原文転記)	展示会場
国語	内容はおもしろくよませていただきました。でもとにかく厚重。うしろの資料集は3年間を1冊にして軽くないか。	宇治市
国語	光村と三省堂と東京書籍をみくらべましたが現在採用中の東京書籍で良いように思いました。読書・文学好きには、光村がよいのですが、苦手な子どもにはハードルが高いかもしれません。短か目の様々なジャンルの読み物が工夫してのせてあり東京書籍が現代の言語生活にはあっていると思いました。	京田辺市
国語	東書の『サハラ砂漠の茶会』、教育出版の『学ぶ力』という話が個人的に好きです。ぜひ中学生に読んでもらいたいと思いました。三省堂はいまいちの印象でした。(2年)	木津川市
国語 三省堂	教科がかわいいので、国語が好きになる人が増えると思います。 教科の中を減してほしいです。	宇治田原町
国語等	採択された教科書だけでなく、採択されなかった教科書等も参考のため学校においてもらえると普通の授業で感じたこと等他の教科書会社ではどのように記述されているか比較することができる。そうすることでよりよい意見を集約することができるのではないか。	相楽東部広域連合
国語	段落を表すものがドットであったり数字であったり見やすく表示されていてよい。	相楽東部広域連合
公民・地理	ゆっくりみいてませんが量が多く、絵も多く、もう少し簡便・軽くないかと思えます。 社会科を中心にみましたが、重なっている写真など、もっと連携して軽い教科書になってほしい。重さ制限をしてみたら？	宇治市
社会	東京書籍は内容が整理されていてわかりやすい。 資料が多いのは幅が広がり、良いと思った。 動画や資料がIpad上で見られる「デジタル教科書」に対応しているかも大切だと思った。	八幡市
社会	東書と帝国の歴史について、東書の方が日本史と世界史のつながりをつかみやすいと感じました。 地理に関しては、東書の方が資料が大きくて見やすいのと、世界と日本の比較がしやすいと感じました。	八幡市
社会科	社会科の教科書には、QRコードがあり、生徒がタブレットで、教科書にはない動画などを見ることによってより理解が深まると思いました。 検定を合格した教科書が他にもあると思うのですが、5社しか展示されてなかったのも、他の教科書も見たいと思いました。	井手町
社会 (歴史) (地理) (公民)	どの教科書も創意工夫されていてわかりやすかったです。現場の先生がねらいをしっかりと、つけた力を意識して単元指導計画をたて、主体的対話的で深い学びにつながるよう指導方法を工夫改善していくことが大切だと思います。 何のための言語活動かまた、ICTの利活用かの意識をまずは高めてほしいと思っています。	宇治田原町
社会	教科書によっては中学の学習内容として難しいものがあつたように思う。	相楽東部広域連合
歴史	仕事の合間に閲覧にきました。わずか40分間しか居られなかったので、新聞で話題となった令和書籍の国史教科書を手にとりました。最初のページ「この教科書の課題」を読んだだけでびっくりしました。自分の生まれ育った国家の歴史を知ること、歴史を学ぶ意味は国家の歴史を知ることなのではないでしょうか？ 他の教科書と見比べる時間もなかったので、また機会を見つけて展示会に足を運びます。	宇治市
歴史	育鵬社が気になっていました。自由社も何か意図ありそう。令和書籍だけ形もちがいますが、いろいろ隠れていますね。	宇治市
歴史	展示会場に入る前、職員室で現在使用されている歴史の教科書の出版社をお聞きしたところ、帝国書院ということだったので、帝国書院の「中学生の歴史」を読みました。戦後の「冷たい戦争とその影響」から「日本の独立と世界の動き」「冷戦下での日本とアジア」で、同時期の他の出版社では、どのように記述されているか見比べました。東京書籍よりも帝国書院の方が沖縄の基地問題にも関心が向けられるようになってきていると感じました。令和書籍の「国史教科書」はどうしてこのような本が教科書として認められたのか全く理解できませんでした。私は宇治市が来年度も歴史では帝国書院がよいと思いました。	宇治市

教科書展示における意見集約表
 ～法定展示及び巡回展示において寄せられた意見書～
 (令和7年度以降使用中学校教科用図書)

国史教科書 令和書籍	著作者が2名のみという点にも表れているように、著者の天皇賛美文章にあふれていて、史実にも異なる表現が随所に見られる。何故、これが教科書検定を通ったのか不思議でならない。	宇治市
国史教科書 令和書籍	歴史全体に天皇崇拝が流れているようで教科書として学ぶにはマニアックな傾向があり、子どもたちにふさわしくありません。使わないで下さい。	宇治市
歴史	育鵬社は天皇や安倍首相賛美。自由社も国民とともに歩まれた昭和天皇と天皇賛美。令和書籍は皇国史観の押し付け。三社の教科書は、日本の真実の歴史ではない。	宇治市
新しい歴史(自由社)～他6社の歴史教科書 国史教科書 (令和書籍)	片寄った視点からではなく多方面からみた日本史、世界史が記述されていて子供達が広く歴史に関われると感じる。憲法制定についてもアメリカに押し付けられたものではなく、最初に作った憲法が「大日本帝国憲法」そのまま民主化が徹底されたものではなかったため、日本の民間団体共に今の新憲法を作り上げた。私が知る限りのとらえ方で、子供に使わせたいと思った。 中学生に教材教科書として使わせたくない教科書ワースト1 まず教科書名に驚き、1ページ目からの「神が造った日本」のアホさ、「皇位継承図」たびたび出てくる。天皇崇拝時代の驚ろしさ！気持ちが悪くなる程、令和書籍本は天皇崇拝本でした。天皇統治時代をあおる書籍と感じました。偏見かも知れませんが、宇治市教委は絶対にとり入れないで下さい。	宇治市
令和書籍「国史」	日本だけでなく、世界に目を向けて歴史を学ぶ必要があると思うのでよくない。読みにくい、歴代天皇の皇位継承図、世界各国王朝略年表は不必要。何故のせているのか疑問	宇治市
国史教科書 (令ワ書せき)	教育勅語は載せるべきことではないと思います。内容によってどのように解しゃくするか、教育するかにもよりますが、安全保障条約が現在どのように存続しているのかの記ろくが必要だと思います。	宇治市
社会	令和書籍…全体が驚くような内容であった。皇位継承なんて教える必要ない。たてがきにもびっくり、国史という名前にもびっくり	宇治市
歴史教科書	自由社、令和書籍、育鵬社の教科書は「アジア太平洋戦争」を「大東亜戦争」と記述する等、戦前回帰で、子どもたちに使用させるべきではないと思います。時代錯誤だと思えます。以上	宇治市
社会	社会 令和社の国史よく検定に合格したなあ？教科書は史実に基づいて作られる本だと思っていましたが、「国史」教科書では、歴史の読み物とまちがう感じです。ある歴史観で意図的に作ったとしか思えない。	宇治市
社会科	「自由社」第二次大戦における我が国の対外政策(侵略行為)を免罪するような記述が見られる。「アジアの人々を励ました」のような。→教科書にふさわしくない記述。 「令和書籍」子どもたちが喜んで手にする装丁になっていない。しかも、皇国史観(天皇史観)が終始貫かれており、学びが偏向する恐れがあるのでは。文科省の検定をパスしたとは思えない。	宇治市
中学校 歴史教科書 教育出版 東京書籍 帝国書院	この三つの教科書は、記述が世界史的に見ても比較的正しいと思われる。 特に近代部分で、世界的に戦争に至る過程―世界恐慌から行きづまる日本の政治・経済―それに代っての軍部の進出して来る歴史記述は正しいと思うが、朝鮮半島、旧満州、東南アジア等への侵出で、侵略、加害の記述がほとんどないのは残念。中学生たちに、客観的な歴史認識を持ってもらう時代なのに… 現場での工夫が必要と思う。	宇治市
中学校 歴史教科書 育鵬社 令和書籍	この2冊は問題。中学生に与えては、客観的な歴史認識が育たない。 特に令和書籍を検定に合格させた意図が不明。歴史教科書に神話を混入するのは完全な間違い。また、近代史の分野で、明治天皇、石原かんじ、満州国建国の意義などを美化しているのは間違い。「慰安婦」の存在は史実に反するという記述も問題。こんな教科書を中学生に渡してはならないと思う。	宇治市

教科書展示における意見集約表
 ～法定展示及び巡回展示において寄せられた意見書～
 (令和7年度以降使用中学校教科用図書)

	中学社会歴史的分野(日本文教出版)慰安婦記述なし 中学歴史(山川出版社) // 中学生の歴史(帝国書院) // (育鵬社) // 新しい社会歴史(東京書籍) // (自由社) // 歴史(教育出版) // (令和書籍)国史教科書-P442慰安婦記述は意図的。削除妥当。	宇治市
歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・令和書籍は生徒にわたしたくない。 ・国史という題名におかしさを感じる。 ・神話を歴史としているのはだめ ・天皇が中心になって良い、がんばったというまちがった考えがよくない。 ・国民主権、人権の観点がない。 	宇治市
歴史	先の戦争後、進駐軍により禁書化された内容がどの程度反映されているのだろうか？	宇治市
自由社 <社会科>	記述の中に「日本は、世界で最も古い王家である天皇家が」とあったり、“第1次世界大戦”を「大東亜戦争」という記述は、今の憲法、市民感覚となじまない。子どもたちに、こういう偏向的な教科書は、使ってほしくありません。教科書会社によって、取りあげている内容が全く異なり、どういった教科書を子どもたちに手渡すのかしっかりと検討してほしいです。よろしく願い致します。	城陽市
歴史 (社会)	教科書によって大分記述に違いがあることがわかります。ぜひ子どもたちが考える余地のある教科書を選んで下さい。時間がなく、2冊しか眼を通せていませんが、“学び舎”の教科書は話に聞いていた通り面白かったです。	城陽市
社会(歴史)	「自由社」の教科書について 日本国憲法が一方的にGHQからの押しつけ強要であるかのような表記が強く、他社のように日本側の憲法制定の動きを加味した記述はない。日本側にも、国民主権を主張する人たちがいて、一定その意見も日本国憲法に反映されている事実がある。この点について「学び社」は具体的記述があり、他社は日本側の意見もあつたと受けとれる表現がとられているように感じた。 令和書籍のがなかったのは残念！	城陽市
	歴史教科書を見せてもらいました。戦争の真実を伝えていない会社(自由社)があり、それはよくないと思います。今ウクライナやガザ等でも多くの命が失われています。日本は先の大戦で戦争をしないと決めた憲法を持つ国です。戦争を賛美したり、改憲を主張するような時代錯誤の教科書ではなく、歴史の真実を伝えていく教科書を選んで下さい。アイヌの人権や環境問題などがもろこまれているのはよいと思いました。	城陽市
中学社会 歴史	領土問題についての各社の見解記述の違いが大きいです。近・現代ではとりあげることがむずかしいことも多いですが、見解を相違を生みだしている経過について卒直な記述が必要。主観では困る。	城陽市
自由社 「新しい歴史教科書」	日本国憲法の制定 p257 ～交戦権の否定など衝撃を受けました～とあるが、国民の多くは戦争が終わりホっとしていたのと、憲法9条は日本人が提案したものであることは数年前明らかになっている。内容が間違っている	城陽市
新しい日本の歴史 育鵬社	P234 何故 大東亜戦争という名称にこだわるのか。アジア・太平洋戦争で良いと考える	八幡市
社会科 中学校の歴史 帝国書院	「歴史を探ろう」の長野学からみる満州移民のページを見て、この教科書は推せんできると思いました。ドラマ、「二つの祖国」での映像が浮かび、国策で多くの国民が苦勞した事実が書かれています。「日本の占領政策」で植民地で皇民教育をしたことも書かれています。歴史はありのままの事実を「何も足さず何も引かず」教えて、その中から教訓を他国との友好関係の構築に役立ててください。★「帝国書院」の教科書を採択してください	八幡市
新しい歴史教科書 自由社	「教育勅語」は大日本帝国憲法のもとでの教育方針であり天皇の家来としての「臣民」に教えたものです。それを「国民」と意図的に変えて書いていますが、教科書そのものが戦前回帰の記述です。戦争の反省を教訓と教えてこそ歴史教育です。「河野談話」に添った教育で世界で活躍できる子どもを育てる教育をしてください。★自由社の教科書の採択はしないでください	八幡市

教科書展示における意見集約表
 ～法定展示及び巡回展示において寄せられた意見書～
 (令和7年度以降使用中学校教科用図書)

新しい歴史教科書 自由社	関東大震災の記述で重要なことが書かれていません 朝鮮人・中国人の虐殺など何も書かれていませんが、大震災時に「差別意識」によりデマが拡散されて起こった事件です。きちんと教えないと記念碑の撤去など今につづくアジアとの国際問題にもなります。あった事はきちんと記述し、反省する中で、良好なアジア諸国との関係が築けます。★自由社の教科書は採択しないでください。	八幡市
国史教科書 令和書籍	①中学校の教科書としては難しすぎます ②歴代天皇の皇位継承図など天皇物語を歴史の時間に教えることの意味は？ ③天皇家の教科書を一般の生徒に教える意味がありません ④P413、農地改革で小作人に地主の小作地を安く売り渡したことが農業の細分化につながり、現在の農業衰退の原因と書かれていますが、大きな間違いであり許せません。今の農業の衰退は農業政策の結果です。	八幡市
国史教科書 令和書籍	歴史教科書は過去から何を学ぶか、教訓をこれからの社会にどうかしていくのかの教科書でなければなりません。日本はアジア・太平洋戦争からの反省と教訓を語ることを抜きにしての歴史教育はあり得ません。誇りにならない歴史であってもそこからしっかりと反省と他国との友好をめざしてこそ、他国に誇れる日本になります。教科書は歴史を「足したり引いたり」せずありのままを！★令和教科書は偏りすぎています。採用しないでください。	八幡市
新しい日本の歴史 育鵬社	アジア太平洋戦争の記述を読むと、戦争・植民地支配を正当化しています。 日本が他国に加害したことは書かれず、まるで他国に貢献したかのごとくの記述です。 戦争は必ず「被害」と「加害」の両面があります。 文化も経済もグローバルな時代です。都合な歴史であってもありのままに教えて、世界に通用する子供を育ててください。★育鵬社の教科書は採択しないでください	八幡市
令和書籍 国史教科書	国の歴史を学ぶというより、天皇史を学ぶという強いかたよりを感ずります。記述もむずかしく、子ども達が学習するものとして不適切だと思います。	八幡市
育鵬社 新しい日本の歴史	・太平洋戦争を大東亜戦争と紹介して、自存自衛をもちあげているのは誤り。 ・戦争の記述全体が戦争を美化し、賛美しているように読める。p234～241 二度と戦争をしないという観点をはっきりさせるべき。	八幡市
自由社 新しい歴史教科書	・神話を歴史的事実と扱えないと書きながら長々と内容を紹介し天皇を崇拝する立場の記述。 ・戦争終結の際「聖断」「昭和天皇の決断」をおおぐ→戦争責任に言及せずに美化している ・〇〇さんのノートという形で考えを押しつけている	八幡市
令和書籍 国史教科書	・歴代天皇の皇位継承図 神武…は神話的な話で事実として検証されていないし明らかにおかしいと言われるのも混じっていて、右翼的な意図がむき出しで不快 ・満州国の歴史の意味・こんな話中国の人や満州で苦勞してひきあげてきた人は怒る ・全体的に武装した日本人の写真が多い。採用しないでください。 ・p183 近世の絵 足袋をはいていますが、歴史的にあっていますか？	八幡市
国史教科書 令和書籍	神話を無くした国は100年で滅びると云われている中で、神話を可能な限り正しく子供達に伝えようとする教科書だと云えます。日本復興に向けた第1歩の教科書です。	八幡市
中学校歴史教科書 令和書籍「国史」 自由社新しい歴史教科書 育鵬社 新しい日本の歴史	社会科の教科書(歴史)は「読み本」ではない。これが大前提。歴史作家の歴史読み物とは一線を画するものと思います。教科書は学問・科学の成果を踏まえたものでなければなりません。この点から考えると、令和書籍の「国史」は教科書とは言い難いと感じます。また、自由社、育鵬社ともに神道を位置づけた取り上げかたをしていますが、その一方これが暴走した、特に第2次大戦時のこともきちんとふれなければならぬと感じます。 発展途上の子ども達にグローバルな目を養う上で、適切な材料を提示しているとは思えません。	八幡市
東京書籍 新しい社会歴史二種類 新しい公民社会二種類	著しい自虐史観に基づいており、全くふさわしくない。 たとえば、歴史の日韓併合について、韓国内の日本への併合要望があったが、まったく記述されておらず、あたかも武力で植民地化したように書いてある。 このような嘘ばかり書いた低レベル小説はふさわしくなく、絶対にさけるべきで有る。これを採用する教育関係者がいたならば、見識を疑われるだけでなく、「愚か者」とそしりを受けるであろう。 公民についても自虐史観が強く、子どもたちの健全な成長の妨げになると思います。	八幡市
自由社	61「大日本帝国憲法と立憲国家」で、みんながこの憲法ができたことをすごく喜んだと吹き出しに書いているが、みんなだろうかと思う賞賛したと押しつけるのはおかしい。憲法ができた事実だけでよいと思う。	八幡市
社会・歴史 令和書籍 国史	南京事件について、「当時の南京市の人口は20万人だから30万人は殺せない」と使い古されたウソ(30万人は南京市のみの犠牲者を指していない)を使うなど、子どもの教育に有害。また、日本のアジア侵略を欧米植民地支配からの解放が目的であるように書いてあるが、南方の資源略奪という目的をかくすための当時の日本政府のプロパガンダを事実であるかのように書いているのも子どもにウソを教えることになる。これは教科書ではなく、かたよった思想書である。公共教育で使用してはいけない。	京田辺市

教科書展示における意見集約表
 ～法定展示及び巡回展示において寄せられた意見書～
 (令和7年度以降使用中学校教科用図書)

社会・歴史 令和書籍 国史	日本の始まりからきちんと記載されており、評価できると思う。 また、「日本史」ではなく「国史」という表現は「日本人」を学ぶ上でもとてもあたり前であるが、現代で表現されることは少ないが最も正しい表現と思います。	京田辺市
社会・歴史 令和書籍 国史	歴史について、従来の誤った内容が、かなり正しく記述されており、採用されたことが良いと思います。	京田辺市
社会(歴史的分野)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本が悪いという自虐史観ではなく日本に誇りを持てる内容が記されている自由社の歴史教科書を是非採択して頂きたい。日本に誇りを持ち、日本を愛する気持ちが育まれれば、子どもたちの自己肯定感も上がり、世界に胸を張って社会で活躍できる。 ・子どもたちに手渡したくない教科書 <ul style="list-style-type: none"> ①侵略戦争を賛美・「日本国憲法の改正」に導く教科書 <ul style="list-style-type: none"> a.育鵬社 歴史(日本教育再生機構)、公民(日本教育再生機構) b.自由社 歴史(新しい歴史教科書をつくる会)、公民(新しい歴史教科書をつくる会) c.令和書籍 国史(竹田恒泰) d.日本教科書 道徳(白木みどり) ②その理由 <ul style="list-style-type: none"> *研究成果が反映されず、記述に誤り多く公教育で使えない。 *侵略戦争を賛美し、真実を教えられない。 *日本国憲法を敵視し、「改憲」を推進記述で一面的。 *政府の考えだけを記載し、子どもに考えさせようとする一方向的記述。 ・日本の植民地という題目で、日本の植民地支配という言葉を使い朝鮮、台湾の国に対して貢献した多岐にわたる功績が明記されていないのは偏った歴史認識に繋がると思います。(山川出版社 日本と世界 中学歴史 P.200) ・昔に比べて絵や写真が多いが軽々しいイメージ。権力者がどの年代も並び、天皇も年表になっていて、歴史の中心が、国民である部分が見られない。米の原爆投下もさりと事実のみで、被爆国としての思いが伝わらない。(育鵬社) ・日本の戦争の美化がひどい 特攻隊の美化 アジアの国々に与えた被害 どんなにたくさんの人を殺したかなど、中国の人々へのぎやくさつなど具体的にあきらかなことを全く無視。(自由社 →これはひどい) ・令和書籍「国史教科書」冒頭から「皇統譜」などを示し、万世一系の天皇家により国が継承されてきたなど、驚くべき歴史観で編さんされている。絶対に子ども達に手渡してはならない。自由社、育鵬社も令和と比べれば表現はやわらかいが、歴史観は共通しており、採用すべき教科書とは考えられない。 ・令和図書の「国史」は皇国史観丸出しでとても使えるものではない。 ・P.235 QRコードによるヒトラーの演説。(演説内容がわからない)必要だろうか。 P.216 用語解説「共産主義と共産党」生産物の分配のちがいで、社会主義と共産主義を説明しているが、一面的な説明になっている。(山川出版社) ・カラーページが、巻末のみで興味関心をひかない。サイズも文字も他に比べ小さく読みづらい。(令和書籍) ・3社の歴史教科書は皇国史観がベースにあり、日本国憲法下の教科書にふさわしくない。(令和書籍、自由社、育鵬社) 	木津川市
社会 歴史	歴史の記述について、その表現から受けとる解釈が違ったものとなる。子ども達が学ぶ中で価値観形成にもつながることから学習指導要領の目指す広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な視点からの記述となっているのか吟味することをお願いします。	久御山町
歴史	神話が日本の歴史の始まりのように書かれている。(自由社) 教科書では真理・事実を正確に伝えず、戦争を賛美しているような書き方をしている。(自由社、育鵬社、令和書籍)これでは困ります。	宇治田原町
歴史	「自由社」「育鵬社」特に「令和書籍」はひどすぎる。天皇中心の歴史観で憲法改正を歪めている。対して「学び舎」は子どもの立場で良い教科書	宇治田原町
社会(歴史) 自由社 令和書籍	子ども達に歴史を教えていく場合、史実に基づいて教えていくことが大切であると思っています。その中でなぜそのように歴史的事実が起こったのか子ども達は自分の頭で考えていくのだと思います。その思考を繰り返していかないと今後何をどの様に考えていけばいいのかという考えが持てないと思います。自由社も育鵬者も大切な事実が抜け落ちていると思います。 ・日本の侵略戦争であった事・特攻隊の死が(散華と表現)・慰安婦の記事がない	宇治田原町
社会(歴史的分野)	歴史を教える上で区切りよく教科書が作られているのが「教育出版」「東京書籍」 歴史を教える上で使い勝手が悪いのが「帝国書院」加えて細かく記述されていて教えるにくい	精華町

教科書展示における意見集約表
 ～法定展示及び巡回展示において寄せられた意見書～
 (令和7年度以降使用中学校教科用図書)

社会(歴史的分野)	令和書籍 ○古代から始めて、天皇の歴史書 ○p423 1960安保条約改定…「日本がより対等な関係となり…盤石なものとなった」その後、幾度も安保条約の内容改定がなされ、現在に至りアメリカへの従属度が高くなっている。とても対等な関係だとは言えないのでは。	精華町
社会(歴史的分野)	令和書籍 中学生の教科書というより皇統譜に関連した読み物である。 一度検定を通らなかつたのに、何故検定で認められたのかわからない。 裏で何らかの力が働いたとしか思えない。	精華町
社会(歴史的分野)	令和書籍 戦前の皇国史観を引きづっている。日本が他国と比べて特別な国(世界各国朝略年表、皇位継承図、各時代毎の天皇賛美の様な記述 等々)であるかのような記述がたくさん見られる。 「戦争」についても「満州国建国の歴史的意义」や「日本の快進撃」「大東亜戦争」「昭和天皇に二度の御聖断」等々、他国へ侵略したことへの反省がうすまわっている記述が多く見られる。 日本国憲法についても小題が「大日本帝国憲法の改正」でその経過が書かれ最後に「意に反して明け渡した条文がある一方で日本民族の誇りにかけて死守した条分もある」と書かれているところに大いに違和感がある。	精華町
社会(歴史的分野)	令和書籍 正しい歴史を未来の子供達に伝えていくことが世界の平和に続く。 まちがったことを教えてはいけない。人権無視はいけない。	精華町
社会(歴史的分野)	令和書籍 まず、社会科の教科書が国史というのにびっくりしました。社会科とか日本史というのが普通私たちが学んできた呼び名だと思います。最初に天皇家の系図がのせられていたのにも、戦前の教科書のように嫌でした。必要性を感じません。 戦争中沖縄の人たちが逃げ場を失って亡くなった記述がありましたが、逃げ遅れた人たちの責任のような記述のように思いました。そうではないと思います。戦争のぎせい者です。 ・この本は絶対にやめて下さい。	精華町
社会(歴史的分野)	令和書籍 日本の歴史天皇で始まるのでしょうか？詳しく系図が書かれており意識づけをされている様に感じます。 特に1ページ目に載せてあることに驚きました。 真実をゆがめて書かれているし、子供達に戦争の悲惨さ、過ちをしっかりと伝えなくてはなりません。 大人の失敗をしっかりと伝え、しっかりと反省することが大切であること子供達に学んでもらいたいです。	精華町
社会(歴史的分野)	令和書籍 教科書の初めに天皇の名前が出てくるのは戦前の教科書を彷彿とさせる。本当に必要な内容を選んで載せてあるものを選んでほしい。これは反対です。	精華町
社会(歴史的分野)	令和書籍 戦前、日本は中国における権益拡大をはかる植民地政策をとって大戦の要因を使ったという大局に立たず、中国が排日運動するならこちらも言い分があるという立場で書いている。(P350～) 満州事変は石原莞爾の計画であり「戦争の天才」だと記述している(P351～2)。 個人の崇拜につながる持ち上げ方は、今も昔も保守の不変の認識で、歴史を見る眼にほど遠い。	精華町
歴史	科学的な視点、現在の学術をふまえた内容を大切にしていきたい。「神話」の強調や、いわゆる「英雄主義」的な歴史、明治以降の近代化、軍国化の美化、誇張的記述は適切でない。その意味で育鵬社、自由者、令和書籍はさけて頂きたい。	相模東部広域連合
社会国史	写真も多く解説もとても詳しくデータや記録に基づき客観的な記述 日本の歴史と世界の歴史が切り離せないものだとよく分かる 両者の背景を知ってこそ歴史が生き生きしてくる。 この本は読んでいてとても臨場感がありワクワクして読める 受験の為に勉強する教科書でなく、日本人として一家に1冊 読み物として、教養として持っておきたい一冊である 他の教科書とは群を抜いてすばらしい こんな教科書で学びたかった。そうすれば日本史嫌いにはならなかったはず。	山城教育局
中学校国史教科書令和書籍	日本国の成り立ち→天皇継承図、古事記、日本書紀がきっちり書かれている。自分の国を誇りに思える。 第1大戦～太平洋戦争までの経緯→事実を検証し、深く掘り下げおり、日本がなぜ戦わざるをえなかったのかを理解できる。 うすっぺらな表現、文章が目立つ他の歴史教科書にくらべて秀逸である！！私もこの本で勉強したい。最後の写真がとてもきれいですばらしい！！	山城教育局

教科書展示における意見集約表
 ～法定展示及び巡回展示において寄せられた意見書～
 (令和7年度以降使用中学校教科用図書)

社会科	令和書籍の「国史」は、戦前の教科書のような印象を受けました。検定合格したのが不思議に思います。日本の天皇の始まりが神武天皇から継承図に書かれていて、とても科学的な内容とは思えません。	山城教育局
公民	憲法改正について、どのように説明されているか見比べてみました。東京書籍は「憲法が国の権力を制限し、国民の人権を保障する役割を持つ重要な法であるため国民主権の考え方をより強く反映させるべきだと考えられるから、憲法改正に慎重な手続きが採られている」と説明(P45)していますが、帝国書院は69ページL11～16で「このため、国民主権の原理の変更、再び戦争を起こす国になること、人権保障・権力分立を廃止して立憲主義をやめることなどの憲法改正は許されないと解釈されています。」と憲法96条の定める手続きを、現在の憲法の基本原理を受け継いだものでなければならないと説明しているので、すばらしいと思いました。宇治市の子ども達には、ぜひ帝国書院の「公民」教科書で学ばせてあげてください。	宇治市
中学生の公民 帝国書院	21頁 土地賃貸借契約書の例において、かなり相場より高い金額を明示されている。連帯保証人の義務についての記載がない。	宇治市
公民	国旗の教育は、入学式、卒業式以外ではどの様にされているのだろうか。	宇治市
社会科公民 帝国書院	P33 「立憲主義の考え方」この文章はわかりやすく、重要でとても良かった	八幡市
新しいみんなの 公民 育鵬社	「立憲主義」の説明では、国家権力の濫用を防ぐために憲法があることが説明されていない	八幡市
中学社会公民 教育出版	①「もくじ」が見やすい ②本文と写真・グラフなどが□□番号で見やすいし、○数字で説明書きもわかりやすい、見つけやすい ③人権の考え方と歴史<第2章>も大切なことがしっかりと書かれています。 ★公民は教育出版の教科書を採択してください	八幡市
新しいみんなの 公民 育鵬社	P45 「日本の歴史・文化と天皇」のコラムでは、「天皇を精神的支柱として国民が国家的な危機を乗り越えた」とあり、その例として明治維新、第二次大戦からの復興をあげています。 天皇の名の下に戦争が行われた事実には触れていません。あまりにも偏った歴史観ではないでしょうか。	八幡市
育鵬社 最新新しいみんなの公民	・<憲法の入り口>最初に憲法は誰が守らなければならないか。を最初に説明・明記だと思いました。必要以上に写真やマンガチックな絵が多いです。 ・歴史では、現在が時間に追われ授業時間が少なく、あわただしく大事なことが学べません。現代を最初に学ぶようにしてください。第二次戦争で日本の加害を記述してください。	八幡市
育鵬社	憲法改正を当然視して先導しようとする記述がたいへん気になります。 この教科書は採用しないでほしいです。	八幡市
社会(公民的分野)	平和と防衛について、日米安保や有事への備えが必要のように書かれていて、戦争しない、話し合い外交がぬけている。	木津川市
公民	「自由社」「育鵬社」はダメ	宇治田原町
数学	さんすうからすうがくになることが、どれだけステキで大切か、教育出版の導入がよかった。	宇治市
数学	考え方の流れが整理しやすいと感じた。 (カラーページや説明が会話計式となっており生トの整理にやく立つ)	城陽市
数学	さわりごちは、学校図書がやさしくよかった。 数研出版は、小学校の教科書のように文字も大きく見やすい。教科書によって女性の服装に配慮していたり、人種を考えたつくりになっていて、これからの人権意識が高いことが分かる。計算や理論だけでなく、細部にもこだわってほしい。東書のさし絵がやさしい。	久御山町

教科書展示における意見集約表
 ～法定展示及び巡回展示において寄せられた意見書～
 (令和7年度以降使用中学校教科用図書)

数学	教え主で悪名高き「啓林」でさえ3年の因数分解で面積図をとり入れているのはおどろき。現場の声が反映されている。	宇治田原町
数学	啓林館のみ1年の乗法の説明が異なり他社よりわかりにくい。	精華町
数学	・どれも見やすいページづくりになっていると思います。 ・教科書のふ厚さが少し気になりました。持ち運びを考えると、うすくなるといいと思います	精華町
数学	UDフォントでみやすくなった。 文中の改行位置が特支対応になっているので見やすく。	精華町
数学	文章の改行がどの会社もそろってなくて違和感がありました。でも支援的な部分なのかと思いました。 QRコードの読み込みがあって良いなと思いました。	精華町
数学	どの教科書も、自学自習ができるよう、分かりやすく丁寧に作成されている。特に、二次元コードを読みとると、視覚的に理解を促す教材や、補足の練習問題等が充実している。個別最適に学習が進められるよう、工夫されている点が印象に残った。	相楽東部広域連合
数学	啓林館がいいと思いました。	相楽東部広域連合
理科	啓林館の写真が昔と同じような気がします。	宇治市
理科	この50年すぐ科学が進歩していて、自分が過去に学んだ理科から考えると、もう一度学びなおしたい思いになりました。教科書って基本的なことがわかりやすく書かれていると改めて見直しました。(新しい科学 中学校科学)	木津川市
理科	啓林館は写真も多く、視覚的に大きさを比較したり、色合いも目にやさしいと思う。大日本図書は、女性のイラストはほとんどがスカートをはいている。ジェンダーのことを考えると価値観等の押しつけになるかもしれない。学校図書は、背景の色が基本ホワイトで見やすいが人物のイラストの表情が学習の流れを意図的に導いているように感じる。東京書籍は単元後の1コマにキャリア教育や身近な科学等についての枠があり、社会とのつながりや教科横断的な学びにつながる感じる。教育出版は、内容がすっきりと整理されているが、そこから深く学ぶためには、教師の力量がためされる。	久御山町
理科	・内容はあまり変わっていない ・資料や写真は新しいものになっている	相楽東部広域連合
理科	QRコードが多く採用されており、動画等で詳しく見ることができよい。	相楽東部広域連合
音楽、公民	国歌の教育は、入学式、卒業式以外ではどの様にされているのだろうか。	宇治市
音楽	本のサイズをもっと大きくして下さい。楽譜が見にくいので。特に原譜の歌の日本語読みがほぼ読めません。コードネームをもっとわかりやすく各曲にうって下さい。コードネームの実用的な活用法になりますので！！よろしく願います。 日本の伝統音楽について教師は指導できるのですか あの内容は高度で現状では無理なのは週1時間での指導内容は多すぎでは？	城陽市

教科書展示における意見集約表
 ～法定展示及び巡回展示において寄せられた意見書～
 (令和7年度以降使用中学校教科用図書)

音楽・器楽	1年:ソーラン節の楽譜があるのが良いと思った 1～3年:教科書内容に沿った楽器が後ろのページにまとめられていて良いと思った 1年:Let's Create!の風景を音楽にするのはおもしろいと思った。使ってみたい。 3年:ポピュラー音楽のページP60～P63で、曲にQRコードをつけてもらえるとありがたいです。 著作権の関係で難しいかもしれませんが…。きいてみよう→QRコード 器楽:ソプラノリコーダーの楽譜を載せるより、アルトリコーダーの曲を増やしてほしい。スタッカートなどアーティキュレーションが感じられる曲があるととっても良い。	八幡市
音楽	教育芸術社の教科書を使用しています。ビートルズの曲がなぜ教科書が変わるたびに変わるのでしょうか。 Hey Jude→yesterday→let it be→Hey jude 意図があるのでしょうか。	精華町
美術	美術の本は表が良かった。 全部に対してこんなに紙が良くなっていいので本を軽くしてもらいたい。	宇治市
美術	よくできているなあと感心しました。	宇治市
保健体育	・東京書籍の性の多様性について、SOGIEの考え方に基づいて構成されているのがよいと思いました。LGBTは性的マイノリティで知って学ぶことは大切ですが、多数派・少数派と区別しないで自分ごととして考えることができるのがいいです。(新しい保健体育)	木津川市
保健体育	新しい保健体育は短編動画がQRで見れるのでいいと思った。教科書の色も見やすくなっていると感じた。各ページにQRがあればもっとよいと感じた。	精華町
技術家庭	実習等、作業手順などはQRコードから動画を視聴できるところが生徒には理解しやすいと思われる。	久御山町
技術・家庭(家庭分野)	開隆堂の教科書は、「様々な家族・家庭」の単元でページを多く使い、資料も豊富で「性別役割分業」や「ジェンダー」「ヤングケアラー」などにも触れ、現代の日本社会の課題を取り上げられており、中学生に使用させたいと思いました。また、開隆堂は防災についての内容も多く載せられており、関心がもてました。どの教科書も大きくて、使いにくいそう。	木津川市
家庭分野	調理やミシンなど昔の家庭科のイメージ以外にも消費生活についての内容も多く広い範囲の教育内容になっていると分かりとても良かったです。	山城教育局
英語(光村)	現在、中1・中2の子どもがいます。改訂で中味がガラリと変わるのかと不安でしたが、そうでもないようだったので、よかったです。英語は次年度もぜひ、光村図書を採択してほしいです。よろしくお願いします。	宇治市
英語	Here We Go!, ONE WORLD、英語の歌がのっているのがいい。	宇治市
英語	NEW CROWN…長文が少ないが、物語や落語、レシピ、SDGsなど、様々な分野のお話ののっていい良かったです。(2年)	木津川市
英語	多言語を理解できるようになることも素晴らしいことですが、子どもたちには、世界中のさまざまなできごとに興味をもってもらいたいと思います。どの出版社の教科書も、子どもたちが興味をもつような写真や話が載っていて、良かったと思います。	久御山町
英語	変更点がどこか以前と比較してわかればありがたい。	精華町

教科書展示における意見集約表
 ～法定展示及び巡回展示において寄せられた意見書～
 (令和7年度以降使用中学校教科用図書)

英語	<ul style="list-style-type: none"> 大きく変わった点をおしえてほしい。 前回教科書から+αで教えなければならない単語や表現のリストがあればうれしい。 	精華町
英語	どの教科書もストーリー性を重視しているような内容でした。その中でも、おさええておきたい表現を単元末に設定されていたり、その単元の最終ゴールを設定してあり、その単元でどのようなことを目標に学習を進めていけばよいのかが、教師だけでなく、生徒にとってもわかりやすくまとめられている印象を受けました。	相楽東部広域連合
英語	<ul style="list-style-type: none"> 教科書が大きく、扱いにくいです。 教科書の本文と、デジタル教科書の本文が違っているところは改善されたでしょうか。(Here We Go!) 	相楽東部広域連合
英語	教育出版社 内容の中で時事問題を扱っているが、ふさわしい内容かどうか、再考の方がよいのではないかと。	相楽東部広域連合
道徳	どの出版社も同内容はモーラし、視覚的に理解しやすく工夫していると思いました。ただ日本語教出版「あすを生きる」だけが道徳ノートがあり、学習内容を文章化して記述することで、より良い定着になると感じました。もちろんプリント利用による代用も可能ですが、ノートということで過去の自分の記載を読み返す、振り返るなどの自分自身の振り返りにもつながり、1年間を蓄積できることも利点だと感じます。3月に1年前の4月の自分の考えを再考もできると思います。	宇治市
道徳	道徳(日本語教出版)8ばあば よかった。道徳に教科書を使う必要があるのでしょうか？	宇治市
道徳	孫の一人は現在市内中学校の1年です。今年、どの教科書を使っているか知りませんが、光村図書のサブタイトル「きみがいちばんひかるとき」の言葉にひかれ、中学道徳①を手に取りました。P117～共に生きるために大切なことは？というテーマで「25私の話を聞いてね」、「26差別の根底にあるものは？」「27むこう岸には」そしてコラムの人権って何？人権を守るために必要なことを読んで、来年孫は中学2年生になるので、中学道徳②で学ぶ訳ですが、コラム人権でマイノリティの問題はみんなの問題としてジェンダーやLGBTQについても触れているのはいいなあと感じました。光村図書の教科書で孫が学んでくれたらなと、思いました。	宇治市
中学道徳 光村図書	光村図書の教科書を読みました。 「広げよう」人間関係共生、環境、国際理解など広範囲にテーマが設定されてて、一人一人が考えていく授業です。他の教科と異なり、採点を付けることになじまない教科と思います。 ★道徳は<光村図書>を採択してください	八幡市
道徳	東書のものでできないことに価値を見出すことや、認知症の方を認めるおおらかさ、情報モラルなどももっていて良かったです。(2年)	木津川市
道徳	どの教科書も価値観のおしつけ、とくに「日科」はバランス上、中村哲をとりあげる一方で二宮尊徳や京セラ社長を讃える偏りが目立つ。	宇治田原町
道徳 中学校① (日本教科書)	「人生と心のあり方」経営で成功された人以外の例も載せてはどうか。 「天地と共に」の人選にしても他の方も載せてはどうか。	宇治田原町
道徳	じっくり読み込んでいませんが、東京・教育出版は問題のとり上げ方が浅く表面的な印象。もっと根源的な「人はなぜ生きるのか」「生きる目的」など哲学的な掘り下げができるようなものでないと、今の若者がかかえる問題や自殺、無気力といった人間の問題解決の助けにならないだろう SDGsを目指すなら、今こそ世界から称賛されている昔からの日本的価値観、道徳観、精神性にすばらしいものがあるのでそういったものも今そして未来に生かせるようにきちんと受け継いでいくべきである	山城教育局
	歴史、公民、道徳の教科書を閲覧させていただきました。自分たちが中学生の頃から時代が大きく変わっているので、今の時代で課題になっていることを取り入れ、全体的にはわかりやすくなっていると思いました。それぞれの教科書が内容が豊かになっているのは良いのですが、実際に学校現場では、時間数などの制限のある中で、どう教えていくのかが課題なのかなと思いました。教科書によっては、自分で深められるような構成になっている所は良いと思いました。	宇治市

教科書展示における意見集約表
 ～法定展示及び巡回展示において寄せられた意見書～
 (令和7年度以降使用中学校教科用図書)

	展示回に採択の時期が掲示されるとよいと思いました。	宇治市
	閲覧させて頂けてありがとう	宇治市
	美しく見やすくなっていますが重いですね。毎日持ち運び…どうでしょうね。 国史？タブレットと授業の関係は！授業時間単位がわかりません！1年間で教科書終わるのでしょか	宇治市
	美しく見やすいです。おどろきました。国史が有るんですね…？タブレット体験も有っても良いかな	宇治市
	とても勉強になりました。ありがとうございました。私自身も学び続けていきたいと思いました。	宇治市
	イラストとか絵とか入って分かりやすく説明されています。	城陽市
教科の指定なし	<p>①QRコンテンツの増加が、あまりにも目に余る。…教科書に必要か？ 元教諭として、危惧さえ感じる理由…以下、各紙の論調から抜粋 a.「与えられたリンクを利用するだけでは…主体的とは言えない…深く学ぶためには、能動的に情報を集める取り組みも必要…図書館などに蓄積された書籍や文献の活用は有効な手段…ネット上には、偽情報も多い。」(毎日;社説) b.「…便利だが、生徒が自ら調べようとせず、受け身になりがち…本などで能動的に情報を調べさせる指導も行うべき」(読売;中島哲彦;名古屋大名誉教授) c.「…デジタルで読むより、紙で読んだほうが定着しやすいとの研究結果もある」(埼玉新聞) d.「接続先の動画コンテンツを視聴しなければ学習できない構成になっていて『…学習上の支障を生ずるおそれがある』と指摘された教科書がある」(産経) e.「…問題のあるコンテンツが子どもの目に触れるようになる可能性もありうる」(文科省教科書課) f.「子どもに悪影響を与える内容が紛れ込まないか心配…十分に点検できるルールを検討すべき」(朝日;社説)</p> <p>意見① QRコンテンツの量に振り回されることのないよう、紙の記述内容こそを比較分析して判断されたい。</p> <p>②ジェンダー平等・性の多様性・家族の在り方に関する記述は前進し、大いに歓迎する。</p> <p>意見② しかしながら、多様な家族の在り方を認めない、13か所にのぼる検定意見で削除・修正させられた教科書や、その根拠になった「学習指導要領」こそ、見直しを求める。</p> <p>③「政府の統一見解に基づく記述」・「学習指導要領通りの記述」を強いる検定姿勢に、戦前の国定教科書への「先祖返り」の怖さを想起せざるを得ない。</p> <p>意見③ 子どもたちが、歴史の真実をしっかりと学ぶことができるよう、また編集者各位を委縮させてしまうような検定と制度の在り方の改善を求める。</p> <p>・教科書採択について、二言三言 ①教科書の採択は、子どもと一緒に教科書を使う教職員が、じっくり比較検討・判断できる場の設定(制度)づくりを望む。 ②手始めに、相小研や中教研など、既存の組織も大いに関与できるしくみ(制度)づくりを望む。 ③現行制度下でもできる、改善要求 *採択に至るまでの経過の情報公開。 *展示会の開催についての周知徹底。展示期間の延長。 *教職員が展示会に参加できるような、場の設定(出張扱い)などの条件整備。 *見本本の各校への回覧(比較・検討期間の保障)、比較検討から意見書作成するまでの期間保障。</p> <p>・教科書とワークの出版社を合わせてもらった方がワークがときやすいので、できれば同じ出版社で合わせてもらいたいです。</p>	木津川市
	どの教科書も、写真や色(カラー)等、工夫されていて、よいと思いました。さらに、デジタル教科書を、どの学校も活用できたらもっとよいと思います。デジタル教科書の価格も改善してもらいたいです。	久御山町

教科書展示における意見集約表
 ～法定展示及び巡回展示において寄せられた意見書～
 (令和7年度以降使用中中学校教科用図書)

国語 社会 数学 道徳	検定のたび、展示を見させていただいています。何十年も変わらないなあ、と、変わらないことを確かめるために開いている本もあります。これだけ世の中が変化しているのだから、もっと思い切った改定や、他社本との違いが前面に出されていて良いのでは…？真新しい教科書、幾つになっても清々しい思いになります。	久御山町
	学校司書の立場から言うと、教科書に関連本やおすすめ本の紹介があるとありがたいです。国語科は基本的にありますが、理科や社会など(他の教科全般ですが)に載っていると、図書室でも購入しやすく、生徒への紹介もスムーズにいけます。教科書に載っているのを見るだけでも生徒の興味をひけるのではないかと思います。東京書籍の新しい科学など初めのページに紹介本があってとてもいいと思いました。	井手町
全般	書き込みがしにくい(消しにくい)紙質なのが気になる 音楽や美術のようなカラーである意味があるもの以外はもっと紙質を変えても良いのではないかと。持つのも重い。	宇治田原町
全体	20年間当図書館に来ているが教科書の展示は初めて見ました。 いろいろな教科書を検討するには期間が短かすぎると考えますので常設として下さい。	精華町
全体	これからもこの催しを続けて下さい。 鉛筆をHB以上にしてほしい	精華町
啓林館 東京書籍	ICT活用を考え、QRコードが以前よりふえている点よかった。 実際に、授業で活用できる内容であることを期待している。	相楽東部広域連合
大修館書店 Gakken	すごく良い、見やすい、字と絵のバランスが良い 字が少ない	相楽東部広域連合
	本時や節の問いが示されている教科書がわかりやすく良い。 資料のサイズが大きい、量が多いのが良いです。 カラーでコラムのようなのがある方がよい。	相楽東部広域連合
全般的	最近の教科書はデジタルコンテンツが多くなっており、ICT活用につながる内容が重視されているのだと感じた。	相楽東部広域連合
全般	各教科書 ユニバーサルデザインに配慮してあったり、カラーバリアフリーとしてあったり、工夫して作成していることがわかった。	相楽東部広域連合
小学校 生活	LGBT理解増進法が施行され、心配しておりました。過度な性教育やさも自身はおかしいのではと思わせてしまうような内容が記載されるのではとても危惧しておりました。 現在のところ、上記のような危惧する内容ありませんでしたが、今後も、子どものアイデンティティを形成する学童期にまどわせたり、あおるような内容を載せることのないように願います。	山城教育局

山城教科用図書採択地区協議会

教科用図書調査報告書

(R7～使用 中学校用)

教科用図書調査報告書

教科・種目名	国語	種類	4種	2 枚中 1 枚
--------	----	----	----	----------

採択基準	基本観点	発行者名 (番号・略号)			
		2 東京書籍	15 三省堂	17 教育出版	38 光村図書
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること	(1) 全体としての特徴や創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ① 「言葉の力」の定着と深まり。 ② 現代社会の課題に向き合う。 ③ 「学びたい」に寄り添う。 <ul style="list-style-type: none"> ○「読む」で身に付けた「言葉の力」を「話す聞く」「書く」の教材で生かし、定着させる工夫がある。 ○「多様性」「地球環境」「平和・国際理解」などのテーマを設定し、各領域の学習を通して未来の課題について認識を深める内容となっている。 ○二次元コンテンツを豊富に備えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 「学び方」がわかる。 ② 「対話」を通して深める。 ③ 学びをつなげる。 <ul style="list-style-type: none"> ○課題解決過程において活用できる「読み方」や「思考の方法」がわかりやすく視覚的に示されている。 ○「対話」を中心とした、協働的な学びによって互いの考えを深める内容となっている。 ○二次元コードの参照先サイトでは、多様なコンテンツを豊富に掲載し、紙とデジタルをつなげ、豊かな学びをサポートしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 生徒の主体的な学びを引き出す。 ② 「学び」が深まる 確かな言葉の力を育む。 ③ 「学び」がつながる その先の未来に生きる。 <ul style="list-style-type: none"> ○生徒が自分自身の力で学びを見通し、振り返ることができ、学習に取り組む意欲を引き出す内容となっている。 ○現代の課題を捉えた教材群を選定し、ものの見方・考え方を知り、国語科における資質・能力を育み、深い学びを実現させる内容となっている。 ○多様な価値観をもつ他者との出会いや交流をとおして、自分の言葉で伝え合う協働的な学びができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 言葉の力によって課題を発見し、解決する。 ② 「学びのカギ」「学びの地図」で、既習の資質・能力を主体的に活用する。 ③ 「国語の力試し」(CBT) <ul style="list-style-type: none"> ○学習を焦点化し、言葉を使ってさまざまな課題を解決し、未来を切り拓く資質・能力がしっかり身に付けられる内容となっている。 ○領域を超えた学びのつながりが明確になっている。 ○「読む」で習得した資質・能力を、「話す・聞く」「書く」で活用することで理解を深めることができる。 ○自己採点方式を採用し、生徒自身が「何ができたか」「課題は何か」を確認することで、「自らの学習の調整」に生かせる。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○各文章教材の後に「広がる言葉」があり、その文章で取り扱った言葉に関する知識を増やすことができる。 ○「読む」→「学びを支える言葉の力」→「書く」という流れにより、得た知識や技能を使い、習得することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字の問題等では、中学校で習う漢字に○が付けられていて、新たに覚える漢字が分かりやすい。 ○「思考の方法」や「語彙を豊かに」により、知識や技能が習得しやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「学びナビ」が教材の前にあり、基本的な知識を持った上で教材に入ることができ、理解が深まる。 ○漢字や言葉、文法などを体系的に学習できるように配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各教材に関わる説明等が、例も含めて詳しく書かれており、基礎的な知識を身に付けやすい。 ○情報の広げ方や整理の仕方、深め方を「思考の地図」としてまとめてあり、それぞれに適切な方法を知識・技能として身に付けやすい。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各教材で育成する資質・能力が「言葉の力」として、分かりやすい表現で明示されている。 ○「言葉の力」は「読むこと」教材で習得したことを、続く「話すこと・聞くこと」教材で活用・定着できるように、領域間の関連が図られている。 ○「言葉の力」は育成する力の系統ごとに整理され、3年間を通して系統的・段階的に積み上げられるように配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読み方を学ぼう」や「学習のポイント」「思考の方法」(話すこと、聞くこと、書くこと)などで、「学び方」を学ぶための工夫が凝らされており、汎用的な力を身に付けられるようにしている。 ○「領域別教材一覧」に「つきたい力を確かめよう」として、思判表について表で各領域ごとに図示されている。(◎、○による記載) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「言葉の地図」に「その学年で身に付けたい言葉の力」が思判表について、表で各領域ごとに図示されている。(◎、○による記載) ○「話すこと、聞くこと」の教材では「何を」「どのように学ぶのか」という学習の進め方と目指すゴールが話例で示されている。 ○教材の始めに「学びナビ」があり、その教材の学習の中で、どのような思考力をはたらかせると効果的かを解説と図説で示し、活動内容の視覚化・明確化が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「学習の見通しをもとう」には、思判表について、表で各領域ごとに図示されている。(キーワードによる記載) ○「学びのカギ」「学びへの扉」で資質・能力が焦点化し可視化して示されている。 ○「学びのカギ」「学びへの扉」は、教材冒頭見開きとし右に学習の流れ、左に学習のポイントが示されている。 ○「振り返る」で自己評価できるようにしている。 ○「資料編」の冒頭の「豊かに表現するために」で、1年間で学ぶ「学びのカギ」が整理され示されている。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	国語	種類	4種	2 枚中 2 枚
--------	----	----	----	----------

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		2 東京書籍	15 三省堂	17 教育出版	38 光村図書
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	○学習指導要領に示していない内容は取扱っていない。	○学習指導要領に示していない内容は取扱っていない。	○学習指導要領に示していない内容は取扱っていない。	○「言の葉ポケット」には、思考や分析を深める話型や表現が示され、伝えたいことに適した表現を探す支援になる役割が期待されている。 ○新教材が多い。
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	○「読むこと」の教材の後にある「てびき」の中で、話し合ったり伝えあったりする学習が多く示されている。 ○「書くこと」や「話すこと・聞くこと」の単元で例が多く示されており、主体性を持って学習に取り組むことができる。	○「読むこと」の教材の後に「学びの道しるべ」が示されており、見通しを持って学習に取り組むことができる。 ○「書くこと」や「話すこと・聞くこと」の単元で、見本や例が示されており、ゴールイメージを明確に持って学習に取り組むことができる。	○「書くこと」や「話すこと・聞くこと」の単元で「学習活動の流れ」が詳細に示されており、見通しを持って学習に取り組むことができる。 ○各教材の前にある「学びナビ」を見ることで、その単元でどのような力を付けるのかを理解して学習に取り組むことができる。	○「読むこと」の教材の後に「学びへの扉」が示されており、見通しを持って学習に取り組むことができる。 ○「書くこと」や「話すこと・聞くこと」の単元で「学習活動の流れ」が詳細に示されており、見通しを持って学習に取り組むことができる。
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	○「資料編」に、古典等、さまざまな教材が載せられており、学習した力を活用して、より深い学習へとつなげられるようになっている。	○「資料編」に写真やカラーが多用されており、分かりやすく、また、興味を惹かせる工夫がさせている。 ○思考の方法がかなり詳しく記載されている。	○漫画のコマの並び方等、興味を惹かれやすい内容が取り上げられている。 ○SDGsを取り上げた教材があり、文章読解だけでなく、地球環境等について考えられるようになっている。	○「資料編」の前に「語彙ブック」があり、学習した知識を広げることができる。 ○文法の内容について、説明や例が詳しく書かれており、教材の読解につなげやすい。
	(5) 他の教科等との関連	○他教科と関連する部分に、教科書関連マークがある。 ○カリキュラムマネジメントにつなげている。	○「生かそう」で今後の国語教材だけでなく、他教科等のどのような場面で活用できるかが書かれている。	○SDGsの項目に関係する教材が掲載されている。 ○全学年SDGsについて詳しく説明しているページがある。 ○道徳の教科書のようなものである。	○各学年一つずつSDGsの単元が掲載され、今日的な課題を自分の問題として取り上げ、関連を明記している。
	3 使用上の便宜が工夫されていること	(1) 表記・表現の工夫	○優しい色使いがされている。 ○文法が少なめになっている。 ○古文の訳が紫色で下段に書かれている。 ○デジタルコンテンツが用意されている。 ○ユニバーサルデザインフォントが使用されている。	○挿絵の色にビビッドカラー（赤や緑、青などの原色やショッキングピンクのようなネオンカラーなどの彩度が高い色）が使われている。 ○「竹取物語」や「少年の日の思い出」などの挿絵が今風である。 ○古文の訳が青色で下段に書かれている。 ○訓読の仕方や漢詩の形式についてくわしい説明がある。 ○全学年百人一首が掲載されている。 ○デジタルコンテンツが用意されている。	○全体的にカラーは控えめになっている。 ○文法が多めになっている。 ○十二支など資料集のような内容が多く掲載されている。 ○古文の訳が黄色の枠に黒字になっている。 ○訓読の仕方の詳しい説明がある。 ○問題集のような練習問題が掲載されている。 ○ユニバーサルデザインフォントが使用されている。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	書写	種類	4種	2 枚中 1 枚
--------	----	----	----	----------

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		2 東京書籍	15 三省堂	17 教育出版	38 光村図書
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること	(1) 全体としての特徴や創意工夫	①「書写」のポイントをおさえる。 ② 行書が書ける。 ③ 運筆動画で筆の動きが分かる。 ○文字を整えて書くための知識とコツを言葉で整理し、学習のポイントが焦点化されている。 ○行書の「形」の特徴に加えて「動き」に着目した記載がされている。 ○書くときの様子が分かる運筆動画が用意されている。 ○1年生は、楷書が基本となっている。	① 一目でわかる学習内容 ② ポイントの計画化 ③ 普段の文字に生かす ④ 豊かな文字文化にふれる ⑤ 国語教材との連携 ○学習の見通しをもって主体的に学習できるようになっており、学びの意欲向上につながる内容となっている。 ○日常生活の中で活用できるポイントが示されている。 ○文字を手書きすることの意義を見つめ直すことができる。	① 「書く力」が身につく。 ② 「学び方」がわかる。 ③ 「活用する力」が育つ。 ○すべての学びを支え、確かな文字感覚が身につく内容となっている。 ○学習手順を明確化し、主体的、対話的で深い学びにつなげることができる内容となっている。 ○国語の表現力を高め、生きてはたらく書写力を身につけることができる内容となっている。	① 学びやすく、教えやすい。 ② 書く力が確かに身につく。 ③ 豊かな文字文化に触れる。 ○学習の進め方を3つのステップで示し、見通しをもつことで、主体的に学習に取り組むことができる内容となっている。 ○「行書」を楽しくしっかり学べるよう、書くときのポイントが押さえられている。（1年時より） ○書き初めの由来やポイント等を新設し、文字文化の豊かさに触れることができるようになっている。
	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	○「書写活用ブック」により、必要な知識や技能をすぐに確認することができる。 ○「書写のかぎ」により、文字を整えて書くためのポイントが理解しやすくなっている。 ○「行書のまとめ」や「書写テストに挑戦！」で、学んだ知識・技能を定着させることができる。	○「書き方を学ぼう」が各教材の前に掲載されており、ポイントが明確である。 ○「書いて身につけよう」が各教材の後に用意されており、学んだ知識・技能を定着させやすい。	○各教材の説明がシンプルで分かりやすく、必要な知識・技能が分かりやすくなっている。 ○説明→練習の流れが細かく作られており、学んだことをすぐに実践して、定着させやすい。	○「書写ブック」により、学習した知識をすぐに書いて確認するとともに、積み重ねることができる。 ○「中学書写スタートブック」で書写の基礎・基本が写真を多用して説明されており、イメージしやすい。 ○「学びのかぎ」により、学習のポイントが分かりやすくなっている。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	○「生活に広げよう」では、学んだことを生活の中で活用するために、具体的な場面を想定して話し合う活動が設定されている。 ○学習を通して、思考力、判断力、表現力を高め、深い学びを実現できるよう配慮している。	○「やってみよう」や「書いて身につけよう」で書写の学習内容を活用できるようにしている。 ○「身のまわりの文字」などで文字文化への認識を深めたりして、社会生活で生きる力を育めるように配慮している。	○自らの課題解決に向けて教材を選択することができる。 1年「学校生活に生かして書く」 2年「文字の大きさと配列」 3年「三年間の学習の成果を生かそう」共通 p134～136 補充教材集	○教材冒頭に、文字の原理、原則を考えたり話し合ったりする活動を設定、対話を通して主体性や思考力、判断力、表現力を養えるよう配慮している。
(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	○話し合いを促す文言が多く示されており、対話的に学習に取り組むことができる。 ○日常生活の中で書写で学習したことを生かす活動が多く示されている。	○日常生活の中で書写で学習したことを生かす活動が多く示されている。 ○二次元コードを読み取ることで運筆の見本を見ることができ、主体的に学習に取り組むことができる。	○「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」の四段階で学習の流れが示されており、見通しを持って学習に取り組むことができる。	○行書の書き方のポイントを順を追って学習することができる。 ○二次元コードを読み取ることで運筆の見本を見ることができ、主体的に学習に取り組むことができる。	

教科用図書調査報告書

教科・種目名	書写	種類	4種	2 枚中 2	書写
--------	----	----	----	--------	----

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		2 東京書籍	15 三省堂	17 教育出版	38 光村図書
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	○文字の移り変わりやいろは歌の説明、伝統的な用具・用材の作り方とその主な生産地等が詳しく説明されている。	○「資料編」に、送り状やのし袋の書き方、文房四宝と進化する筆記具が紹介されている。 ○文字の変遷や、書の古典として歴史上の優れた筆跡が紹介されている。	○用具の製法や文字の変遷について、写真を多用して紹介されている。 ○日本建築の中での書や、歴史上の人物が書いた書が紹介されている。	○「コラム」において、さまざまな地域のフォントや文字の歴史、ユニバーサルデザインフォント、さまざまな有名人の字などが紹介されている。 ○「なりきり、書聖・王羲之」で、王羲之の書を紹介するだけでなく、なぞって触れることができる。
	(5) 他の教科等との関連	○職場体験、依頼状、お礼状、本のポップ、防災、手紙、ポスター、新聞、リーフレット、願書の書き方について掲載されている。 ○生活に広げようで、身に付けた力をどのような場面で活用できるかが記載されている。 ○他教科等と関連する部分に、教科関連マークが掲載されている。	○各都道府県の行書とともに、名物の絵が掲載されている。 ○新聞、情報誌、手紙、葉書の書き方について掲載されている。	○本の葉、ポップ、文字の変遷、日本建築、ポスター、手紙、葉書の書き方について掲載されている。 ○各都道府県の城と書の関係が記載されている。	○学級目標、応援旗、ユニバーサルデザインフォント、手紙、葉書、願書の書き方について掲載されている。 ○日本地図を用いた全国文字マップや都道府県行書一覧が掲載されている。
3 使用上の便宜が工夫されていること	(1) 表記・表現の工夫	○3学年分の書き初め見本がついている。（1年は楷書） ○デジタルコンテンツが用意されている。 ○ユニバーサルデザインフォントが使用されている。	○書き初めの見本がついている。（全学年行書） ○デジタルコンテンツが用意されている。 ○カラーユニバーサルデザインになっている。	○教科書のサイズ。（A B版）他社のものより横幅が2cm大きい。 ○年間の書き初め手本は楷書を採用されている。 ○行書の練習文字少ない。 ○書写テストが掲載されている。 ○ユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ○カラーユニバーサルデザインになっている。 ○学びリンクが用意されている。	○特別支援教育、人権、外国人児童生徒、ユニバーサルデザイン、防災教育の観点から、専門家の校閲を受け、配慮を施している。 ○別冊書写ブックがついている。 ○書き初めの見本がついている。（全学年行書） ○デジタルコンテンツが用意されている。 ○ユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ○カラーユニバーサルデザインになっている。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	社会科（地理）	種類	4種	4 枚中 1 枚
--------	---------	----	----	----------

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		2 東京書籍	17 教育出版	46 帝国書院	116 日本文教出版
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること	(1) 全体としての特徴や創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○社会科及び地理的分野の目標を達成するため、社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動ができる工夫がなされている。 ○地域の諸事象や地域的特色を理解し、調査やまとめる技能を身に付けるような工夫がなされている。 ○多面的・多角的に考察したり、公正に選択・判断したり、それを説明したり、議論したりする力を養うような工夫がなされている。 ○日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に主体的に学ぼうとする態度を養えるよう工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会科及び地理的分野の目標を達成するため、社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動ができる工夫がなされている。 ○地域の諸事象や地域的特色を理解し、調査やまとめる技能を身に付けるような工夫がなされている。 ○多面的・多角的に考察したり、公正に選択・判断したり、それを説明したり、議論したりする力を養うような工夫がなされている。 ○日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に主体的に学ぼうとする態度を養えるよう工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会科及び地理的分野の目標を達成するため、社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動ができる工夫がなされている。 ○地域の諸事象や地域的特色を理解し、調査やまとめる技能を身に付けるような工夫がなされている。 ○多面的・多角的に考察したり、公正に選択・判断したり、それを説明したり、議論したりする力を養うような工夫がなされている。 ○日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に主体的に学ぼうとする態度を養えるよう工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会科及び地理的分野の目標を達成するため、社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動ができる工夫がなされている。 ○地域の諸事象や地域的特色を理解し、調査やまとめる技能を身に付けるような工夫がなされている。 ○多面的・多角的に考察したり、公正に選択・判断したり、それを説明したり、議論したりする力を養うような工夫がなされている。 ○日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に主体的に学ぼうとする態度を養えるよう工夫がなされている。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○見開き2ページで1テーマ、「導入・学習課題→展開→まとめ」の流れで構成されている。 ○同年代のキャラクターの吹き出しにより、読み取る視点や学習活動を促し、興味・関心を高める工夫がなされている。 ○学びを深めるために、「位置や分布」「人と自然のかかわり」「場所」「結び付き」「地域」という5つのミカタ（視点）が設けられている。 ○課題をつかむために「探求課題」・「みんなでチャレンジ」というコーナーが、課題を追求するために「学習課題」・「チェック&トライ」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○見開き2ページで1テーマ、「導入・学習課題→展開→まとめ」の流れで構成されている。 ○同年代のキャラクターの吹き出しにより、読み取る視点や学習活動を促し、興味・関心を高める工夫がなされている。 ○学びを深めるために、「位置や広がり（分布）」「自然環境との関わり」「場所」「結びつき」「地域」という5つの地理的な見方・考え方が示されている。 ○学習から興味や関心を広げていく「地理の窓」というコラムや、地図やグラフなどの扱い方を学習する「地理の技」というコーナーが設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○見開き2ページで1テーマ、「導入・学習課題→展開→まとめ」の流れで構成されている。 ○同年代のキャラクターの吹き出しにより、読み取る視点や学習活動を促し、興味・関心を高める工夫がなされている。 ○学びを深めるために、「位置や分布」「人と自然のかかわり」「場所」「地域どうしのつながり」「地域」という5つの地理的な見方・考え方が示されている。 ○巻頭に「対話」「見方・考え方」「地図帳活用」「資料活用」「現地の人々の声」「思考ツール」などを示し、学びを深める工夫がなされている。 ○様々な特設ページやコラムがあり、学びを充実させる手掛かりになっている。 ○二次元コードから多彩なリンクに繋がり、学びを充実させる手掛かりになるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○見開き2ページで1テーマ、「導入・学習課題→展開→まとめ」の流れで構成されている。 ○同年代のキャラクターの吹き出しにより、読み取る視点や学習活動を促し、興味・関心を高める工夫がなされている。 ○学びを深めるために、「位置や分布」「人と自然のかかわり」「場所」「地域どうしのつながり」「地域」という5つの地理的な見方・考え方が示されている。 ○「地理+α」「トライ」「スキルUP」「持続可能な地域をめざして」という学習内容の理解を助けるコーナーが設けられている。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	社会科（地理）	種 類	4 種	4 枚中 2 枚
--------	---------	-----	-----	----------

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		2 東京書籍	17 教育出版	46 帝国書院	116 日本文教出版
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○「みんなでチャレンジ」を通して小集団で参加型学習を行うことで対話的な活動の広がりを図れるような工夫がなされている。 ○「チェックアンドトライ」を通して学習内容をまとめることで、思考・判断・表現力が高められるような工夫がなされている。 ○まとめと振り返りの活動において、思考ツールを活用して考えを深めたり、説明するなどの表現活動に取り組んだりすることができるような課題が設定されている。 ○まとめと振り返りの活動の中で、世界の諸地域では「地球的課題」、日本の諸地域では「未来にアクセス」というように、持続可能な社会について考えが深められるよう工夫されている。 ○二次元コードを用いて雨温図を比較し、その原因や背景が考えやすいように工夫されている。 ○世界の諸地域では「衣食住」について資料提供し、考えやすいように配慮されている。 ○資料が精選されており、考察しやすいよう配慮されている。 ○地域の踏査事例では兵庫県神戸市を取り上げている。まとめ方として、地図や図表で表してまとめる方法が例示されている。五つの視点で課題発見から発表までを例示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「THINK!」や「Q」のコーナーが適宜設けられ、資料を読み取って考察する学習活動に繋がるような工夫がなされている。 ○学習内容に更に踏み込んで思考する「TRY」のコーナーを通して、思考・判断・表現力の深化を図る工夫がなされている。 ○「確認」のコーナーと「表現」のコーナーを設けることにより、学習事項の定着と活用を図ることができるような工夫がなされている。 ○まとめと振り返りの活動において、思考ツールを活用して考えを深めたり、説明するなどの表現活動に取り組んだりすることができるような課題が設定されている。 ○学習のまとめと表現の項目を設け、SDGs（持続可能な開発目標）と関連させることにより、多面的多角的に単元を振り返ることができるよう、配慮されている。 ○世界の諸地域の単元の始めに「学習する世界的課題」を提示し、思考を膨らませながら学習に取り組めるよう工夫されている。 ○資料が精選されており、考察しやすいよう配慮されている。 ○地域の踏査事例では愛知県名古屋市を取り上げている。まとめ方として、主題図やグラフなどで表してまとめる方法が例示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特設ページの「アクティブ地理」というテーマ学習についての課題設定があり、単元末の課題や発展的な課題に生かせるような工夫がなされている。 ○「確認しよう」や「説明しよう」に示された課題を通して、言語活動を繰り返し行うことで思考・判断・表現力が育成できるような配慮がなされている。 ○まとめと振り返りの活動において、思考ツールを活用して考えを深めたり、説明するなどの表現活動に取り組んだりすることができるような課題が設定されている。 ○「学習を振り返ろう」では、「単元を貫く問」に対して思考・判断・表現する課題が設定されており、自分の考えが整理・構造化できるよう配慮されている。 ○日本の諸地域の単元末にSDGs（持続可能な開発目標）と絡めた課題設定をすることで学習の深化を図っている。 ○項目ごとに単元の間が明記されており、単元のつながりが意識できるよう配慮されている。 ○世界の諸地域では「衣食住」について資料提供し、考えやすいように配慮されている。 ○豊富な資料から選択し活用する学習に繋がれるよう配慮している。 ○地域の踏査事例では東京都練馬区を取り上げている。まとめ方として、グラフや地図を用い、事実と事実から考えた解釈を説明する方法などのまとめ方が例示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「トライ」、「スキルUP」、資料活用コーナーなども含めて、毎時間、思考・判断・表現力の向上を図る場面を設定し、生徒が自分の言葉で表現できるような工夫がなされている。 ○「まとめと振り返り」では、単元を貫く問について自分の考えをまとめ、考察、構想したことを議論するなど、言語活動に関わる学習に繋がるよう配慮がなされている。 ○まとめと振り返りの活動において、思考ツールを活用して考えを深めたり、説明するなどの表現活動に取り組んだりすることができるような課題が設定されている。 ○単元ごとにSDGs（持続可能な開発目標）と関わった題材を提示し、発展的な内容を考えられるよう工夫されている。 ○二次元コードを用いて雨温図を比較し、原因や背景が考えやすいように工夫されている。 ○項目ごとに単元の間が明記されており、単元のつながりが意識できるよう配慮されている。 ○豊富な資料から選択し活用する学習に繋がれるよう配慮されている。 ○地域の踏査事例では京都府伏見区を取り上げている。まとめ方として、地域の特色を考察してまとめるために、地図やグラフに加工して整理する方法が示されている。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	社会科（地理）	種 類	4種	4 枚中 3 枚
--------	---------	-----	----	----------

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		2 東京書籍	17 教育出版	46 帝国書院	116 日本文教出版
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	<p>○デジタルコンテンツをからワークシートによる課題に取り組むことが可能となっている。知識の整理や、グループでの共有など、主体的・対話的な学習に結びつけやすい工夫がされている。デジタルコンテンツでは、動画が複数あり、教科書とタブレット端末を用いて学習できる工夫がされている。</p> <p>○「スキルアップ」や「みんなでチャレンジ」を設け、対話的に学習が進められる工夫がなされている。</p> <p>○まとめの活動では【主体的に学習に取り組む態度】を評価する課題や、探究課題に取り組める箇所がある。探究課題については、単元の最初に設定されていることが多く、学習の見通しを立てやすくする工夫がなされている。</p>	<p>○学びリンクという二次元コードがついているため、自身で情報を取得できる工夫がなされている。</p> <p>○各授業で「地理の技」や「地理の窓」、「確認」に取り組むことができ、主体的に学習に取り組む工夫がされている。</p> <p>○単元の最後に学習のまとめと表現があるので、その課題で【学びに向かう力】に取り組むことができる。</p> <p>○各単元に「見方・考え方ははたらかそう」という単元全体の学ぶ視点が示されており、それを手がかりに主体的・対話的に学ぶ学習課題を設定することができるよう工夫されている。</p> <p>○各ページにある「LOOK!」では、写真などについてさらに詳しく説明されており、生徒の興味・関心を引き出す工夫がなされている。</p>	<p>○二次元コードから、さまざまな資料や問題に触れることが可能で、オリジナルのスライドを作成することができるなど主体的に学ぶことができる工夫がなされている。</p> <p>○思考ツールアイコンを用いて、自らがシートを選択して知識を整理できるとともに、対話的な学習にも繋げやすい工夫がなされている。</p> <p>○章・節末に「アクティブ地理AL」が部分的に設置し、主体的・対話的な学習に取り組む工夫がされている。</p> <p>○章・節末に「学習を振り返ろう」が設置されており、思考ツールを活用しながら対話的に学ぶ工夫がされている。</p> <p>○見開きごとに、その節の問いがあるため、自ら課題に対して学習を進めやすくされている。</p> <p>○豊富な資料から、興味関心を高めたり、学習の見通しを立てたりすることができ、主体的な学びにつながるよう工夫されている。</p> <p>○【地図帳活用】などの工夫があるため、教科書外にも関心が向けやすく、主体的に学びやすく工夫されている。</p>	<p>・各ページに小テストやまとめに取り組むことができる二次元コードがついている。また、ポートフォリオを用いて、自らが振り返ることができるよう工夫されている。</p> <p>・単元の最後にまとめとふり返りがあり、【主体的に学習に取り組む態度】の評価が可能となっている。また、「議論してみよう」ではグループ等で課題に取り組めるような工夫がされている。</p> <p>・節や編ごとに単元を貫く問い、各ページに見方・考え方が示されており、それを手がかりに主体的・対話的に学ぶ学習課題を設定することができるよう工夫されている。</p>
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	○学習指導要領に示していない内容は取り扱っていない。	○学習指導要領に示していない内容は取り扱っていない。	○学習指導要領に示していない内容は取り扱っていない。	○学習指導要領に示していない内容は取り扱っていない。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	社会科（地理）	種類	4種	4 枚中	4 枚
--------	---------	----	----	------	-----

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		2 東京書籍	17 教育出版	46 帝国書院	116 日本文教出版
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(5) 他の教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○SDG s（持続可能な開発目標）に関連した内容、環境やエネルギー問題、国際理解、多文化共生などの社会課題や今日的な課題といった公民的分野の記述（コラム）、資料が掲載されている。 ○単元の初めに、小学校の社会科で学んだ語句が掲載されている。 ○中学校社会の各分野の単元との関連が記述されている箇所がある。 ○他教科の単元との関連が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○SDG s（持続可能な開発目標）に関連した内容、環境やエネルギー問題、国際理解、多文化共生などの社会課題や今日的な課題といった公民的分野の記述（コラム）、資料が掲載されている。 ○中学校社会の各分野の単元との関連が記述されている。 ○他教科の単元との関連が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○SDG s（持続可能な開発目標）に関連した内容、環境やエネルギー問題、国際理解、多文化共生などの社会課題や今日的な課題といった公民的分野の記述（コラム）、資料が掲載されている。 ○小学校社会の各分野の単元との関連が記述されている。 ○中学校社会の各分野の単元との関連が記述されている。 ○地図帳の活用方法が示されている。 ○他教科、総合（防災）の単元との関連が細かく示されている。 ○「防災」に関連する内容には、キーワードやアイコンで分かりやすく示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○SDG s（持続可能な開発目標）に関連した内容、環境やエネルギー問題、国際理解、多文化共生などの社会課題や今日的な課題といった公民的分野の記述（コラム）、資料が掲載されている。 ○小学校社会の単元（学年）との関連が、単元名と問いかけで記述されている。 ○中学校社会の各分野の単元との関連が記述されている。
3 使用上の便宜が工夫されていること	(1) 表記・表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○カラーユニバーサルデザインに対応し、文字もUDフォントを採用している。 ○資料の配置や背景色にも適切に配慮されている。 ○教科書には、多彩な二次元コンテンツが掲載されており、デジタル教科書も用意されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カラーユニバーサルデザインに対応し、文字もUDフォントを採用している。 ○資料の配置や背景色にも適切に配慮されている。 ○教科書には、多彩な二次元コンテンツが掲載されており、デジタル教科書も用意されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カラーユニバーサルデザインに対応し、文字もUDフォントを採用している。 ○地図やグラフなどは、色以外の情報でも識別できるよう配慮している。 ○資料の配置や背景色にも適切に配慮されている。 ○教科書には、多彩な二次元コンテンツが掲載されており、デジタル教科書も用意されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カラーユニバーサルデザインに対応し、文字もUDフォントを採用している。 ○地図やグラフなどは、色以外の情報でも識別できるよう配慮している。 ○資料の配置や背景色にも適切に配慮されている。 ○教科書には、多彩な二次元コンテンツが掲載されており、デジタル教科書も用意されている。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	社会科（地図）	種類	2種	2 枚中 1 枚
--------	---------	----	----	----------

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		2 東京書籍	46 帝国書院		
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること	(1) 全体としての特徴や創意工夫	○社会科及び地理的分野の目標を達成するため、社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動ができる工夫がなされている。	○社会科及び地理的分野の目標を達成するため、社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動ができる工夫がなされている。		
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	○巻頭に地図記号を記載し、記号の確認や索引の使い方を示している。 ○巻頭に「この地図帳の活用方法」を記載し、一般図・主題図・学習を深めるための活用方法・デジタルコンテンツ・デジタル地図を紹介している。また、「Bee's eye」というキャラクターが3つの視点から問いや疑問を投げかけることによって学びを助けたり深めたりできる工夫がされている。 ○持続可能な社会をつくっていくためにSDGsのアイコンやコーナーが設けられている。	○巻頭に地図帳の凡例を記載し、都市・境界・自然・交通・産業・領土・世界遺産・環境・文化・歴史・その他という分類の確認を示している。 ○巻頭に「この地図帳の使い方」を記載し、小学校での既習事項の確認・地図の種類・見方使い方の確認などを示している。 ○読み解くポイントやテーマを示し、関連するできごとを読み取るための手掛かりを設けている。 ○持続可能な社会をつくっていくためにSDGsのアイコンやコーナーが多数設けられている。		
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	○地理的分野の探究課題に沿って学習する際に活用できる資料が掲載されている。 ○地図を深く読み取るためのヒントとなる問（「Bee's eye」）を通して、資料をもとに調べたり考えたりすることができるよう配慮している。 ○デジタル地球儀や世界の気候景観等を用いて具体物を介すことで、考えを深められるよう工夫されている。	○「地図で発見！」という問を通して、資料を活用しながら思考・判断・表現力が育成されるような工夫がなされている。 ○資料提供のページからは「主題学習」を通して、資料を使うだけでなく、背景や違いを説明する力が定着するような工夫がなされている。 ○豊富な写真資料を用いることで持続可能な社会等について考察できるような工夫されている。		
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	○キャラクターの吹き出しで、資料のポイントや考察の視点を示し、地図から読み取る情報の要点がわかりやすく示されている。	○「地図で発見」を随所に設け、生徒が自主的に地図を活用して学習に向かうことができるように工夫がなされている。 ○随所に二次元コードが表示されており、インターネット等を使って生徒が興味・関心を持って学習できるような工夫がなされている。		

教科用図書調査報告書

教科・種目名	社会科（地図）	種 類	2種	2 枚中 2 枚
--------	---------	-----	----	----------

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		2 東京書籍	46 帝国書院		
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	○学習指導要領に示していない内容は取り扱っていない。	○学習指導要領に示していない内容は取り扱っていない。		
	(5) 他の教科等との関連	○世界や日本の地図中に、歴史に関する場所や遺跡が色付きで掲載されている。 ○地域の歴史的な変化を比較できるような工夫がなされている。 ○SDG s（持続可能な開発目標）に関連した内容、国際理解、多文化共生などの資料が掲載されている。	○世界や日本の地図中に、歴史に関する場所や遺跡が色付きで掲載されている。索引中の歴史にかかわる場所や遺跡にも印がつけられている。 ○地域の歴史的な変化を比較できるような工夫がなされている。 ○歴史や公民にかかわる資料、SDG s や防災にかかわる項目には印がつけられている。 ○SDG s（持続可能な開発目標）に関連した内容、国際理解、多文化共生などの資料が掲載されている。		
3 使用上の便宜が工夫されていること	(1) 表記・表現の工夫	○カラーユニバーサルデザインに対応し、文字もUDフォントを採用している。 ○資料の配置や背景色にも適切に配慮されている。 ○教科書には、二次元コード等により多彩なコンテンツが掲載されており、デジタル教科書も発行される予定である。	○カラーユニバーサルデザインに対応し、文字もUDフォントを採用している。 ○資料の配置や背景色にも適切に配慮されている。 ○教科書には、二次元コード等により多彩なコンテンツが掲載されており、デジタル教科書も発行される予定である。		

教科用図書調査報告書

教科・種目名	社会（歴史）	種 類	9種	6 枚中 1 枚
--------	--------	-----	----	----------

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		2 東京書籍	17 教育出版	46 帝国書院	81 山川出版社
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること	(1) 全体としての特徴や創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○教科及び歴史的分野の目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を取り上げ、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、時代を大観させながら理解させる工夫をしている。 ○各章ごとに「探究課題」と称した単元を貫く問いを設定し、各節のステップと相まって、何をどのように学べば良いかがわかりやすく書かれている。 ○二次元コードから Web コンテンツにアクセスできるようになっており、その内容について二次元コードに簡単な説明を付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科及び歴史的分野の目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を取り上げ、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させる工夫をしている。 ○単元を貫く問いを設定し、各節、各小単元に問いもしくは学習課題を設定し、単元で何を学べば良いかが明確に示されている。 ○歴史的な見方・考え方の説明が詳しい。基礎・基本の確実な定着と自ら考察できる構成で、主体的に学習に取り組みやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科及び歴史的分野の目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を取り上げ、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させる工夫をしている。 ○全体的なバランスがよく、単元を貫く問いとしての節ごとの問い、「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」が小項目ごとに配置され、学習者に意識させるように配慮されている。 ○Web コンテンツが充実している。 ○「タイムトラベル」で各時代をイメージしやすいような工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科及び歴史的分野の目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を取り上げ、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させる工夫をしている。 ○高等学校の学習につなげやすい構成になっている。各タイトルには導入における発問、各資料を活用した問い、そしてステップアップ課題が設定され、常に項目について考えさせるよう配慮されている。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○スキルアップと称した、歴史学習に欠かせない基礎的・基本的な知識及び技能の習得ができるコーナーがある。 ○各項目に学習課題が設定されており、チェック内容とトライ内容とが連動して、学習者に何を学ばせるのかが明確である。細かな学習課題も織り交ぜられている。また各項目タイトルには時代の内容を表した短文が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料や写真が豊富であり、視覚的に基礎的・基本的な知識及び技能の習得がしやすい工夫がなされている。 ○歴史学習の導入で、歴史の流れのまとめ方、時代区分などを説明するとともに、小学校での既習事項について詳しく触れられている。 ○学習課題から確認に至るまで、何をどのように学習すれば良いか整理されている。 ○章末にまとめのコーナーがあり、基礎基本を押さえられるようになっている。 ○学習のまとめと表現では歴史が苦手な生徒に配慮された丁寧な作りとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各章のはじめに「学習する時代の見通し」を持たせ、章末で見通しを振り返らせることで、生徒が何をどのように学べば良いかわかるような配慮が施されている。 ○小単元ごとの「確認しよう」は本文をそのまま活用できる課題であり、歴史が苦手な生徒に配慮している。 ○章末の学習事項の確認で、用語の確認・整理ができる。 ○歴史学習の導入で、歴史の流れのまとめ方、時代区分、年代の表し方を説明している。 ○カラー資料も豊富で、学習者が学習内容を理解しやすいように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○比較的本文の分量が多めであるため、豊富な文字情報から、より具体的で深い知識の習得を図ることができる。 ○各時代の世界を大観させる地図を用いて、日本を含めた世界全体の歴史を意識させようとしている。 ○歴史学習の導入で、時代区分の方法を、小学校での既習人物を例にまとめている。 ○単元末では記述式でまとめる問いを設定している。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○各章の始まりに探究課題、各節に探究のステップが設定されており、それに対して課題解決のための各問いが設けられているため、学習者が課題解決の道筋をつかみやすくなっている。 ○章末には各節の振り返りとともに、「深めよう」のコーナーで自分の言葉で章の学習内容を表現することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題が小単元ごとに設定されたり、表現の課題設定がされていたりするので、学習者が自分の言葉で学習内容を表現できるように配慮されている。 ○章末に時代を大観する年表や地図を示すとともに、ワークシートによって自分の言葉で章を振り返られるようになっている。 ○資料から当時の様子をつかめるよう、工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「タイムトラベル」で時代ごとの一場面をイラストで提示しており、これを各単元の導入として活用することで、その時代の様子を大観させるとともに、生徒が自由な発想で歴史について考えられるよう工夫がされている。 ○章末の「章の振り返り」で章を貫く問いに対する自分の考えをまとめさせている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各章の始まりに、学習内容のイントロダクションが記されており、章の大まかな内容をつかむことができ、それに基づいて各項目の問い、そして章末のまとめにつなげ、自分の言葉で章の内容を振り返ることができる。 ○時折挿入されている各世紀の世界のコーナーでは、日本を世界のうちの1つの国であることを学ばせようとしている。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	社会（歴史）	種類	9種	6 枚中 2 枚
--------	--------	----	----	----------

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		2 東京書籍	17 教育出版	46 帝国書院	81 山川出版社
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○单元ごとに設定されている学習課題に対して、提示されている資料や問いを活用することで、課題に迫れるようになっている。 ○特設ページ（もっと知りたい、資料から発見など）を活用することで、さらに深い学びを行うことができるように工夫されている。 ○二次元コードを読み取ってデジタルコンテンツにもアクセスできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「歴史を探ろう」のコーナーで歴史的事象をさらに掘り下げた記述がされており、興味や関心に応じて深い学びができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特設ページやコラムが充実しており、自らテーマに沿って学びを進める工夫がされている。 ○随所に掲載されている二次元コードを読み取ることで、学習内容に関連したホームページにアクセスできるようになっている。 ○章の導入で視覚的なアプローチを用いて興味関心を持たせる工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ときおり挿入されているコラム（「地域からのアプローチ」「歴史へのアプローチ」「歴史を考えよう」）では、多角的に歴史を考察するための内容が記されており、学習者がより深く歴史を学べるよう工夫されている。内容についても、他社では扱わない人物や資料を積極的に扱っている。高等学校の内容を先取りしたものとなっている。
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	○学習指導要領に示していない内容については取り扱っていない。	○学習指導要領に示していない内容については取り扱っていない。	○学習指導要領に示していない内容については取り扱っていない。	○学習指導要領に示していない内容については取り扱っていない。
	(5) 他の教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○特設ページが三分野で共通して掲載されており、関連された学習が展開できるように工夫されている。 ○章の始めのコーナーには必ず小学校の社会で習った言葉を明記している。 ○地理との関連付けも見られる。人権について関連する内容に配慮しながら、多角的に記述している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特設ページの脚注部に、地理、公民との関連を示す「関連マーク」を付けて、学習の連携や振り返りを図る工夫がなされている。 ○巻末の歴史学習の終わりでは、現代社会の課題と自分自身の関わりを考察する学習課題が設定され、公民的分野への橋渡しが図られるよう構成されている。 ○小学校の既習内容との関連付けが丁寧なされている。 ○人権の視点について、関連する内容を丁寧に取り扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料には小学校、もしくは地理や公民の学習内容と関連づけた資料であることを明示している。 ○「環境・エネルギー」や「人権・多文化」などのコラムを充実させている。 ○章及び節単位に地図を配置し、地政学的に考察しやすくなっている。 ○人権については関連する内容を積極的に取り扱うことで、多角的に記述している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○アプローチの項目では歴史を多角的に捉えている。文化的な項目が充実している。 ○掲載されている資料には、吹き出しが設けられ、問いが設定されており、その問いは現代社会につながるような問いとなっていて、並行学習の地理的分野と、公民的分野を意識した学習展開が期待できる。 ○人権の視点について関連する内容をわかりやすく取り扱っている。
3 使用上の便宜が工夫されていること	(1) 表記・表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○カラーユニバーサルデザインに対応し、ユニバーサルデザイン・フォントを採用している。どの内容も見開き2ページで構成されている。 ○項目を象徴する短文で学習者の興味関心を誘っている。文献資料については、写真とともに文字化した資料を併記して、より資料について学びやすいよう工夫している。 ○余白を適切に入れることで見やすい工夫がされている。 ○資料に国宝や世界遺産の表記がされている。 ○デジタル教材は、15種類の内容で382のコンテンツ、各ページの見開き導入部の定位置に配置し、二次元コードでつながるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カラーユニバーサルデザインに対応し、ユニバーサルデザイン・フォントを採用している。 ○資料や地図が豊富で、視覚的に学習できるように工夫されている。資料によっては、重要な部分を拡大するなどしてわかりやすく表現している。 ○デジタル教材は3種類の内容で58のコンテンツ、各章の導入部にリンク、資料やコラムに動画、章末のまとめにクイズを配置し、二次元コードでつながるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カラーユニバーサルデザインに対応し、ユニバーサルデザイン・フォントを採用している。 ○基本的に見開き2ページを1つの単位として構成されており、巻頭にもその趣旨が明記されている。 ○資料も豊富であり、視覚的に学習させようとしている。 ○細長い年表を配置し、どの時代を学習しているかがわかるようになっている。 ○各時代の生活がより正確につかめるように、模型の写真やイラストなどを積極的に活用して学習者がイメージしやすいように工夫している。 ○デジタル教材は11種類の内容で391のコンテンツ、各章の導入部、各章のまとめ、各節の導入部など随所に配置し、二次元コードでつながるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カラーユニバーサルデザインに対応し、ユニバーサルデザイン・フォントを採用している。 ○文章表記が中心で、より深く学びたい学習者にとって、効果的な内容となっている。 ○資料が適切に配置され、活用しやすいよう工夫されている。 ○具体的な資料からの学びは、別途掲載されているコラムを活用してさらに深い学びを行えるよう工夫している。 ○文献資料については、ところどころ原文が併記されており、原文に触れる機会を設けている。デジタル教材は35コンテンツ、「くわしく見てみよう」「聴いてみよう」「読んでみよう」など資料を活用して学習を深めるコンテンツを配置し、二次元コードでつながるようにしている。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	社会（歴史）	種 類	9種	6 枚中 3 枚
--------	--------	-----	----	----------

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		116 日本文教出版	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること	(1) 全体としての特徴や創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○教科及び歴史的分野の目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を取り上げ、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させる工夫をしている。 ○章（編）のはじめにどのような学習を行うのか、考えさせてから単元を貫く問いを設定している。 ○各項目に設定されている学習課題に対して歴史的な見方・考え方が明記されているので、より課題に迫りやすくなっている。 ○思考ツールを用いて自らの学びを調整する工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科及び歴史的分野の目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を取り上げ、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させる工夫をしている。 ○年表を小單元ごとに配置し、学習内容と関連付けた表記となっている。 ○振り返りの構成がしっかりしており、調べ学習、復習問題、時代の象徴を考えるページ、対話とまとめ図など主体的に学習へ向かう工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科及び歴史的分野の目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を取り上げ、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させる工夫をしている。 ○単元を貫く問いを設定するとともに、小單元ごとに学習課題を設定して、学習者が何をどのように学習すべきか示されている。 ○巻頭でも学び方について丁寧に解説されている。 ○歴史絵巻を用いることで、時代の流れを大観できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科及び歴史的分野の目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を取り上げ、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させる工夫をしている。 ○各時代に生きている人間がどのように歴史を歩んできたかに重点を置いた教科用図書である。 ○各単元のタイトルの工夫や取り扱う人物の豊富さなど、主体的に学習に向かう構成がしっかりしている。 ○まとめでは自分の言葉で時代の特色を表現することにより、時代を大観できる工夫がある。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○単元を貫く問いに迫るための学習課題をどのような視点で考えていくのか、「時系列」「推移」「比較」「つながり」の4つの視点が示されている。 ○「確認」のコーナーで重要な語句について整理できる。見開きの右ページに年表が掲載されており、学習内容の時代が全体のどのあたりなのかがわかるようになっている。 ○単元末で年表、マトリクスでまとめる方法を示している 	<ul style="list-style-type: none"> ○小單元ごとに学習課題が設定されている。 ○古代の様子については、イラストなどを多用して、当時の生活がよりイメージできるようにしている。 ○復習のページが設けられており、基本的な学習内容の整理ができるようになっている。 ○「時代の特徴を考える」のコーナーでは、手本が掲載されているので、何をどのように書けば良いかわからない学習者に配慮されている。 ○単元末では導入を振り返って関連付け、年表や図でまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単元を貫く問いが常に小單元に表記されている。 ○資料や写真が豊富で、学習者が歴史の流れと時代の移り変わりを視覚的に学べるように工夫されている。 ○年表が配置されており、学習している内容が歴史の流れの中のどのあたりなのかを意識できるようになっている。 ○各節の課題や掲載されている資料についての解説が詳細に記述されている。単元末で年表、地図、資料を用いてまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○見開き2ページで構成されている。 ○章の始めに単元を貫く問いが設定され、章末にはそれに基づく振り返りのコーナーが設定されている。 ○各小單元に学習課題が設定されている。 ○基礎的・基本的な知識、技能の習得のため、我が国の歴史に関わる世界の出来事を適切に取り扱っている。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○各項目に学習課題が設定されており、どのような視点で学習を進めれば良いか明示されている。 ○各項目に表現のコーナーが設けられている。章末にはまとめと振り返りのコーナーがあり、「知識」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点に沿ったまとめをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○章末の時代の特徴を考えるコーナーでは、時代ごとの特色を捉えるための表にまとめ、自分の言葉で時代ごとの特色をまとめる活動を通して、思考力・表現力・判断力の育成を図っている。 ○手本が掲載されているので、何をどのように書けば良いかわからない学習者に配慮されている。 ○調べ学習のページにおいても同様の配慮がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○探究の課題で、自分の言葉で小単元の学習内容を説明できるようになっている。 ○章末の学習のまとめで、歴史上の変化や比較について考えさせる構成となっている。 ○生徒の興味・関心を高めるために、各所に「歴史ビュー」が配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○章末の振り返りのコーナーでは、話し合いの課題や自分の言葉で説明する課題が設定されている。 ○資料や写真も豊富で、各時代の様子がより具体的に理解できるようになっている。 ○各単元の学習のまとめでは、資料や図表を活用して各時代の特色や転機について捉えさせ、グループで課題に取り組み、最後に自分でまとめる活動を設定し、思考力・判断力・表現力の育成を図ろうとしている。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	社会（歴史）	種類	9種	6 枚中 4 枚
--------	--------	----	----	----------

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		116 日本文教出版	225 自由社	227 育鵬社	229 学び舎
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○「歴史を掘り下げる」のコラムにより深く学びを進めるための資料が提供されている。 ○章末のまとめと振り返りのコーナーでは単なるまとめにとどまらず、学習者の創意工夫をこらして仕上げるような課題が提示されている。 ○登場人物の設定により対話型学習の内容を作り出している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「もっと知りたい」のコラムで、学習者がより深く学べるよう工夫がされており、特に日本についてより深く学べる工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史ズームインでは歴史をより深く学べるように工夫がされており、より日本人について考えるような教材となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料から学習者が当時の人々の生活をイメージしやすいように工夫がされている。 ○地図が適切に配置されている。 ○小單元ごとにコラムが掲載されており、学習者がより深い学びをできるようにしている。
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	○学習指導要領に示していない内容については取り扱っていない。	○学習指導要領に示していない内容については取り扱っていない。	○学習指導要領に示していない内容については取り扱っていない。	○学習指導要領に示していない内容については取り扱っていない。
	(5) 他の教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○随所に小学校の既習事項、地理や公民の関連性が明記されている。 ○本文ページの脚注の連携コーナーにおいて、地理・公民の学習に関わる事項を確認・活用できるようにしている。 ○地図を多用する中で、空間的な見方から史実を的確に捉える能力を育成しようとしている。 ○人権について関連内容の歴史的背景を元に多角的に記述している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地図・年表・写真・グラフ・図版など歴史に関わる様々な情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身につけさせるなど、地理・公民学習につながる工夫がなされている。 ○歴史学習の終わりに「学習のまとめ」のページがあり、現代の課題に結びつける工夫がある。 ○小学校で学んだ人物名を通して、既習内容を復習できるようになっている。 ○人権について関連する内容を積極的に取り扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○豊富な地図・資料・グラフが配置され、地理的分野・公民的分野と関連させる内容が多数ある。 ○本編内の113のテーマには、生徒自身の疑問や問いにつながる工夫がなされている。 ○生徒が主体的に学ぶために、あえて太字による記載がない工夫がなされている。 ○人権については、特徴的な内容を積極的に取り扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地図や資料、グラフが豊富に配置されており、地理的分野・公民的分野と関連させる内容が多数ある。 ○歴史学習の終わりに「歴史を学んで」のページがあり、現代社会の課題に結びつける工夫がある。
3 使用上の便宜が工夫されていること	(1) 表記・表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○カラーユニバーサルデザインに対応し、ユニバーサルデザイン・フォントを採用している。 ○各編（時代区分）に色分けがされており、各時代区分のまとまりがわかりやすく構成されている。 ○見開きの右ページに細長い年表を配置し、学んでいる時代が長い歴史の中のどのあたりに位置しているかが明示されている。 ○地図や資料が豊富で、視覚的に学習できる工夫がされている。 ○表現の項目が毎時間設定されているので、常に自分の言葉で振り返りを行うことができる。 ○デジタル教材は12種類の内容で437コンテンツ、各編や節の導入部やまとめに動画や章テストを配置し、二次元コードでつながるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カラーユニバーサルデザインに対応し、ユニバーサルデザイン・フォントを採用している。 ○資料や地図は比較的豊富である。 ○当時の生活について、学習者がよりイメージしやすいように工夫されている。 ○教科書上の二次元コードでつながるようなデジタル教材は配置していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カラーユニバーサルデザインに対応し、ユニバーサルデザイン・フォントを採用している。 ○資料や地図が豊富である。 ○資料によっては、製造方法などがイラストで説明されているので、学習者がイメージしやすい。 ○学習内容に関連する動画の閲覧や歴史、文化に関連する諸機関・団体のコンテンツからの情報収集ができるよう、各章の導入部に二次元コードを配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カラーユニバーサルデザインに対応し、学年に応じた漢字表記や表現の工夫をしている。 ○人々の歴史を重視している。 ○イラストなどを多用して、より具体的に人々の生活をイメージしやすいように配慮されている。 ○第4章の振り返りと第8章の振り返り学習で、インターネットでの調べ学習について記載している。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	社会（歴史）	種 類	9種	6 枚中 5 枚
--------	--------	-----	----	----------

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		236 令和書籍			
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること	(1) 全体としての特徴や創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○教科及び歴史的分野の目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を取り上げ、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させる工夫をしている。 ○日本古来の文化、「古事記」「日本書紀」、歴代天皇についての記述が充実している。 ○巻末資料として文化資料を数多く掲載することで、生徒が興味・関心を持ちやすくしている。 ○縦書きで構成されており、政権担当者・出来事対照表など読み物教材としても興味関心を持ちやすくなっている。 			
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史学習の導入で、歴史の学び方や考え方を、本書の記述の意図を交えながら丁寧に記述している。 ○小学校での既習事項、年代や時代の表し方、グループでの調べ学習などについても説明している。 ○重要語句が強調されているので、内容が整理しやすい。 ○歴史についての詳細な内容を学習できるよう配慮されている。 ○近現代史についてはより丁寧に、紙幅を十二分に使って記述している。 			
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○各項目の初めに「課題」が、その終わりに「考えよう」があり、常に生徒に思考をさせようとの意図がある。 ○随所に文献資料を差し込んであり、資料に基づいた、科学的な思考を模索させようとしており、これらにより、思考力・判断力・表現力などの育成を図ろうとしている。 			
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○資料から学習者が当時の人々の生活をイメージしやすいように工夫されている。 ○地図も適切に配置されている。小单元ごとにコラムが掲載されており、学習者がより深い学びをできるようになっている。 			

教科用図書調査報告書

教科・種目名	社会（歴史）	種類	9種	6 枚中 6 枚
--------	--------	----	----	----------

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		236 令和書籍			
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	○学習指導要領に示していない内容については取り扱っていない。			
	(5) 他の教科等との関連	○地図や資料、グラフが豊富に配置されており、地理的分野・公民的分野と関連させる内容が多数ある。 ○歴史学習の終わりに「歴史を学んで」のページがあり、現代社会の課題に結びつける工夫がある。			
3 使用上の便宜が工夫されていること	(1) 表記・表現の工夫	○「カラーユニバーサルデザインに対応し、学年に応じた漢字表記や表現の工夫をしている。人々の歴史を重視している。 ○イラストなどを多用して、より具体的に人々の生活をイメージしやすいように配慮されている。 ○第4章の振り返りと第8章の振り返り学習で、インターネットでの調べ学習について記載している。			

教科用図書調査報告書

教科・種目名	社会（公民）	種類	6種	4 枚中	1 枚
--------	--------	----	----	------	-----

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		2 東京書籍	17 教育出版	46 帝国書院	116 日本文教出版
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること	(1) 全体としての特徴や創意工夫	○教科及び公民的分野の目標に従い、内容を示す事項を示している。 ○単元の導入で題材とする絵がある。 ○個人やグループで活動できる課題が設定されている。 ○毎回のまとめがトライとして用意され、思考を深める工夫がされている。 ○二次元コードでより詳細に学習することができる。	○教科及び公民的分野の目標に従い、を示している。 ○各章の学習前に学習の見通しが記載されたページがある。 ○毎回のまとめに学習内容を振り返るためのツールが準備されている。 ○見方・考え方が毎時間記載されている。 ○二次元コードでより詳細に学習することができる。	○教科及び公民的分野の目標に従い、項を示している。 ○単元の導入で簡潔な記述と絵がある。 ○各回の学習課題と各節の問いが見開きごとにある。 ○写真やイラストを使い、見方・考え方を問う資料がある。 ○二次元コードでより詳細に学習できる工夫がある。	○教科及び公民的分野の目標に従い、項を示している。 ○導入のマンガで生徒の興味を引く工夫がある。 ○各回の学習課題とそれに対する見方・考え方が記載されている。 ○単元のまとめとして学習内容を振り返るツールがある。 ○二次元コードでより詳細に学習できる工夫がある。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	○イラストや写真、図版等を効果的に活用できている。 ○各章の冒頭に「導入の活動」、章末に「まとめの活動」を設定し、単元を通じた知識及び技能の習得を図る工夫がされている。	○イラストや写真、図版等を効果的に活用できている。 ○各章の冒頭に「学習のはじめに」、章末に「学習のまとめと表現」を設定し、単元を通じた知識及び技能の習得を図る工夫がされている。	○イラストや写真、図版等を効果的に活用できている。 ○各章の冒頭に「学習の前に」、章末に「学習を振り返ろう」を設定し、単元を通じた知識及び技能の習得を図る工夫がされている。	○イラストや写真、図版等を効果的に活用できている。 ○各章の冒頭に「学習の始めに」、章末に「学習の整理と活用」を設定し、単元を通じた知識及び技能の習得を図る工夫がされている。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	○各章・節ごとに学習課題が設定されている。 ○各見開きごとの問いに対応した学習課題が設定されている。 ○章末では、図や思考ツールを用いて思考・判断・表現の課題が設定されている。	○各章・節ごとに学習課題が設定されている。 ○各見開きごとの問いに対応した学習課題が設定されている。 ○資料などを用いて見方・考え方を問う課題が設定されている。 ○章末では、図や思考ツールを用いて思考・判断・表現の課題が設定されている。	○各章・節ごとに学習課題が設定されている。各見開きごとの問いに対応した学習課題が設定されている。 ○資料などを用いて見方・考え方を問う課題が設定されている。 ○章末では、図や思考ツールを用いて思考・判断・表現の課題が設定されている。	○各章・節ごとに学習課題が設定されている。 ○各見開きごとの問いに対応した学習課題が設定されている。 ○章末では、図や思考ツールを用いて思考・判断・表現の課題が設定されている。
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	○生徒が主体的に学習できるように毎時間「学習課題」で示し、「みんなでチャレンジ」や「スキルアップ」のコーナーで活動場面を設けるなど、自ら課題を発見し、解決する能力を養うことができるよう工夫している。 ○1時間ごとには、授業の内容がわかる一言があり、その文章で生徒が本時の課題を考えることができるように工夫されている。 ○「もっと知りたい」によってより深い学習も期待できる。 ○各編の導入において、「導入の活動」を、章の最後に「まとめの活動」を設け、随所に「思考ツール」や「探求のステップ」で学習の段階を理解できるようにし、単元を貫く学習を行いやすくするよう、興味関心を高める工夫をしている。	○生徒が主体的に学習できるように毎時間「学習課題」で示し、「公民の技」のコーナーで活動場面を設けるなど、自ら課題を発見し、解決する能力を養うことができるよう工夫している。 ○「LOOK！」や「THINK！」と書かれた資料解説や課題提示がされており、生徒が主体的に学習に取り組める工夫がされている。 ○各編の導入において、「学習のはじめに」というコラムを設け、SDGsとの関連を図れるようにするなど、学習の手助けとなり、興味関心を高めるよう工夫をしている。	○生徒が主体的に学習できるように毎時間「学習課題」で示し、「アクティブ公民」のコーナーで活動場面を設けるなど、自ら課題を発見し、解決する能力を養うことができるよう工夫している。「公民プラス」や「未来に向けて」のコラムも多くあり、生徒の興味を惹く工夫がなされている。 ○最後の単元が「課題探求学習」となっており、自分でテーマを決め、課題について調べ、3年間のまとめ活動が行えるようになっている。 ○各章末には、「課題探求への準備」があり、単元をまとめるだけでなく、課題探求学習に向けてのテーマを考えることができるように工夫されている。	○生徒が主体的に学習できるように毎時間「学習課題」で示し、「アクティビティ」のコーナーで活動場面を設けるなど、自ら課題を発見し、解決する能力を養うことができるよう工夫している。 ○「明日に向かって」というコラムや「情報スキルアップ」「公民+α」などで今日の社会の課題について考える工夫がされている。 ○各章の導入において、「マンガ」を用い、章の最後に「チャレンジ公民」を設け、随所にシンキングツールでわかりやすく解説するなど、単元を貫く学習の手助けを行い、興味関心を高めるよう工夫している。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	社会（公民）	種 類	6 種	4 枚中	2 枚
--------	--------	-----	-----	------	-----

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		2 東京書籍	17 教育出版	46 帝国書院	116 日本文教出版
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	○学習指導要領に示していない内容は取り扱っていない。	○学習指導要領に示していない内容は取り扱っていない。	○学習指導要領に示していない内容は取り扱っていない。	○学習指導要領に示していない内容は取り扱っていない。
	(5) 他の教科等との関連	○人権・平和・防災などの他分野、技術などの他教科に関連する資料が掲載されており、教科横断的な学習ができるように工夫されている。 ○SDGsに関連する情報も併せて掲載されている。課題を解決したり、追求したりする活動が扱われている。	○小学校での既習事項や他分野、他教科に関連する資料が掲載され、SDGsに関連する情報も併せて掲載されているので、系統的・横断的な学習ができるように工夫されている。 ○課題を解決したり、追及したりする活動が扱われている。	○小学校・地理・歴史・他教科との関連事項が適宜掲載されており、SDGsに関連する情報も併せて掲載されているので、系統的・横断的な学習ができるように工夫されている。 ○課題を解決したり、追及したりする活動が扱われている。	○小学校での既習事項やSDGsに関連する情報も併せて掲載されており、系統的な学習ができるように工夫されている。 ○進路学習（「職業について調べてみよう」）に関連付けて、課題を解決したり、追及したりする活動が扱われている。
3 使用上の便宜が工夫されていること	(1) 表記・表現の工夫	○AB判。カラーUD、UDフォントの使用により、視覚的な配慮や工夫がある。 ○webワークシートやチェック&トライなどの二次元コード、イラスト、写真、図版などの工夫が見られる。	○AB判。カラーUD、UDフォントの使用により、視覚的な配慮や工夫がある。 ○「まなびリンク」という二次元コード、イラスト、写真、図版、語句クイズなどの工夫が見られる。	○AB判。カラーUD、UDフォントの使用により、視覚的な配慮や工夫がある。 ○ワークシートなどの二次元コード、アクティブ公民、イラスト、写真、図版などの工夫が見られる。	○AB判。カラーUD、UDフォントの使用により、視覚的な配慮や工夫がある。 ○小テストや動画などの二次元コード、まとめ用のポートフォリオ、イラスト、写真、図版などの工夫が見られる。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	社会（公民）	種 類	6 種	4 枚中	3 枚
--------	--------	-----	-----	------	-----

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		225 自由社	227 育鵬社		
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること	(1) 全体としての特徴や創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○教科及び公民的分野の目標に従い、内容を示す事項を示している。 ○単元の導入として、学習内容についての問題提起がある。 ○各回の学習課題を解決するための重要語句が簡潔にまとめられている。 ○単元のまとめとして、学習内容を振り返るための工夫が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科及び公民的分野の目標に従い、内容を示す事項を示している。 ○単元の導入として、資料を通して考える課題がある。 ○各回の学習課題と各節の問いが見開きごとに記載されている。 ○単元のまとめとして学習した語句をまとめ、発展的な課題も設定している。 ○二次元コードでより詳細に学習することができる。 		
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○イラストや写真、図版等を効果的に活用できている。 ○各章の章末に「学習のまとめと発展」を設定し、単元を通じた知識及び技能の習得を図る工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○イラストや写真、図版等を効果的に活用できている。 ○各章の冒頭に「〇〇の入り口」、章末に「〇〇のこれから」を設定し、単元を通じた知識及び技能の習得を図る工夫がされている。 		
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○各見開きごとの問いに対応した学習課題が設定されている。 ○単元の最後に「ここがポイント」と示しており、授業でおさえるべきポイントがまとめられている。 ○章末では、思考・判断・表現の課題が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各章・節ごとに学習課題が設定されている。 ○各見開きごとの問いに対応した学習課題が設定されている。 ○資料活用や見方・考え方を問う問いが設定されている。 ○章末では、思考・判断・表現の課題が設定されている。 		
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が主体的に学習できるように、「やってみよう」や「アクティブに深めよう」で学習課題を設定している。 ○「もっと知りたい」というコーナーを設け、興味・関心を高める工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が主体的に学習できるように毎時間「学習課題」で示し、「学習を深めよう」のコーナーや「やってみよう」のコーナーで活動場面を設けるなど、自ら課題を発見し、解決する能力を養うことができるよう工夫している。 ○各編の導入において、「〇〇の入り口」「〇〇のこれから」というコラムを設けるなど、学習の手助けとなり、興味関心を高めるよう工夫している。 		

教科用図書調査報告書

教科・種目名	社会（公民）	種 類	6 種	4 枚中	4 枚
--------	--------	-----	-----	------	-----

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		225 自由社	227 育鵬社		
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	○学習指導要領に示していない内容は取り扱っていない。	○学習指導要領に示していない内容は取り扱っていない。		
	(5) 他の教科等との関連	○各章の中で、多くの人物を紹介し、歴史的分野の学習を振り返りながら学習できる。 ○巻末に「日本の伝統的工芸品」の資料があり、身近な地域との関連を意識させる工夫が見られる。	○探求課題が適宜掲載されており、課題を解決したり、追及したりする活動が扱われている。 ○小学校での既習事項や他分野に関連する資料が掲載されており、SDGsに関連する情報も併せて掲載されているので、系統的・横断的な学習ができるように工夫されている。		
3 使用上の便宜が工夫されていること	(1) 表記・表現の工夫	○AB判。カラーUD、UDフォントの使用により、視覚的な配慮や工夫がある。 ○解説が必要な用語について、各ページの注記や巻末索引に取り上げ便宜を図っている。	○AB判。カラーUD、UDフォントの使用により、視覚的な配慮や工夫がある。 ○学習に役立つウェブサイトの二次元コード、イラスト、写真、図版、などの工夫が見られる。		

教科用図書調査報告書

教科・種目名	数学	種類	7種	4 枚中	1 枚
--------	----	----	----	------	-----

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		2 東京書籍	4 大日本図書	11 学校図書	17 教育出版
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること	(1) 全体としての特徴や創意工夫	○二次元コードの活用による豊富なデジタルコンテンツが用意されている。 ○習熟度を選択しての演習問題が設定されている。 ○生徒の実状に応じて主体的に内容や学習の形態を選択できる。 ○自分の言葉で書く「ふり返しレポート」を章末に設定している。	○二次元コードの活用による豊富なデジタルコンテンツが用意されている。 ○習熟度を選択しての演習問題が設定されている。 ○生徒の実状に応じて主体的に内容や学習の形態を選択できる。 ○章末に数学の有効性に気付く質問「学びのふり返し」を設定している。	○二次元コードの活用による豊富なデジタルコンテンツが用意されている。 ○習熟度を選択しての演習問題が設定されている。 ○生徒の実状に応じて主体的に内容や学習の形態を選択できる。 ○章末に「できるようになったこと」「さらに学んでみたいこと」の振り返りを設定している。	○二次元コードの活用による豊富なデジタルコンテンツが用意されている。 ○習熟度を選択しての演習問題が設定されている。 ○生徒の実状に応じて主体的に内容や学習の形態を選択できる。 ○学びの振り返りができるよう、章末に「学習のまとめ」を設定している。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	○本文の問題では、必ず解けるようになりた問題についているマークや「クイックチェック」など、学習内容を細かな単位で確認でき、早期につまづきを解消できるようにしている。 ○項末、章末の問題に加えて、巻末に問題がある。また、二次元コードによる補充問題や理解を助けるコンテンツがある。	○本文の問題では、学習したことと同じように取り組む「たしかめ」や適用練習「Q」を補充する「プラス・ワン」など、学習内容を細かな単位で確認でき、早期につまづきを解消できるようにしている。 ○項末、章末の問題に加えて、巻末に問題がある。また、二次元コードによる補充問題や理解を助けるコンテンツがある。	○本文の問題では、例で考え方として理解したことを習得できるように適用問題や「やってみよう」など、学習内容を細かな単位で確認でき、早期につまづきを解消できるようにしている。 ○項末、章末の問題に加えて、巻末に問題がある。また、二次元コードによる補充問題や理解を助けるコンテンツがある。	○本文の問題では、例と問の間の類似した問題「たしかめ」や「補充問題」など、学習内容を細かな単位で確認でき、早期につまづきを解消できるようにしている。 ○項末、章末の問題に加えて、巻末に問題がある。また、二次元コードによる補充問題や理解を助けるコンテンツがある。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	○「深い学び」「大切にしたい見方・考え方」「もっと数学をつなげよう」などで、調べたり、考えたりできるようにしている。 ○「考えてみよう」「説明してみよう」などで、自分の考えを整理したり、他者と比較して考えたりできるよう工夫している。	○「活動」「学びにプラス」「MATHFUL」などで、調べたり、考えたりできるようにしている。 ○「考えよう」「伝えよう」などで、自分の考えを整理したり、他者と比較して考えたりできるよう工夫している。	○「数学的活動」「章のまとめの問題」「深めよう」などで、調べたり、考えたりできるようにしている。 ○「説明する力をつけよう」「表現する力をつけよう」などで、自分の考えを整理したり、他者と比較して考えたりできるよう工夫している。	○「学んだことを活用しよう」「実力アップ問題」「数学の広場」などで、調べたり、考えたりできるようにしている。 ○「みんなに説明しよう」などで、自分の考えを整理したり、他者と比較して考えたりできるよう工夫している。
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	○数学の学び方やノートの作り方・使い方について説明するページが設けている。 ○各章の導入を統一し、身近な題材を取り上げ、学習意欲を高める工夫をしている。 ○学習過程が可視化されており、見通しを持って問題が解決できるよう工夫している。	○数学の学び方やノートの作り方・使い方について説明するページが設けている。 ○各章の導入を統一し、身近な題材を取り上げ、学習意欲を高める工夫をしている。 ○学習過程が可視化されており、見通しを持って問題が解決できるよう工夫している。	○数学の学び方やノートの作り方・使い方について説明するページが設けている。 ○各章の導入を統一し、身近な題材を取り上げ、学習意欲を高める工夫をしている。 ○学習過程が可視化されており、見通しを持って問題が解決できるよう工夫している。	○数学の学び方やノートの作り方・使い方について説明するページが設けている。 ○各章の導入を統一し、身近な題材を取り上げ、学習意欲を高める工夫をしている。 ○学習過程が可視化されており、見通しを持って問題が解決できるよう工夫している。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	数学	種類	7種	4 枚中 2 枚
--------	----	----	----	----------

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		2 東京書籍	4 大日本図書	11 学校図書	17 教育出版
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	○「発展」マークで、当該学年の学習指導要領に示していない内容がわかるように工夫している。	○「発展」マークで、当該学年の学習指導要領に示していない内容がわかるように工夫している。	○「発展」マークで、当該学年の学習指導要領に示していない内容がわかるように工夫している。	○「発展」マークで、当該学年の学習指導要領に示していない内容がわかるように工夫している。
	(5) 他の教科等との関連	○「数学のまど」「数学の自由研究」などで、日常生活や他教科等と関連する問題を示している。	○「社会にリンク」「MATHFUL」などで、日常生活や他教科等と関連する問題を示している。	○「数学のいざない」「さらなる数学へ」などで、日常生活や他教科等と関連する問題を示している。	○「章のとびら」「数学の広場」などで、日常生活や他教科等と関連する問題を示している。
3 使用上の便宜が工夫されていること	(1) 表記・表現の工夫	○理解の助けや興味につながる図や写真が使われている。 ○読みやすい位置で改行している。 ○UD フォントが使われている。 ○デジタルコンテンツが二次元コードで示されている。	○理解の助けや興味につながる図や写真が使われている。 ○重要な句は途中で改行しないようにしている。 ○UD フォントが使われている。 ○デジタルコンテンツが二次元コードで示されている。	○理解の助けや興味につながる図や写真が使われている。 ○読みやすい位置で改行している。 ○UD フォントが使われている。 ○デジタルコンテンツが二次元コードで示されている。	○理解の助けや興味につながる図や写真が使われている。 ○読みやすい位置で改行している。 ○UD フォントが使われている。 ○デジタルコンテンツが二次元コードで示されている。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	数学	種類	7種	4 枚中	3 枚
--------	----	----	----	------	-----

採択基準	基本観点	発行者名 (番号・略号)			
		61 啓林館	104 数研出版	116 日本文教出版	
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること	(1) 全体としての特徴や創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○二次元コードの活用による豊富なデジタルコンテンツが用意されている。 ○習熟度を選択しての演習問題が設定されている。 ○生徒の実状に応じて主体的に内容や学習の形態を選択できる。 ○章末の「あしあとのページ」では、文章でまとめる振り返りを例文つきで設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○二次元コードの活用による豊富なデジタルコンテンツが用意されている。 ○習熟度を選択しての演習問題が設定されている。 ○生徒の実状に応じて主体的に内容や学習の形態を選択できる。 ○章はじめの「ふりかえり」で、その章の学びに関する既習事項を振り返れる設定をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○二次元コードの活用による豊富なデジタルコンテンツが用意されている。 ○習熟度を選択しての演習問題が設定されている。 ○生徒の実状に応じて主体的に内容や学習の形態を選択できる。 ○巻末に「振り返りシート」を別紙で設定している。 	
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○本文の問題では、学習内容がわかるタイトルがついている「例」や「例題」、「練習問題」など、学習内容を細かな単位で確認でき、早期につまづきを解消できるようにしている。 ○項末、章末の問題に加えて、巻末に問題がある。また、二次元コードによる補充問題や理解を助けるコンテンツがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本文の問題では、基本的な知識・技能の習得に向けて細かく設定された「例」や「問」、「確認問題」など、学習内容を細かな単位で確認でき、早期につまづきを解消できるようにしている。 ○項末、章末の問題に加えて、巻末に問題がある。また、二次元コードによる補充問題や理解を助けるコンテンツがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本文の問題では、細かなステップで展開している「例」や「基本の問題」など、学習内容を細かな単位で確認でき、早期につまづきを解消できるようにしている。 ○項末、章末の問題に加えて、巻末に問題がある。また、二次元コードによる補充問題や理解を助けるコンテンツがある。 	
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○「学びを身につけよう」「力をつけよう」「学びを生かそう」などで、調べたり、考えたりできるようにしている。 ○「説明しよう」「話し合おう」「まとめよう」などで、自分の考えを整理したり、他者と比較して考えたりできるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「見つけよう」「やってみよう」「学んだことを活用しよう」などで、調べたり、考えたりできるようにしている。 ○「考えよう」や対話形式による学習課題などで、自分の考えを整理したり、他者と比較して考えたりできるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「とりくんでみよう」「活用の問題」「数学研究室」などで、調べたり、考えたりできるようにしている。 ○「話し合おう」「説明できるかな?」などで、自分の考えを整理したり、他者と比較して考えたりできるよう工夫している。 	
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○数学の学び方やノートの手書き・使い方について説明するページが設けている。 ○各章の導入を統一し、身近な題材を取り上げ、学習意欲を高める工夫をしている。 ○学習過程が可視化されており、見通しを持って問題が解決できるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○数学の学び方やノートの手書き・使い方について説明するページが設けている。 ○各章の導入を統一し、身近な題材を取り上げ、学習意欲を高める工夫をしている。 ○学習過程が可視化されており、見通しを持って問題が解決できるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○数学の学び方やノートの手書き・使い方について説明するページが設けている。 ○各章の導入を統一し、身近な題材を取り上げ、学習意欲を高める工夫をしている。 ○学習過程が可視化されており、見通しを持って問題が解決できるよう工夫している。 	

教科用図書調査報告書

教科・種目名	数学	種類	7種	4 枚中	4 枚
--------	----	----	----	------	-----

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		61 啓林館	104 数研出版	116 日本文教出版	
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	○「発展」マークで、当該学年の学習指導要領に示していない内容がわかるように工夫している。	○「発展」マークで、当該学年の学習指導要領に示していない内容がわかるように工夫している。	○「発展」マークで、当該学年の学習指導要領に示していない内容がわかるように工夫している。	
	(5) 他の教科等との関連	○「学びをいかそう」「数学ライブラリー」などで、日常生活や他教科等と関連する問題を示している。	○「調べよう」「見つけよう」や「数学旅行」などで、日常生活や他教科等と関連する問題を示している。	○「数学のたんけん」「数学マイトライ」などで、日常生活や他教科等と関連する問題を示している。	
3 使用上の便宜が工夫されていること	(1) 表記・表現の工夫	○理解の助けや興味につながる図や写真が使われている。 ○読みやすい位置で改行している。 ○UD フォントが使われている。 ○デジタルコンテンツが二次元コードで示されている。 ○教科書の軽量化が図られている。	○理解の助けや興味につながる図や写真が使われている。 ○読みやすい位置で改行している。 ○UD フォントが使われている。 ○デジタルコンテンツが二次元コードで示されている。	○理解の助けや興味につながる図や写真が使われている。 ○読みやすい位置で改行している。 ○UD フォントが使われている。 ○デジタルコンテンツが二次元コードで示されている。	

教科用図書調査報告書

教科・種目名	理科	種類	5種	4 枚中	1 枚
--------	----	----	----	------	-----

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）				
		2 東京書籍	4 大日本図書	11 学校図書	17 教育出版	61 啓林館
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること	(1) 全体としての特徴や創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の領域の内容をバランスよく構成している。 ○実生活や実社会と関連付けた内容が充実しており、興味・関心を高める工夫をしている。 ○学習内容を通して、勤労観や職業観が育まれるよう十分配慮している。 ○二次元コードによって、実験や学習をサポートする動画やシミュレーションがあり、学習内容の定着の補助として活用できる。 ○各学年巻頭で、実際の紙面を例に共通する項目の配置や目印を説明し、巻末ほかで探究的な学びとの関連を詳細に解説している。 ○観察や実験等における安全面での内容の検討がされており、アイコン等を活用して安全や環境に対して配慮している。 ○ダイナミックな写真を使用し、科学的な興味関心を引き出す工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の領域の内容をバランスよく構成している。 ○実生活や実社会と関連付けた内容が多く充実しており、興味・関心を高める工夫をしている。 ○学習内容を通して、勤労観や職業観が育まれるよう配慮している。 ○二次元コードによって、実験や学習をサポートする動画が活用できる。 ○各学年巻頭で、実際の紙面を例に共通する項目の配置や目印を説明し、巻末ほかで探究的な学びとの関連を詳細に解説している。 ○観察や実験等における安全面での内容の検討がされており、文章を活用して安全や環境に対して配慮している。 ○鮮明な写真を使用し、科学的な興味関心を引き出す工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の領域の内容をバランスよく構成している。 ○実生活や実社会と関連付けた内容が充実しており、興味・関心を高める工夫をしている。 ○学習内容を通して、勤労観や職業観が育まれるよう配慮している。 ○全ての教科書紙面がウェブサイトにも再構成され「ミライ教科書」に、二次元コードからアクセスできる。 ○各学年巻頭で、実際の紙面を例に共通する項目の配置や目印を説明し、巻末ほかで探究的な学びとの関連を詳細に解説している。 ○観察や実験等における安全面での内容の検討がされており、文章を活用して安全や環境に対して配慮している。 ○写真は資料性が高く、鮮明なものが選択され、興味関心を高められるよう配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の領域の内容をバランスよく構成している。 ○実生活や実社会と関連付けた内容が充実しており、興味・関心を高める工夫をしている。 ○学習内容を通して、勤労観や職業観が育まれるよう配慮している。 ○二次元コードによって、実験や学習をサポートする動画やシミュレーションが多くあり、学習内容の定着の補助として活用できる。 ○各学年巻頭で、共通する項目の配置や目印を説明し、巻末ほかで探究的な学びとの関連を詳細に解説している。 ○観察や実験等における安全面での内容の検討がされており、アイコン等を活用して安全や環境に対して配慮している。 ○写真は資料性が高く、鮮明なものが選択され、興味関心を高められるよう配慮している。 ○本文記述とダイナミックな図や写真の両立が図られており、学習効果を高める工夫をしている。 	
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元の冒頭や随所に既習事項を示している。 ○実験・観察を説明する場面でそのポイントを簡潔に示し、巻末で基本的な実験操作をまとめて記載している。 ○章末に用語の確認があり、単元末に「学習内容の整理」と「確かめ問題」、「活用問題」を掲載している。 ○基礎・基本をスモールステップで習得できるように工夫している。教科書見開きが1時間の構成になっているので、見通しが立てやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元の冒頭や随所に既習事項を示している。 ○実験・観察を説明する場面でそのポイントを簡潔に示し、巻末で基本的な実験操作をまとめて記載している。 ○章末の「章末問題」で学習内容を振り返り、単元末に「まとめ」と「単元末問題」を掲載している。計算問題は、章の途中で例題を示している。 ○基礎・基本をスモールステップで習得できるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元の冒頭や随所に既習事項を示している。 ○単元の初めに必要な実験技能の目標を示し、巻末で基本的な実験操作をまとめて記載している。 ○単元末の「学習のまとめ」（用語を覚える、基本問題に慣れる）で学習内容を振り返ることができるようにしている。巻末に計算問題の例題、読解力強化問題、入試問題等を掲載している。 ○基礎・基本をスモールステップで習得できるように工夫している。すべてのページがウェブページになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元の冒頭や随所に既習事項を示している。 ○実験・観察を説明する場面でそのポイントを簡潔に示し、巻末で基礎技能の一覧を示している。 ○学習を小单元ごとの「要点をチェック」、単元末の「要点と重要用語の整理」「基本問題」「活用問題」、巻末の「学年末総合問題」の5段階のステップに分け、定着を図っている。 ○基礎・基本をスモールステップで習得できるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元の冒頭や随所に既習事項を示している。 ○実験・観察を説明する場面でそのポイントを簡潔に示し、特定の実験については使う技能について紹介している。 ○章末で用語や考え方を振り返り、単元末に「学習のまとめ」、「力だめし」を掲載しており、二次元コードによる繰り返し学習や動画問題も掲載している。 ○基礎・基本をスモールステップで習得できるように工夫している。教科書の構成が把握→追究→解決の順に作られることで基礎・基本を丁寧に習得できる。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	理科	種類	5種	4 枚中	2 枚
--------	----	----	----	------	-----

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）				
		2 東京書籍	4 大日本図書	11 学校図書	17 教育出版	61 啓林館
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○導入や本編内において、生徒の興味・関心を高める工夫や生徒自らが自然の規則性を見出せる工夫が凝らされている。 ○実験、観察については、一連の学習の流れで構成されており、思考力・判断力・表現力の育成が図れる工夫がされている。 ○視線の移動が少なく、流れが分かりやすいレイアウトになっている。 ○各単元に1つ程度「じっくり探究」の節が設置されており、深い学びにつながるように工夫されている。 ○単元末の問題等において学習したことを活用することで思考力・判断力・表現力の育成を図れるよう配慮されている。 ○探究の過程に直結した活動（問題発見レッツスタート、仮説、分析・解釈、検討・改善など）を配置することで、思考力・判断力・表現力が自然に育成できるようになっている。 ○各節の後半で探求の振り返りができるよう学習活動を指示する項目が設置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○導入や巻末において、生徒自らが課題を見出せる工夫や生徒自らが探究の題材を見つけられる工夫が凝らされている。 ○実験、観察については、一連の学習の流れで構成されており、思考力・判断力・表現力の育成が図れる工夫がされている。結果の例があり、考察（思考、判断、表現）するポイントが分かりやすくなっている。 ○各単元に「探究活動」の節が設置されており、その単元で学習したことを活用できる。 ○単元末の問題等において学習したことを活用することで思考力・判断力・表現力の育成を図れるよう配慮されている。 ○それぞれの探究の過程の中で、「比較する」「関係づける」「条件を整備する」などの見方・考え方をはたらかせながら、学習を進められるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○導入や本編内において、生徒自らが課題を見出せる工夫や生徒の興味・関心を高める工夫が凝らされている。 ○実験、観察については、一連の学習の流れで構成されており、思考力・判断力・表現力の育成が図れる工夫がされている。実験や観察が見開きページに示されるなど、とても見やすい構成になっている。 ○各単元に1つ程度「理路整然」が設置されており、深い学びにつながるよう工夫されている。 ○単元末の問題等において学習したことを活用することで思考力・判断力・表現力の育成を図れるよう配慮されている。 ○すべての授業時間に対応した「この時間の課題」と「まとめ」が提示され、教科書下部に「この時間の見方」「考え方」の例が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○導入や本編内において、生徒自らが課題を見出せる工夫や生徒の興味・関心を高める工夫が凝らされている。 ○実験、観察については、一連の学習の流れで構成されており、思考力・判断力・表現力の育成が図れる工夫がされている。実験や観察をする際に二次元コードを読み取ることで、参考にさせている。 ○各単元に1つ程度「疑問から探究してみよう」が設置されており、探究活動を無理なく取り組める。 ○単元末の問題等において学習したことを活用することで思考力・判断力・表現力の育成を図れるよう配慮されている。 ○生徒が働かせる見方については、様々な視点をそれぞれの領域で適切に取り上げて表現し、考え方については比較、関係付けなどを探究の過程の中で適切に用いて表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本編内において、生徒の探究意欲を高める工夫や生徒の興味・関心を高める工夫が凝らされている。 ○実験、観察については、一連の学習の流れで構成されており、思考力・判断力・表現力の育成が図れる工夫がされている。実験や観察が見開きページに示されるなど、とても見やすい構成になっている。 ○各単元に1つ「探Q実験」が設置されており、生徒自身の思考力、判断力、表現力の育成ができる。 ○単元末の問題等において学習したことを活用することで思考力・判断力・表現力の育成を図れるよう配慮されている。 ○様々な視点の問題が設置されている。 ○適所に配置されたキャラクターの発言などで、理科の見方・考え方をはたらかせた思考や表現の例が示され、生徒が自発的に見方・考え方を働かせることができるよう配慮されている。 ○実験・観察の後述や巻末に課題解決的な学びのための振り返りの観点とその例を示す項目が設定されている。
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○8段階の探究的な学習の流れが具体例とともに示しており、見通しを持って学習に取り組めるよう工夫している。 ○各節の導入に「問題発見」レッツスタート!が設けられ生徒自ら疑問や目的意識をもって主体的に学習を進められる場面を提示している。 ○「Before & After」とそのワークシートで、自らの学びを振り返ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○4段階の探究の過程に沿った学習を意識的に進められるようにマークが設けられ、見通しを持って学習に取り組めるよう工夫している。 ○「問題を見つけてみよう」などを通して主体的に学習を進められる場面を提示している。 ○探究活動の「振り返ろう」の項目で振り返る内容が示されている。 ○対話的な学習の場面を設けるとともに適宜キャラクターと吹き出しを用いた対話の具体例を記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○10段階の探究の進め方が各学年の巻頭に示されており、見通しを持って学習に取り組めるよう工夫している。 ○探究活動の導入「気づき」で、身近な現象、図板、キャラクターの会話など、主体的に探究が進められる場面を提示している。 ○単元はじめの「学びのあしあと」で学習前後の記述を通して自己の成長を認識する工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○7段階の探究の過程が各学年の巻頭に示されており、見通しを持って学習に取り組めるよう工夫している。 ○「疑問を見つける」などを通して生徒一人一人が考えをもち主体的に学習を進められる場面を提示している。 ○「学習前の私」「学習後の私」で生徒自身の変容を認識させる場面が設定されている。 ○対話的な学習の場面を設けるとともに適宜キャラクターと吹き出しを用いた対話の具体例を記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○8段階の探究の過程が各学年の巻頭のガイダンスページに示されており、見通しを持って学習に取り組めるよう工夫している。 ○「探Q実験」「探Qシート」で他者の意見を参考に自分の考えの妥当性を検討する場面など、主体的に学習を進められる場面を提示している。 ○実験・観察ごとに「探究の振り返り」の内容が示されており、二次元コードのコンテンツとして「振り返りシート」がある。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	理科	種類	5種	4 枚中 3 枚
--------	----	----	----	----------

採択基準	基本観点	発行者名 (番号・略号)				
		2 東京書籍	4 大日本図書	11 学校図書	17 教育出版	61 啓林館
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○対話的な学習の場面を設けるとともに適宜キャラクターと吹き出しを用いた対話の具体例を記載している。 ○「議論のしかた」についての記載がある。 ○単元や章の最初と最後で同じ問いを考えさせ、学ぶ前と後でどのように考えが変容したかがわかる工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「話し合いのしかた」についての記載がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○対話的な学習の場面を設けるとともに適宜キャラクターと吹き出しを用いた対話の具体例を記載している。 ○対話の重要性が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○対話的な学習の場面を設けるとともに適宜キャラクターと吹き出しを用いた対話の具体例を記載している。 ○単元や章の最初と最後で同じ問いを考えさせ、学ぶ前と後でどのように考えが変容したかがわかる工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○対話的な学習の場面を設けるとともに適宜キャラクターと吹き出しを用いた対話の具体例が記載され、話し合いの方法が示されている。 ○単元や章の最初と最後で同じ問いを考えさせ、学ぶ前と後でどのように考えが変容したかがわかる工夫をしている。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○「発展」などと明記した形式で各単元内や単元末に上位学年や高校の表記とともに囲みで必修の内容と区別して掲載している。 ○今日的な課題については、3年の最終単元で集中的に取り扱っている。 ○巻末に自由研究のテーマ例が示されており、学習が深められるよう工夫されている。 ○各学年で「防災特集」の項目を設け、自然災害などに関する内容を取り扱っている。 ○SDGs (持続可能な開発目標)・エネルギー教育、ESD (持続可能な開発のための教育)、環境教育、STEAM 教育への配慮をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「発展」と明記した形式で各単元内に上位学年や高校での科目名とともに本文と明確に区別できるデザインで掲載している。 ○今日的な課題については、3年の最終単元で集中的に取り扱っている。 ○巻末に自由研究のテーマ例が示されており、学習が深められるよう工夫されている。 ○専門家の監修を受けた自然災害から身を守る方法や安全に関する記述を掲載し、自然災害などに関する内容を取り扱っている。 ○SDGs (持続可能な開発目標)・エネルギー教育、ESD (持続可能な開発のための教育)、環境教育、STEAM 教育への配慮をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「発展」と明記した形式で巻末資料に掲載している。 ○今日的な課題については、3年の最終単元で集中的に取り扱っている。 ○巻末に自由研究のテーマ例ではなく資料としてさまざまなトピックが示されており、学習が深められるよう工夫されている。 ○SDGs (持続可能な開発目標)・エネルギー教育、ESD (持続可能な開発のための教育)、環境教育への配慮をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「発展」などと明記した形式で各単元内や単元末に上位学年や高校での科目名とともに示され、本文と区別して掲載している。 ○今日的な課題については、3年の最終単元で集中的に取り扱っている。 ○巻末に自由研究のテーマ例ではなく資料としてさまざまなトピックが示されており、学習が深められるよう工夫されている。 ○自然災害と防災・減災を学ぶ章を設け、自然災害に関する内容を取り扱っている ○SDGs (持続可能な開発目標)・エネルギー教育、ESD (持続可能な開発のための教育)、環境教育への配慮をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ○「発展」と明記した形式で各単元内に上位学年や高校での科目名とともに掲載している。 ○今日的な課題については、3年の最終単元で集中的に取り扱っている。 ○巻末に自由研究のテーマ例ではなく資料としてさまざまなトピックが示されており、学習が深められるよう工夫されている。 ○災害から得た知識を未来に活かす「未来指向型の防災・減災教育」の考えに沿って全体が記載されており、自然災害に関する内容を取り扱っている。 ○SDGs (持続可能な開発目標)・エネルギー教育、ESD (持続可能な開発のための教育)、環境教育、STEAM 教育への配慮をしている。
	(5) 他の教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○他教科との関連を示すマークなどを使用し、関連を図った指導ができるように配慮している。 ○他教科の紙面や内容を確認できる二次元コードコンテンツを多く掲載している。 ○生命尊重や自然環境保全など特別の教科道徳と関連がある内容を取り扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他教科との関連を示すマークなどを使用し、関連を図った指導ができるように配慮している。 ○生命尊重や自然環境保全など特別の教科道徳と関連がある内容を取り扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他教科との関連を示すマークなどを使用し、関連を図った指導ができるように配慮している。 ○生命尊重や自然環境保全など特別の教科道徳と関連がある内容を取り扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他教科との関連を示すマークなどを使用し、関連を図った指導ができるように配慮している。 ○算数・数学については巻末資料で掲載している。 ○生命尊重や自然環境保全など特別の教科道徳と関連がある内容を取り扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他教科との関連を示すマークなどを使用し、関連を図った指導ができるように配慮している。 ○算数・数学については例題を示し、解説を掲載している。 ○生命尊重や自然環境保全など特別の教科道徳と関連がある内容を取り扱っている。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	理科	種類	5種	4 枚中	4 枚
--------	----	----	----	------	-----

採択基準	基本観点	発行者名 (番号・略号)				
		2 東京書籍	4 大日本図書	11 学校図書	17 教育出版	61 啓林館
3 使用上の便宜が工夫されていること	(1) 表記・表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○配色、フォント、レイアウトなどユニバーサルデザイン化に向けた工夫を行っている。 ○発達段階や学年移行を考慮し、文字の大きさを変更している。 ○アイコンやマーク等を活用して視覚的に理解が深められるように配慮している。 ○全学年の巻末に資料があり、2年の巻末にはペーパークラフトもある。 ○見やすさと読みやすさを考慮して、AB判サイズが採用され広げやすい構造になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○配色、フォント、レイアウトなどユニバーサルデザイン化に向けた工夫を行っている。 ○発達段階や学年移行を考慮し、文字の大きさを変更している。 ○アイコンやマーク等を活用して視覚的に理解が深められるように配慮している。 ○全学年の巻末に資料がある。 ○上質かつ軽量、規格内で最上の堅牢さを持つ用紙を使用しており、広げやすい構造になっている。 ○文章表現・用語や表記が適切である。 ○資料や図表の表現、紙面の読みやすさについて特色を出している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○配色、フォント、レイアウトなどユニバーサルデザイン化に向けた工夫を行っている。 ○発達段階や学年移行を考慮し、文字の大きさを変更している。 ○アイコンやマーク等を活用して視覚的に理解が深められるように配慮している。 ○全学年の巻末に資料がある。 ○見やすさと読みやすさを考慮して、AB判サイズが採用され、広げやすい構造になっている。 ○教科書に太字で明記されているものに加えて、教科書右上などに課題・まとめが端的に示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○配色、フォント、レイアウトなどユニバーサルデザイン化に向けた工夫を行っている。 ○発達段階や学年移行を考慮し、文字の大きさを変更している。 ○アイコンやマーク等を活用して視覚的に理解が深められるように配慮している。 ○全学年の巻末に資料がある。 ○上質かつ軽量さを持つ用紙を使用している。開きやすい構造になっている。 ○項目がページごとに集約されているところが見やすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○配色、フォント、レイアウトなどユニバーサルデザイン化に向けた工夫を行っている。 ○発達段階や学年移行を考慮し、文字の大きさを変更している。 ○アイコンやマーク等を活用して視覚的に理解が深められるように配慮している。 ○全学年の巻末に資料と「探Qシート」4枚がある。 ○目に優しく読みやすい紙面、広げやすく、書き込みやすい紙面が採用されている。 ○科学コラム（部活ラボ・お料理ラボ・お仕事ラボ・防災ラボ）等の記載があり、身の回りの現象と理科とをうまく重ね合わせて説明している。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	音楽・器楽	種類	2種	3 枚中 1 枚
--------	-------	----	----	----------

採択基準	基本観点	発行者名 (番号・略号)			
		17 教育出版	27 教育芸術社	17 教育出版(器楽)	27 教育芸術社(器楽)
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること	(1) 全体としての特徴や創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領の示す音楽科の目標に従い、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育むことを基本に題材構成を工夫し、題材のねらいを明確に示している。 ○学習 MAP には、「歌唱」「鑑賞」「創作」に分類し資質・能力の三つの柱と、題材目標、教材、共通項目を軸とした学習の進め方を関連付けて示している。 ○共通教材を「日本の歌みんなの歌」と示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領の示す音楽科の目標に従い、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育むことを基本に題材構成を工夫し、題材のねらいを明確に示している。 ○学びの地図として、「歌唱」「鑑賞」「創作」に分類し資質・能力の三つの柱と、題材目標、教材、共通項目、身に付けられる学力を関連付けて示している。 ○共通教材を「心の歌」のロゴで印しこれからも歌い継いでいきたい歌として示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領の示す音楽科の目標に従い、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育むことを基本に題材構成を工夫し、器楽活動を通して、技能や表現など、題材のねらいを明確に示している。 ○器楽教材と共に、歌唱教材、鑑賞教材、創作教材を記載し、表現と鑑賞の関連を図り、名曲旋律集は鑑賞教材と関連させて主旋律を抜粋し、名曲に親しむ工夫をしている。 ○様々な楽器の共通性と固有性を重視して構成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領の示す音楽科の目標に従い、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育むことを基本に題材構成を工夫し、器楽活動を通して、技能や表現など、題材のねらいを明確に示している。 ○器楽教材と共に、歌唱教材、鑑賞教材、創作教材も記載し、表現と鑑賞の関連を図り、アンサンブルで「春」や「ブルタバ」などの鑑賞教材を扱い、名曲に親しむ工夫をしている。 ○楽器演奏が生活や社会、文化に与える意味や価値を重視して構成している。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○楽典を右ページ下に統一して記載し、音楽記号や音楽用語が反復できるように矢印マークやページを記している。 ○「音のスケッチ」で音楽創作の課題を示し「リズムの組み合わせ」や「平調子の特徴」などの条件設定及び創作の筋道を工夫して記載している。 ○「Sing! Sing!」や「Active!」、「Let's Try!」で、発声、演奏形態、指揮法、音階などの技能の習得ができるよう工夫している。 ○「学習 MAP」「学習の進め方」「どんな特徴があるかな?」「楽典」で、キャラクターの吹き出しを用いて振り返れるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽典を右ページ上に統一して記載し、音楽記号や音楽用語が反復できるようにページを記している。 ○着目する音楽を形づくっている要素を左下に記載している。 ○「My Melody」「Let's Create!」で音楽創作の課題及び道筋を示し、基礎的・基本的な知識及び技能の習得ができるよう工夫している。 ○「学びのコンパス」で発声や音楽表現について考えたり、指揮法、生活や社会の中の音楽などとの関連を考えたりする工夫をしている。 ○曲想と音楽の構造など、関わりに気づき理解を促すため、キャラクターの吹き出しを用いて学習目標や活動と結び付けて学べるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的、基本的な奏法が身に付けられるよう題材を見開き左上に示し、教材ごとに焦点化された学習のめあてを明記し、習得した知識や技能を生かして表現する「まとめの曲」につなげている。 ○巻末に「楽典」を記載し、基礎・基本の内容を確認できる配慮をしている。 ○「音のスケッチ」で各楽器の創作課題を示し、箏の創作は縦式楽譜に記入できるよう工夫している。 ○曲想と音楽の構造などの関わりについて理解しやすい教材や、思いや意図をもって表現するために必要な技能が身に付く教材を配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽器の奏法を身に付けるために、わかりやすい文章とイラスト、写真を用いて解説し、楽器の基礎的な技能の習得ができるよう、唱歌や口三味線など、繰り返し学習する活動を示している。 ○巻末に「音楽の約束」を記載し、基礎・基本の内容を確認できる配慮をしている。 ○「My Melody」で箏による創作課題を示し、縦式楽譜に直接記入できるよう工夫している。 ○「学びのコンパス」「Q&A」や各所のコラムでは、小学校で身に付けたことや、音色などの基礎的な学習内容を確認し、繰り返し学習できるよう工夫している。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○「音楽を形づくっている要素」とその働きに着目し、知覚したことと感受したこととの関わりや音楽的な見方・考え方を活用できるように工夫するとともに、言語活動の充実を図っている。 ○教材に応じて焦点化した発問やアドバイスをキャラクターが吹き出しで示し、「Sing! Sing!」「Active!」「Let's Try!」「話し合おう」「音のスケッチ」などで思考を促す記入欄を設けている。 ○「比べてみよう」のマークで教材の共通性と固有性を比べて理解を深める工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「音楽を形づくっている要素」とその働きに着目し、知覚・感受したことを基に「思考、判断、表現」のヒントを示し、音楽的な見方・考え方を活用できるように工夫するとともに、言語活動の充実を図っている。 ○教材に応じて焦点化した発問やアドバイスをキャラクターが吹き出しで示し、「演奏者からのアドバイス」「学びのコンパス」「My Melody」「Let's Create!」などで思考を促す記入欄を設けている。 ○楽曲の紹介文や活動文を示し、理解しながら表現力を高める工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○〔共通事項〕に基づく題材を学習のまとめごとに見開き左上に示し、教材ごとの学習のめあても表示することで、身に付けたい知識及び技能を適切に扱っている。 ○「表現の仕方を調べてみよう」「深めてみよう」など、音の出し方や楽器の特徴、奏法の効果について、調べたことを交流して考えを深めるための言語活動の充実を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素を、アンサンブルセミナーや創作の学習目標の下に示し、身に付けたい知識及び技能を適切に扱っている。 ○「学びのコンパス」では、知覚・感受したことをもとに「思考・判断・表現」を行うためのヒントが示され、交流して思考した内容を記述するなど、言語活動の充実を図っている。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	音楽・器楽	種類	2種	3 枚中	2 枚
--------	-------	----	----	------	-----

採択基準	基本観点	発行者名 (番号・略号)			
		17 教育出版	27 教育芸術社	17 教育出版(器楽)	27 教育芸術社(器楽)
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的・対話的で深い学びを実現するための学習の見通しを「Active!」「比べてみよう」「深めてみよう」「Let's Try!」に示しキャラクターが学習のヒントや考えるきっかけを与え、生徒の気付きや思考を促すよう工夫している。 ○「Active!」「作者の思いにふれる」など、生徒が意識的に考え、対話する工夫をし、「私たちとの暮らしと音楽」などと関連する記事を取り上げ、音楽の働きや役割、自然や社会とのつながりに気付いて学びが深められる課題を提示している。 ○楽典を巻末の折り込みで示し、二次元コードから動画へアクセスでき、個別最適な学習への配慮が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的・対話的で深い学びを実現するための手順や手立てをワークシートや体験活動に示し、新設の「学びのコンパス」では、キャラクターの吹き出しが学習のヒントや考えるきっかけを与え、生徒の気付きや思考を促すよう工夫している。 ○「音楽って何だろう?」「生活や社会との関わりによどのような意味や価値を持つか」など、生徒が意識的に考え対話する工夫をし、「生活や社会の中の音楽」などと関連する記事を取り上げ、音楽の働きや役割、自然や社会とのつながりに気付いて学びが深められる課題を提示している。 ○楽典を巻末にわかりやすく示し、二次元コードから動画へアクセスでき、個別最適な学習への配慮が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な楽器の組み合わせによるアンサンブル活動を多数掲載し、「表現の仕方をくらべてみよう」では楽器のしくみや特徴に着目し、「話し合おう」では意見交流を通して基本的な奏法を生かして他者と協働して表現できるよう工夫している。 ○巻末に、主体的に学ぶことができるリコーダー運指表、ギターコードダイアグラムなどを示している。 ○二次元コードから動画などの資料へのアクセスが容易であり、個別最適な学習への配慮が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○和楽器を学習する際に、唱歌や口三味線を歌う活動を示し、「学びのコンパス」では、曲に対する考えを、「知識・技能」に関するコラムや「Q&A」、キャラクターの吹き出しでヒントを示し、他者と協働して表現できるよう工夫している。 ○巻末に、主体的に学ぶことができるリコーダー運指表、ギターコードダイアグラムなどを見開きで示している。 ○二次元コードから動画などの資料へのアクセスが容易であり、個別最適な学習への配慮見られる。
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の主体的・協働的な学習への取り組みを高められるよう、歴史的事象との関連を図る「発展的学習」「音の三要素」、「作曲家の生きた時代」、「日本と西洋の音楽の歩み」、「肖像で見る音楽年表」などを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の興味・関心・意欲を高めて学習を一層深めることができるよう、「この頃、日本では…!」、「耳でたどる音楽史」、能「敦盛」、「Hey Jude」、「世界の楽器の文化や伝統」などを示し、「Challenge」「番外編」など発展的な学習内容や知識などを提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「Let's Play」や「Let's Try」等で発展的な内容を扱い、表現を工夫できるよう紹介している。 ○発展的学習を「吹く楽器の仲間たち」「弾く楽器の仲間たち」「表現の仕方を調べてみよう」「PART1」、「PART2」で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「アンサンブル」では、発展的な内容を扱い表現を工夫できるように構成している。 ○発展的に学べるよう「バンドの世界をのぞいてみよう」「伝統の枠を超えて活躍する和楽器」「こぼれ話」「ミニ知識」で紹介している。
	(5) 他の教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○「歌のアルバム」では、友情や未来に向かって進む決意などの歌詞を持つ歌唱教材や命の尊さを背景とした鑑賞曲などを掲載して、道徳との関連を図っている。 ○知的財産権や、我が国の自然の美しさを表現した教材、日本とアジアをつなぐ音、コンピュータと音楽、アウトリーチなどで、道徳や他教科との関連を図っている。 ○英語で歌唱できる教材を扱ったり、年表や地図を用いたりして歴史的事象との関連を図っている。 ○巻頭の「With My Heart」で、芸術家たちのメッセージを記載し、道徳との関連を図っている。 ○SDGsの取組との関連を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「心通う合唱」では、希望や勇気、思いやりの心、強い意志を支える歌詞を持つ歌唱教材や、命の尊さを背景とした鑑賞曲などを掲載して、道徳との関連を図っている。 ○著作権等、音楽のルールを守るための表記があり、知的財産権や我が国の自然の美しさを表現した教材を掲載し、道徳や他教科との関連を図っている。 ○英語で歌唱できる教材を扱ったり、年表や地図を用いたりして歴史的事象との関連を図っている。 ○巻頭の各界で活躍する方からのメッセージを記載し、道徳との関連を図っている。 ○SDGsの取組との関連を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○英語の歌詞、楽器の背景にある文化や伝統、楽器に関する流通、貿易、材質、生活様式、復興空港ピアノ、和楽器の名手からの諦めない気持ちや礼儀と人間性に関する提言など、音楽科と各教科を横断できるよう配慮している。 ○様々なアンサンブル活動を通して、協働しながら学習を進められるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○諸外国の音楽文化に対する理解を深められるよう、様々な国の楽器や楽曲を取り上げ「楽器を知ろう」では、歴史的・地理的事象との関連を図ることで、他教科の学習を併行できるよう配慮している。 ○様々なアンサンブル活動を通して、協働しながら学習を進められるよう工夫し、箏においては、「姿勢と礼儀」についても触れている。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	音楽・器楽	種類	2種	3枚中	3枚
--------	-------	----	----	-----	----

採択基準	基本観点	発行者名(番号・略号)			
		17 教育出版	27 教育芸術社	17 教育出版(器楽)	27 教育芸術社(器楽)
3 使用上の便宜が工夫されていること	(1) 表記・表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○色覚等への特性を踏まえた判読性・視認性の高い配色やレイアウト(カラーユニバーサルデザイン)、表記・表現方法、文字(ユニバーサルデザインフォント)の使用など、細部にわたり配慮している。 ○再生紙と植物油インキを使用し印刷している。 ○教材を2ページ見開きで構成し、写真を効果的に使用し、創造や感性を高め、楽器の奏法が理解しやすいよう工夫している。 ○〔共通事項〕は「楽典」として巻末折込みページにまとめ、生徒自らが調べやすいよう工夫をしている。 ○二次元コードでは、演奏動画や創作ツール、ワークシートが挿入されており、デジタル教材で学ぶことができるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体に区別しやすい配色を用いながら、楽譜を含めた大部分のページでユニバーサルデザインフォントが使用され、ページ番号を全て白抜きで黒字で表記するなど、細部にわたり配慮されている。 ○再生紙と植物油インキを使用し印刷において「グリーンプリンティング設置工場」で印刷している。 ○教材を2ページ見開きで構成し、写真を効果的に使用し、創造や感性を高め、楽器の奏法が理解しやすいよう工夫されている。 ○〔共通事項〕は「音楽の約束」として巻末ページにまとめ、生徒自らが調べやすいよう工夫をしている。 ○二次元コードでは、演奏動画や創作ツール、各曲の音源(伴奏やパート別カラピアノ)が挿入されており、カラーのワークシートが挿入されており、デジタル教材で学ぶことができるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○色覚等への特性を踏まえた判読性・視認性の高い配色やレイアウト(カラーユニバーサルデザイン)、表記・表現方法、文字(ユニバーサルデザインフォント)の使用など、細部にわたり配慮している。 ○再生紙と植物油インキを使用するなど、環境面にも十分配慮されている。 ○二次元コードでは、演奏動画やワークシートが挿入されており、デジタル教材で学ぶことができるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体に区別しやすい配色を用いながら、楽譜を含めた大部分のページでユニバーサルデザインフォントが使用されており、誰もが読みやすい文章や楽譜となるよう配慮している。 ○再生紙や再生可能な植物油インキを使用するなど、環境にも十分配慮されている。 ○二次元コードでは、演奏動画やワークシートが挿入されており、デジタル教材で学ぶことができるよう工夫している。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	美術	種類	3種	2枚中	1枚
--------	----	----	----	-----	----

採択基準	基本観点	発行者名(番号・略号)		
		9 開隆堂	38 光村図書	116 日本文教出版
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること	(1) 全体としての特徴や創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○1年と2・3年の2冊構成。 ○それぞれの題材を「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学びの資料」の視点で分類し、それらの学習の流れや学習内容が書かれている。 ○興味・関心を持てる魅力的な表紙(質感を感じさせる加工) ○美術1の巻頭に図画工作から美術へのつながりを意識した導入の設定。 ○先生と生徒のキャラクターを掲載させることで親しみを感じさせている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○美術1年と2・3年に美術1資料を加えた3冊構成。 ○それぞれの題材を「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学びを支える資料」の視点で分類し、その中で、表現活動の題材と鑑賞活動の題材がわかるようにマークを変えている。 ○美術2・3年では和紙風用紙が採用されており「日本の絵画を楽しむ五つのキーワード」という日本美術に焦点を当てた鑑賞が設定されている。 ○別冊「資料」は、中学3年間で必要な資料がコンパクトにまとめられており、わかりやすい内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○1年と2・3年上下の3冊構成。 ○それぞれの題材を「オリエンテーション」「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学びを支える資料」の視点で分類し、その中で、表現活動の題材と鑑賞活動の題材がわかるように表示されている。 ○美術1「美術との出会い」、2・3上「学びの実感と深まり」、2・3下「学びの探求と未来」とそれぞれにテーマが設定されており、3年間の学びの繋がりを意識して構成されている。 ○美術2・3年下では現代社会との美術のつながりを見つける題材を多く扱っている。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○各題材の始めに「知」という見出しで目標が示されている。 ○「知識・技能」という小見出しで具体的な見方や考え方が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各題材のはじめに観点別の目標が分かりやすくマークで示されている。 ○基礎的内容を別冊「資料」にすることで、進級後も振り返りやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各題材のはじめに観点別の目標が分かりやすくマークで示されている。(3つの観点をイラストや文字の色で区別) ○最終頁に「学びを支える資料」をまとめることで、学年ごとに基礎的内容を確認しやすくしている。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○各題材の始めに「思」という見出しで目標が示されている。 ○「発想・構想」という小見出しで具体的な見方や考え方が示されている。 ○各題材に生徒作品と作者の言葉が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各題材のはじめに観点別の目標が分かりやすくマークで示されている。 ○各題材が「鑑賞」から「表現」、「鑑賞」の構成で統一されている。 ○「point」の小見出しがあり、見方や考え方を深めるための問いかけが工夫されている。 ○参考となる作品が豊富(全国の生徒作品を見よう)である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各題材のはじめに観点別の目標が分かりやすくマークで示されている。 ○「鑑賞の入り口」「造形的な視点」を各頁に設けている。 ○「作者の言葉」や「表現のヒント」など、発想・構想につながるヒントやの手立てが工夫されている。
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○各題材の始めに「学」という見出しで主体的に取り組むための目標が示されている。 ○「鑑賞」という小見出しで具体的な見方や考え方が示されている。また、問いかけが示されており見方を広げる工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒作品では、発想から表現の工夫へと制作過程での考え方が示されており、生徒の主体的な態度が促される工夫が見られる。 ○「美術鑑賞を楽しむ手がかり(美術1巻末)」として鑑賞の流れを示している。 ○美術1年巻頭では、一人一台タブレット端末の活用を前提とした題材の紹介から始まる構成。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各題材のはじめに観点別の目標が分かりやすくマークで示されている。 ○各題材がコンパクトにまとめられ、見開きの2頁で構成されている。 ○二次元コードが豊富で、鑑賞活動や、表現を深められる工夫がされている。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	美術	種類	3種	2 枚中 2 枚
--------	----	----	----	----------

採択基準	基本観点	発行者名 (番号・略号)		
		9 開隆堂	38 光村図書	116 日本文教出版
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	○学習指導要領に示していない内容は取扱っていない。	○学習指導要領に示していない内容は取扱っていない。	○学習指導要領に示していない内容は取扱っていない。
	(5) 他の教科等との関連	○道徳科や理科、社会科、国語科などに関連した題材や有名作家の作品が掲載されている。 ○SDGs に関連する個所では、分かりやすいマークが表示されている。 ○美術2・3年ではキャリア教育やインクルーシブな社会と関連した作家の紹介や題材が見られる。	○道徳科をはじめ、国語科や外国語科、数学科、音楽科、社会科などに関連した題材が設定されており、分かりやすく「～科とのつながり」というコラムが設定されている。 ○SDGs の 17 の目標のうち、関連する目標の番号を明示している。	○道徳科や国語科、数学科、社会科、技術・家庭科などに関連した題材や作品が掲載されている。 ○SDGs やキャリア教育に関連した題材や有名人、作家の紹介が掲載されている。
3 使用上の便宜が工夫されていること	(1) 表記・表現の工夫	○変形判A4版で1は72P、2、3は128Pで編集 ○二次元コードを読み取り、動画や参考作品が見られるようになっている。	○変形判A4版で1は70P、2、3は108P、1の資料は36Pで編集 ○二次元コードを読み取り、動画や参考作品が見られるようになっている。 ○二次元コンテンツ「体感ミュージアム」により鑑賞活動等を深められる工夫がある。	○変形判A4版で1は76P、2、3上66P、下は62Pで編集 ○二次元コードを読み取り、動画や参考作品が見られるようになっている。 ○二次元コンテンツ「学びのはじめに」により授業の導入に活用できる工夫がある。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	保健体育	種類	4種	2 枚中 1 枚
--------	------	----	----	----------

採択基準	基本観点	発行者名 (番号・略号)			
		2 東京書籍	4 大日本図書	50 大修館書店	224 学研出版
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること	(1) 全体としての特徴や創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領に示された学年配当に従って、学年別に「保健編」「体育編」の並びで構成されている。 ○インターネットを活用した学習が進められるよう工夫されている。 ○「保健編」の2年・3年の「健康な生活と病気の予防」の章が、4章・6章というように各学年の後半に配置されている。 ○動画学習できる単元は、二次元コードがページ右下に統一して提示されているので、活用しやすい。 ○「巻末スキルブック」が導入され、実習がまとめて提示されているので活用しやすい。 ○デジタル教科書が充実している。 ○教科書とインターネットを活用した学習をうまく併用できるような構成になっている。 ○保健体育の学習方法が、教科書のはじめにわかりやすくまとめられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領に示された学年配当に従って、学年別に「体育編」「保健編」の並びで構成されている。 ○「保健編」の2年・3年の「健康な生活と病気の予防」の章が、3章・5章というように各学年の前半に配置されている。 ○基本的に見開きで左のページに本文、右のページに資料が配置され、見やすい構成になっている。 ○章末に「まとめの問題」が二次元コードで提示され、ふり返りができるようになっている。 ○デジタル教科書が充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領に示された学年配当に従って、学年別に「体育理論」「保健」の並びで構成されている。 ○「保健編」の2年・3年の「健康な生活と病気の予防」の章が、3章・5章というように各学年の前半に配置されている。 ○各單元ごとに「保体クイズにトライ」が二次元コードで提示され、学習内容を楽しく復習できるようになっている。 ○各章の終わりに、「章のまとめ」が設けられ、評価の3観点ごとに問題が出されているので教師・生徒どちらにとっても評価を明確にできる工夫がされている。 ○デジタル教科書が充実している。 ○教科書とインターネットを活用した学習が併用できるような構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領に示された学年配当に従って、学年別に「体育編」「保健編」の並びで構成されている。 ○「保健編」の2年・3年の「健康な生活と病気の予防」の章が、3章・5章というように各学年の前半に配置されている。 ○各章の終わりに、「章のまとめ」が設けられ、評価の3観点ごとに問題が出されているので教師・生徒どちらにとっても評価を明確にできる工夫がされている。 ○デジタル教科書が充実している。 ○教科書とインターネットを活用した学習をうまく併用できるような構成になっている。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の流れに沿って学習が進められるように配置されている。 ○本文と資料の区切りが明確化され、見やすい構成になっている。 ○「巻末スキルブック」が導入され、実習がまとめて提示されているので、見やすいだけでなく復習に活用しやすい。 ○学習が展開しやすい本文や資料の配置になっている。 ○動画のコンテンツが豊富に用意されている。 ○Dマークコンテンツによってシミュレーションをタブレット端末で行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「学習のねらい」「つかもう」「話し合ってみよう」「活用して深めよう」の流れに沿って学習が進められるように配置されている。 ○基本的に見開きで左のページに本文、右のページに資料が配置され、見やすい構成になっている。 ○「トピックス」として、興味関心が湧くような話題や情報が精選して記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「課題をつかむ」「きょうの学習」「本文」「資料」「学習のまとめ」の流れに沿って学習が進められるように配置されている。 ○本文と資料の区切りが明確化され、見やすい構成になっている。 ○各章の終わりに「章のまとめ」が評価の観点ごとに提示され、観点ごとの復習ができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「ウォームアップ」「学習の課題」「本文と資料」「エクササイズ」「学びを生かす」「とりくメーター」の流れに沿って学習が進められるように配置されている。 ○「学習の課題」が「わかる」と「考える」に細分化されているので、観点別に意識しやすくなっている。 ○学習が展開しやすい本文や資料の配置になっている。 ○デジタルコンテンツにおいて、ワークシートや外部リンクが豊富に用意されている。また、実習の動画や教材が用意されている。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	保健体育	種類	4種	2 枚中	2 枚
--------	------	----	----	------	-----

採択基準	基本観点	発行者名 (番号・略号)			
		2 東京書籍	4 大日本図書	50 大修館書店	224 学研出版
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	○「活用する」の出題形式に工夫が見られ、理解しやすく考えやすい構成になっている。 ○章末に「学習のまとめ」の二次元コードがあり、ICTを活用して章末問題やキーワードの振り返りができるようになっている。 ○資料が多く記載されており、考えやすくなっている。	○「話し合ってみよう」「活用して深めよう」では、自分の生活を振り返って考える内容になっている。 ○章末に「まとめの問題」が二次元コードで提示されているので、各自で学びの復習ができるようになっている。 ○「学びを活かそう」で学習したことをより深く考えられるようになっている。	○各単元の「学習のまとめ」では、学習内容を活用して答える問いになっている。 ○「章のまとめ」では、思考・判断・表現を明確化した問題が用意されている。 ○各単元に「学習のまとめ」が設定されている。	○各単元の「学びを生かす」では、学習内容を活用して答える問いになっている。 ○「章のまとめ」では、思考・判断・表現を明確化した問題が用意されている。 ○各単元に「活用する」が設定されている。 ○「エクササイズ (課題の解決)」が、生徒が深く考え、答えを探すことのできる課題設定になっている。
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	○Q&A 健康相談コーナーが設けられ、生徒の関心を引き出す工夫がされている。 ○D マークコンテンツの内容及び動画が充実している。	○「ミニ知識」が各ページに記載されているので、生徒の興味関心を広げることにつながる。 ○「話し合ってみよう」が各単元に提示されているので、対話的な学びにつながる。	○「コラム」や「ほり下げる」が提示されていて、生徒の興味関心を広げることにつながる。 ○ 特集資料等でより発展的に学習に取り組むことができる。	○「情報サプリ」が提示されていて、生徒の興味関心を広げることにつながる。 ○デジタルコンテンツは資料が中心である。 ○「探究しようよ！」でより発展的に学習に取り組むことができる。
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	○「発展マーク」で示されているので、指導する側としても把握しやすくなっている。 ○各章の扉で、小学校での学習や高校での学習について触れることで、見通しを持って授業に取り組めるよう配慮されている。 ○「章末資料」などに記載されており、授業で活用しやすくなっている。 ○章末資料に様々な発展的な資料が掲載されている。	○「発展マーク」で示されているので、指導する側としても把握しやすくなり、主に「トピックス」や「単元資料」「章末資料」など、あらゆるところに掲載されている。 ○各章の扉で、小学校での学習や高校での学習について触れることで、見通しを持って授業に取り組めるよう配慮されている。	○「発展マーク」で示されているので、指導する側としても把握しやすくなり、主に「章末資料」に掲載されている。 ○各章の扉で、小学校での学習や高校での学習について触れることで、見通しを持って授業に取り組めるよう配慮されている。	○「発展マーク」で示されているので、指導する側としても把握しやすくなっている。 ○「発展マーク」は章末の「探究しようよ！」にまとめて掲載されている。 ○各章の扉で、小学校での学習や高校での学習について触れることで、通しを持って授業に取り組めるよう配慮されている。
	(5) 他の教科等との関連	○各教科との関連がある内容の箇所にはマークが設けられ、他教科との関連を図って進められるようにしている。 ○各章のはじめに「保健体育の職業」として、保健体育にかかわりのある職業の紹介を、D マークコンテンツも用いて行っている。	○「リンクマーク」が提示され、他教科との関連を図って進められるようになっている。	○「関連マーク」「他教科マーク」が提示され、他教科との関連を図って進められるようにしている。	○「関連マーク」が提示され、運動領域および他教科との関連を図って進められるようにしている。
	3 使用上の便宜が工夫されていること	(1) 表記・表現の工夫	○資料として、イラスト、グラフ、写真、表などを適切に配置し学習内容が深められるように工夫している。 ○本文中に資料と関連づけるマークがある。 ○章ごとに色分けを行い、そのページをすぐに開くことができるようになっている。	○資料として、イラスト、グラフ、写真、表などを適切に配置し学習内容が深められるように工夫している。 ○本文中に資料と関連づけるマークがある。 ○本文と資料が見やすい構成になっている。	○資料として、イラスト、グラフ、写真、表などを適切に配置し学習内容が深められるように工夫している。 ○本文中に資料と関連づけるマークがある。 ○文字や文章の間隔、ユニバーサルデザインフォントの採用など、見やすさの工夫をしている。 ○行間の幅がしっかりとられており、資料の配置も見やすい。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	技術・家庭科(技術分野)	種類	3種	2枚中	1枚
--------	--------------	----	----	-----	----

採択基準	基本観点	発行者名(番号・略号)			
		2 東京書籍	6 教育図書	9 開隆堂	
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること	(1) 全体としての特徴や創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○「技術のとびら」や「TECH Lab」といったページを作り、基礎技能やポイントなどがまとめられている。 ○「最適化の窓」で「技術の見方・考え方」の考え方が分かりやすく示されている。 ○学習の流れが分かりやすく示されている。 ○「技術の匠」として、現場の方の声が多く掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「見つける、学ぶ、振り返る」の流れが分かりやすく示されている。 ○高校生からのメッセージという、進路を意識した内容も掲載されている。 ○より詳しい内容は、「スキルアシスト」という別冊があり、実習で必要な部分や発展的な内容などがある。 ○色使いが濃い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の構成が「基礎的な技術」「問題解決」「これからの技術」となっており、どの分野でも同じようになっている。 ○「Wants」「安全」「環境」「経済」という視点が示され、教科書全体を通して活用されている。 ○写真や図が多く分かりやすい。 ○内容が詳しい。 	
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○「技術のとびら」や「TECH Lab」のページがあり、基礎的な部分になっており、見やすくまとめられている。 ○各編の1章「身の回りの技術」で身近な技術を用いている。 ○安全について実習内容に合わせて記載されている。 ○内容が丁寧に細かく記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○別冊にてまとめられている。 ○要点は太字、太い青字で整理されている。 ○「編のまとめ問題」で知識・技能についてまとめられている。 ○安全について実習内容に合わせて記載されている。 ○情報分野で、実物の写真が多く掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大事な部分は太字で示されている。 ○イラストや写真が使用されており、分かりやすく示されている。 ○安全について実習内容に合わせて記載されている。 ○内容が丁寧に細かく記載されている。 ○生物育成分野の水産に関する内容が充実している。 	
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○課題が設定されており、それを解決するためにどうしたら良いかを問う部分がある。 ○調べてみようという項目がある。 ○「最適化の窓」が、最初にあり、技術の見方・考え方の例が示されている。 (社会、経済、環境、安全、等) ○「問題の発見、課題の設定」「設計・計画」「製作・制作・育成」「評価、改善・修正」の流れが統一的に示されている。 ○問題解決に関する具体的な例が多くある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「編のまとめ問題」で思考・判断・表現についてまとめられている。 ○生徒自身の設計や計画を記入できる「設計・計画シート」が用意されている。 ○実習例において、問題発見、設計、製作、振り返りが分かりやすく明示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会からの要求、経済面、環境面、安全面の四つの視点で考えることを常に意識させるようになっている。 ○各編に「問題解決の流れ」のページがあり、流れが分かりやすく示されている。 ○具体的な実習例が多く、興味がわくような構成になっている。 	

教科用図書調査報告書

教科・種目名	技術・家庭科(技術分野)	種類	3種	2枚中	2枚
--------	--------------	----	----	-----	----

採択基準	基本観点	発行者名(番号・略号)			
		2 東京書籍	6 教育図書	9 開隆堂	
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のまとめに課題が設定されており、それを解決するためにどうしたら良いかを問う部分がある。 ○「考えてみよう、やってみよう、調べてみよう、話し合ってみよう、まとめてみよう、振り返ろう、深めよう」という項目があり、学習を振り返り、次の学習に向けての工夫がされている。 ○問題の発見、課題の設定が見やすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○A～D編のそれぞれの末に、「やってみよう」という項目があり、自分の考えや、今後心がけたいことなどを記すようになっている。 ○「編のまとめ問題」で主体的に学習に取り組む態度についてまとめられている。 ○高校生からのメッセージで次の段階への意識付けができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「やってみよう」「実験」という項目がある。既存の技術の工夫やしぐみについて調べ、考えをまとめる項目が設定されている。 ○各項目にある「学習課題」を通して、生徒が授業へ積極的に取り組むように配慮している。 	
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○資料として、一般の人のアンケートが載せられており、技術がどう生かされているのかや、取り組み内容が記載されている。 ○「TECH Lab」に作業方法や資料が多く掲載されており、分かりやすくまとめられている。 ○「技術のとびら」という項目が多数あり、分かりやすく内容が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「E編」というのがあり、A～Dを横断するような内容、三年間のまとめや先輩からのメッセージなどがまとめられている。 ○「スゴ技」「技ビト」で日本の技術に触れ、興味・関心を高められるように工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「参考」や「interview」といった項目で様々な技術が紹介され、インタビューが掲載されている。 ○地域につながる技術の話題が多く取り上げられている。 	
	(5) 他の教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○リンクのマークの横にこの教科書の他のページにある関連する部分や、他教科のどの分野と関連があるのか、小学校での既習内容等の記載がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「関連 小学校・理科 中学校・理科」のように、他教科との関連や小学校での既習内容との関連が記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各編の最初のページに「小学校や他教科とのつながり」が示されている。 	
3 使用上の便宜が工夫されていること	(1) 表記・表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○二次元コードによる追加情報や資料が多く用意されており、基本右上に掲載されている。 ○「最適化の窓」というのが巻頭につけられており、技術の見方・考え方が示されている。 ○目標、学習課題、まとめが表記されており、分かりやすくまとめられている。 ○写真、図、イラストで、分かりやすく編集されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○二次元コードによる追加情報や資料が多く用意されており、基本右下に掲載されている。 ○SDGsのマークが関連のあるところに掲載されている。 ○写真、図、イラストで分かりやすく編集されている。 ○全体の色使いが濃い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○二次元コードによる追加情報や資料が多く用意されており、基本右上に掲載されている。 ○写真とイラストで分かりやすく編集されている。 ○各分野にある「学習のまとめ」の内容が写真などもあり、見やすく、テストと類似するなど生徒も取り組みやすくなっている。 	

教科用図書調査報告書

教科・種目名	技術・家庭科（家庭分野）	種 類	3 種	2 枚中	1 枚
--------	--------------	-----	-----	------	-----

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）		
		2 東京書籍	6 教育図書	9 開隆堂
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること	(1) 全体としての特徴や創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○6編（1～6）の表記で、Bを3編に細分化してガイドランス・B・C・A・生活の課題と実践の順に配列している。 ○ガイドランス（P.10）は巻頭にあり、直接書き込めるようになっている。 ○現代課題への対応としてオンラインでの消費者トラブル（P.201）、多様な生き方では制服（P.270）について取り上げている。 ○伝統文化には着物（P.124～P.125）、郷土料理（P.102～103）、雑煮（P.101）を取り上げているだけでなく、日本の衣服の文化では日本の文様や染色（P.122～123）が取り上げられ、伝統文化に触れやすい工夫がされている。 ○「五大栄養素」→「栄養素の働き」→「中学生に必要な栄養素」→「食品に含まれる栄養素」→「6つの基礎食品群」→「食品の組み合わせ」→「献立づくり」の単元配列になっている。 ○偶数ページに単元名、目標、学習課題が明記され、奇数ページ下段に資料や図などがまとめられており統一性がある。 ○6つの食品群と食品群別摂取量の目安のページが厚紙になっており、ページ構成の工夫によりP.35からP.42への接続は活用しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○A・B・C・生活の課題と実践の順に配列されている。 ○ガイドランスは口絵として巻頭にあり、行事や世界の衣食住を取り扱っている。 ○現代課題への対応として「契約」（P.228）「キャッシュレス」（P.235）、食品ロス（P.258）、防災グッズの中身（P.216）、児童虐待（P.65）、高齢者との関わり（P.26～27）について詳しく取り扱っている。 ○伝統文化には着物（P.158～159）、郷土料理（P.142～143）、雑煮（P.142）を取り上げている。 ○「五大栄養素」→「栄養素の働き」→「中学生に必要な栄養素」→「食品に含まれる栄養素」→「6つの基礎食品群」→「食品の組み合わせ」→「献立づくり」の単元配列が理解しやすい。また、食品成分表が単元の中に入っている。 ○イラストが多く、キャッシュレス決済やクレジットカード（P.235～237）について詳しく掲載している。 ○学習資料が偶数ページは左、奇数ページは右、またはページの下部に配置している。 ○折込ページ①～⑧は上げると6つの基礎食品群と食品群別摂取量のめやす、食品成分表が一つにまとまっており、活用しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○A・B・C・生活の課題と実践の順に配列されている。 ○ガイドランスは目次も含めて巻頭にある。大谷翔平選手が参考にしてきた「目標達成シート」を取り上げている。 ○現代課題への対応としてヤングケアラー（P.31）、認知症（P.79）、和服の繰り回し（P.207）、防災・災害発生時の対応（P.248～254）、収集される個人情報（P.268）、消費者トラブルの相談窓口や電話番号（P.282）、災害の避難所での生活や再建（P.248～255）などを取り上げている。 ○伝統文化には和服の着用場面（P.206）が写真で提示していたり、帯について（P.209）取り上げている。 ○「食品に含まれる栄養素」からスタートし生徒の興味関心が高いところから指導できるよう工夫している。 ○データとしての表示や資料が多くあり、事象を客観的に捉えることができる。 ○学習資料は偶数ページは左、奇数ページは右、またはページの下部に配置している。 ○P.108～P.113は折込になっており、1日に取りたい食品の量を一目で把握できる。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○「目標」「レッツスタート」「学習課題」を示し「調べてみよう」「まとめよう」「生活に生かそう」で定着を確認できる。 ○「学習のまとめ」は3観点別にまとめられており、また「大切な用語の確認」では自分でチェックをすることができる。 ○実物大の写真（食品（P.44～47）、幼児が使っている物（P.230））は実感を伴うことができる。 ○調理の手順は左から右への表記で、組み合わせる料理例が示され、献立の学習と関連づけを図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「めあて」「キーワード」「学ぶ」「見つめる」を示し「考えてみよう」「調べてみよう」「ふり返る」で定着を確認できる。 ○「学習のふり返り」は3観点別にまとめており、評価につながるやすい。 ○実物大の写真（食品（折込③～⑥））は実感を伴うことができる。 ○調理の手順は上から下への表記で「私のアレンジ」として学びを深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「学習の目標」「キャラクターの言葉かけ」により、めあてを示している。 ○「学習のまとめ」は3観点別にまとめており、評価につながるやすい。 ○実物大の写真、食品（P.108～113）、手形と足形（P.42～43）は実感を伴いやすい。 ○調理の手順は左から右への表記で「配膳例」や「調理方法Q&A」として学びを広げる工夫をしている。 ○食べ物が体の中でどのようになるか（P.104～105）さまざまな換気の方法（P.245）などの資料は理解しやすい。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題の文末が「～だろうか」と問いかけ、ギカットが学習内容を案内し、ミカットが見方考え方を働かせて深い学びにつながるよう工夫されている。P.180～181の危険探しは活用しやすい。 ○生活の課題と実践（選択）は、進め方について説明（横表記）後、実践例（6例 縦表記）を提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「見つめてみよう」「考えてみよう」「話し合ってみよう」「やってみよう」「調べてみよう」など、題材にあわせた深い学びにつながるよう工夫している。 ○生活の課題と実践（選択）は、進め方について説明（横表記 取り組み方例8例）後、実践例（8例 横表記）を提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「やってみよう」「話し合ってみよう」「考えてみよう」により、主体的に取り組むよう工夫している。 ○生活の課題と実践（選択）は、進め方について説明（横表記）後、実践例（10例 縦表記）を提示している。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	技術・家庭科（家庭分野）	種 類	3 種	2 枚中	2 枚
--------	--------------	-----	-----	------	-----

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）		
		2 東京書籍	6 教育図書	9 開隆堂
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	○「レッツ・スタート」で導入になる問いかけがある。わかりやすい表記で、考える動機となり、主体的に学習に向かえたり、グループ活動につながる内容になっている。 ○「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」等の活動や思考ツール（P. 119 P. 171）を取り入れ、主体的・対話的に学習に取り組めるよう工夫している。 ○調理・被服実習例（73 例）	○「考えてみよう」「見つめてみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」「やってみよう」の問いかけにより、導入にグループ活動を取り入れて、主体的・対話的に学習に取り組めるよう工夫している。 ○調理・被服実習例（59 例）	○「考えてみよう」「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」のところで主体的・対話的に学習に取り組めるよう工夫している。 ○調理・被服実習例（61 例）
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	○脚注に「せいかつメモ」「生活に生かそう」として紹介している。 ○基礎的・基本的な内容を踏まえ、生徒の興味・関心に応じて深めていくことのできる内容を取り上げている。	○「発展」「資料」「参考」として紹介している。 ○発展的な内容について問いかけるような記述があり、生徒の理解度や興味・関心に応じて学習を進められるようにしている。	○脚注に「豆知識」として語句などの説明を掲載している。 ○高等学校に関連が深い内容は「発展」として扱われており、近年の課題や現状について伝える内容を取り上げている。
	(5) 他の教科等との関連	○「プロに聞く！」で興味関心を持たせる工夫やキャリア教育との関連を図っている。 ○二次元コードを使用し、Dマークは他教科・小学校での学習内容を確認できるよう工夫している。 ○小学校の学習内容には「小学校リンク」マークを付けている。	○「センパイに聞こう！」はキャリア教育との関連を図っている。 ○他教科との関連をガイドするマークで示している。 ○道徳について、さまざまな人と助け合い、生活していく上で大切なことには「共生」マークを付けている。	○「先輩からのエール」で興味関心を持たせる工夫やキャリア教育との関連を図っている。 ○他教科・他分野との関連をガイドする内容はマークで示している。 ○小学校の学習と関連する項目に「小学校との関連マーク」を付けている。 ○「食べものは体の中でどうなるのかみてみよう」（P. 104）は一目で理解でき、理科「消化吸収」とリンクしている。
3 使用上の便宜が工夫されていること	(1) 表記・表現の工夫	○サイズは AB 版で総計は 291 ページ、爪見出しは上下である。約 560g。 ○重要語句は黒のゴシック体でありルビ打ちが多い。 ○優しい色遣いで、編ごとにページ全体を色分けしている。 ○各節「目標」から「まとめの活動」の流れで統一している。 ○実習の手順などは、左から右に読み進める横の流れで統一している。 ○包丁の内容では、左利き（P. 68）の例も取り上げている。 ○多様な家族の形についてアニメや漫画で 7 組例示し、家族の絵本を 1 つ紹介している（P. 20～21）。 ○日本各地の住まいの例（P. 174）では暑さを防ぐ観点から「町家」を取り上げている。 ○地域の食材として「京野菜」（P. 99）が扱われている。 ○巻末には SDGs についてまとめられている。 ○デジタルコンテンツがある場合、奇数ページの右上に該当の二次元コードを記載している。	○サイズは A 変型で総計は 279 ページ、爪見出しは上下である。約 630g。 ○重要語句は青のゴシック体で、文字の色が濃い。 ○図や写真はカラフルな色づかいで、章ごとに見出しを色分けしている。 ○各節「見つめる」から「ふり返る」の流れで統一している。 ○実習の手順などは、上から下に読み進める縦の流れで表記している。 ○材料を持つ手では、左利きの例（P. 105）も取り上げている。 ○多様な家族の形についてアニメや漫画などで 7 組例示している（P. 14～15）。 ○日本各地の住まいの例（P. 198）では、「舟屋」を取り上げている。 ○伝統野菜として「賀茂なす」（P. 140）郷土料理に京都の「お雑煮」の例（P. 142）「さば棒ずし」（P. 143）が扱われている。 ○巻末には食の学習シールの付属、マーク・ラベルがまとめられている。 ○デジタルコンテンツがある場合、奇数ページの右下に資料名と該当の二次元コードを記載している。	○サイズは AB 版で総計は 312 ページ、爪見出しは上部である。約 570g ○重要語句は黒のゴシック体である。 ○大單元ごとにページの上部を色分けしている。 ○各節「節タイトル」から「学習のまとめ」の流れで統一している。 ○実習の手順などは、左から右に読み進める横の流れで統一している。 ○食事のマナー（P. 119）、材料のおさえ方（P. 122）では、イラストで左利きの例も取り上げている。 ○多様な家族の形についてイラストで 10 組例示し、家族の絵本を 3 種類紹介している（P. 26～27）。 ○日本の気候風土と住まい（P. 240）では、京都府伊根町の住宅を写真で紹介している。 ○郷土料理に「にしんなす」（P. 161）を取り上げている。 ○巻末には「世界の生活文化」「マーク」「プラスチック汚染」についてまとめられている。 ○デジタルコンテンツがある場合、奇数ページの右上に該当の二次元コードを記載している。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	英語	種類	6種	2枚中	1枚
--------	----	----	----	-----	----

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		2 東京書籍	9 開隆堂	15 三省堂	17 教育出版
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること	(1) 全体としての特徴や創意工夫	○生徒の好奇心をかきたてる教材をそろえ、生徒が自ら学びたい工夫がある。 ○各学年・学期の到達点を CAN-DO リストとして示し、目標に向かって学習を進められるように編集されている。	○CAN-DO リスト形式の学習到達目標を設定し、4技能5領域の総合的育成ができる構成である。 ○多様なパフォーマンステストを想定した形式となっている。	○CAN-DO リスト形式の学習到達目標を設定し、4技能5領域の総合的育成ができる構成である。 ○巻末の付録が充実している。	○即興的な会話を重視した内容となっている。 ○CAN-DO リスト形式の学習到達目標を設定し、4技能5領域の総合的育成ができる構成である。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	○スモールステップで英語力を高められるよう、「扉→Part1・2→Read and Think1・2→Unit Activity」の流れで、学習を進められるよう配慮されている。 ○扉ページにゴールの活動が示されており、生徒は目的意識を持って言語活動に取り組むことができる。	○「扉→Scenes→Tuning in→本文→Review & Retell→Action→英語早わかり」の構成で、知識・技能の習得を図る。 ○各ユニットの冒頭に、ゴールの活動が示されており、生徒が目的意識を持って取り組めるよう工夫されている。	○扉やPart1,2で新しい文法事項を学び、活用ができるようになっている。 ○各学年のLesson1は、前学年の復習ページとなっており、各学年との接続がスムーズである。 ○2年生では、現在完了を取り扱っている。	○「扉→Part→Task, Grammar」の構成で知識・技能の習得を図る。Key sentence として文法事項が明示されている。 ○「Active Plus」は帯活動で使用できる。 ○1年生のSpring BoardとUnit 1,2で小学校との接続となる単元を設定している。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	○「Unit・Real Life English・Stage Activity」を通して、思考力・判断力・表現力などの育成を目指す構成となっている。 ○よりリアルな場面設定のもとで実践的なコミュニケーション力を伸ばせる。	○話すことを意識した「Retell」や、書くことを意識した「Action」を取り入れている。 ○「Our Project」が数Unitごとに配置され、既習の知識・技能を活用した統合型の言語活動に取り組むことができる。	○Unitごとのまとめページ、「Activity」や「Take action!」というページから、単元ごとの目標に向けて、目的や場面を具体的に意識して活動に取り組むことができる。	○「Project」が数ユニットごとに配置され、それまでに学んだ知識・技能を活用した統合型の言語活動に取り組むことができる。
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	○「学び方コーナー」で英語学習のポイントやコツを取り上げ、英語を学ぶ主体的な学習態度を育成することを目指している。 ○二次元コードやURLが示されており、英語の音声や動画を視聴できるよう工夫されている。	○各ページに二次元コードがあり、語句や本文を聞いたり、文法説明の動画を観たりすることができる。 ○「単語アプリ」というコンテンツが用意されており、自学自習を勧めやすい工夫がされている。	○デジタルコンテンツが充実しており、文法動画の解説や英和辞典が収録されており、自分の発音をAIが採点する機能がある。 ○各学年の巻末にCAN-DOリストが掲載されており、学習の見直しをもちたり、取組を振り返ったりして、自分の力を確認できる。	○巻末に3ヶ年分のCAN-DOリストを掲載している。 ○各ページに二次元コードがあり、本文を聞くことができる。 ○「Tips for reading, listening, writing, speaking」が各学年・各ユニットごとに設定され、自学に役立つ内容となっている。
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	○「Let's Read」を各ユニットの最後に配置している。	○単元外として、各学年に「Further reading」を設定している。	○単元外として、各学年に「Further reading」を設定している。	○単元外として各学年で「Further reading」を設定している。
	(5) 他の教科等との関連	○SDGsの17の目標に関連した題材や平和や国際理解・国際貢献の視点から、多様な国々を取り上げることで、各教科との関連を意識させ、世界へ目を向け視野を広げる工夫がある。	○伝統文化や異文化、国際理解、自然科学、SDGsに関連した題材があるとともに、社・理・技家等教科横断的に関連付けた内容を設定している。	○伝統文化や異文化、国際理解、自然科学、SDGsに関連した題材があるとともに、他教科や道徳等教科横断的に関連付けた内容を設定している。	○伝統文化や異文化、国際理解、自然科学、働くことの意義、SDGsなどに関連した題材があるとともに、国語・社会・理科・家庭科・道徳など教科横断的に関連付けた内容を設定している。
3 使用上の便宜が工夫されていること	(1) 表記・表現の工夫	○視認性や書きやすさに配慮された書体を採用し、カラーユニバーサルデザインの観点から配色及びデザインの検証を行うことで、紙面上のデザインや配置を統一し、安心して学習に取り組める。 ○A4版を採用している。	○1年次では特別支援教育の視点から、誰もが識字しやすいUDフォントや、内容が伝わりやすい配色・デザインを使用している。 ○4技能を明示するマークを記載している。 ○必修重要語を太字で明示している。 ○A4版を採用している。	○特別支援教育の視点で、誰もが識字しやすいUDフォントや内容が伝わりやすい配色・デザインを使用している。 ○必修重要語を太字で明示している。 ○A4版を採用している。	○文字は、学習段階に応じた書体3種類を使用、ユニバーサルデザインフォントやCUDを採用している。アイコンで活動内容をわかりやすく明示している。 ○AB版を採用している。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	英語	種類	6種	2枚中	2枚
--------	----	----	----	-----	----

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		38 光村図書	61 啓林館		
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること	(1) 全体としての特徴や創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○4人の中学生のストーリーを通じて、生活に活用できる知識を身につけられるよう工夫されている。 ○CAN-DOリストにより学習到達目標を設定し、4技能5領域を自主的・自律的にバランス良く学習できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単元ごとの目標を明示すると共に、CAN-DOリスト形式の学習目標を巻末に掲載し、4技能5領域の総合的育成ができる構成である。 ○小学校での学びを振り返り、小中接続を意識した丁寧な構成である。 		
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校で既習の語句・表現にマークがある。 ○1年生の初期は小中接続を意識した構成となっている。 ○「扉→Part→Goal」の構成で、目標に向かって学習できるよう各活動が設定されている。 ○各基本文には、文法の解説動画が用意されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「扉→Part」の構成で知識・技能の習得を図っている。 ○Targetとして文法事項が明示されており、単元の最後に文法が整理されている。1年生のUnit5までを小中接続期とし、小・中学校の学習をスムーズにつなげるため既習事項を踏まえた文法配列を設定している。 		
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○思考・判断・表現力を養うための活動を明確にするため、アイコンを付記している。 ○登場人物になりきってせりふの続きを考える「You're the Writer!」を設定し、ストーリーを生かす工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○UnitのInput, Outputの目標に基づき、目的・場面・状況を確認し、4技能5領域の育成を図っている。 ○「Project」を数Unitごとに設定し、統合的な言語活動を行うことができる。 		
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学べるよう、学習目標を明示し、各Unitの「Goal」と「You Can Do It!」に振り返りを設定している。 ○「Let's Chat」では、友達や先生と対話しながら考えを深められるよう工夫されている。 ○二次元コードによる内容も充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末にCAN-DOリストを掲載している。 ○各ページに二次元コードがあり、本文音声、アニメーション、Target文法の解説を見聞きすることができる。 ○英語の学び方が2～3回ほどあり、自学に役立つ内容となっている。 		
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○「Let's Read More」を各学年の巻末に配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「Let's Read」を数ユニット毎に設定している。 		
	(5) 他の教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ジェンダーへの配慮、環境問題等を取り扱ったり、伝統文化を尊重し国と郷土を愛し、他国に向けて発信できる力を養うように配慮されたり、他教科との関連が意識されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統文化や異文化、国際理解、自然科学、SDGsに関連した題材があるとともに、国語・社会・数学・理科・道徳など教科横断的に関連付けた内容を設定している。 		
3 使用上の便宜が工夫されていること	(1) 表記・表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○日本語には、UD書体を使用し、英語については、小中接続期の手書き体からブロック体、セリフ体へと無理なく移行している。 ○全ページにわたりカラーUDの専門家による指導・校閲がなされている。 ○A4版を採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育の観点から、誰もが識字しやすいUDフォントや内容が伝わりやすい配色・デザインを使用している。 ○4技能を明示する印を記載している。 ○必修重要語を太字で明示している。 ○A4版を採用している。 		

教科用図書調査報告書

教科・種目名	特別の教科 道徳	種類	7種	2 枚中 1 枚
--------	----------	----	----	----------

採択基準	基本観点	発行者名 (番号・略号)			
		2 東京書籍	17 教育出版	38 光村図書	116 日本文教出版
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	○本編のみで構成されており、本冊で35時間学習を行うことが可能である。 ○各頁に4つの視点を示すとともに、タイトル部分に色分けがされている。 ○内容項目の一覧が掲載されている。 ○巻末に学期ごとの振り返りができるシートが用意されている。 ○教材ごとに学習のテーマが設定されており、導入として活用することができる。	○本編のみで構成されており、本冊で35時間学習を行うことが可能である。 ○読み物やコラム等の補助教材により、学習が深められるよう工夫されている。 ○巻末に学期、1年間の振り返りができるシートが用意されている。 ○教材の配列が年間を通してバランスよく構成されている。 ○教材ごと4つの視点が掲載されている。	○本編のみで構成されており、本冊で35時間学習を行うことが可能である。 ○視点を明確にして学習できるよう、テーマ別に複数の教材がユニットとして構成されている。 ○巻末の「まなびの記録」で教材ごと、1年間を通しての学びの振り返りができるよう工夫されている。 ○教材ごとに視点と内容項目が掲載されている。	○本編と別冊「道徳ノート」によって構成されており、本冊で35時間学習を行うことが可能である。 ○教材とコラムを組み合わせ、ユニットとして構成されている。 ○別冊「道徳ノート」があり、振り返りを行うことができるよう工夫されている。 ○教材の配列が年間を通じてバランス良く構成されており、内容項目が分散配列されている。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(1) 道徳的諸価値についての理解を深めるための工夫	○「考えよう」や「見つめよう」で追加の発問や新たな視点が紹介されており、生徒の深い学びを促す工夫がされている。 ○各教材に「つぶやき」のスペースが設けられている。	○教材の冒頭に「導入」の問いが設定されており、教材を通して考える道徳的価値を意識付けることができるように工夫されている。	○教科書紙面の二次元コードから動画や資料が用意されており、教材理解や考えを深める工夫がされている。 ○巻末に付録として「まなびの道具箱」がついており、自分の考えを深められるように工夫されている。	○教材ごとに「考えてみよう」と「自分にプラスワン」の設定、「学びのキーワード」があり、道徳的価値などを深められる工夫がされている。
	(2) 物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めるための工夫	○二次元コードを読み取ることで、関連動画や資料を参照できる。 ○知名度のある人物を題材とした教材がある。YouTuberを題材にしているものもある。	○教材の最後に「学びの道しるべ」として発問が3つ掲載されている。 ○生徒の生活実態に沿った教材や、現代的な課題、人物を扱った教材が用意されている。	○教材の最後に「見方を変えて」という発問が用意されている。 ○実在する人物や、漫画形式ケーススタディで考える教材など、多様な教材を取り上げている。	○よく知っているスポーツ選手やスポーツ漫画などの教材がそろっており、生徒たちが興味や関心を持つような工夫がされている。
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	○心情円という付属品が付いており、自分の学びを具体化しながら学ぶことができる。 ○「Plus」という項目が設けられており、視点を変えて考えを深めたり、ロールプレイングを行ったりできる教材が掲載されている。	○各学年に3か所「やってみよう」が設定されており、役割演技や話し合いなどを取り入れ、主体的・対話的に取り組むことができるように工夫されている。	○学びのテーマや発問が教材の最後に掲載され、生徒が何を学ぶのかを意識できるよう工夫されている。 ○登場人物への自我関与、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習が可能となるよう構成されている。	○別冊の「道徳ノート」には二次元コードが設定されており、ICT端末で読み込むことで、心情メーターやシンキングツールを利用することができる。
	(4) 情報モラルと現代的な課題の取扱い	○「いじめ」や「命」を題材にしたものはそれぞれ連続して配置されており、様々な視点から考えることができるよう工夫されている。 ○SDGsやSNS、伝統・文化も多く扱っている。	○いじめ等の人権課題、共生社会と生命の尊さをユニット化し、連続して複数の教材に取り組めるよう設定されている。 ○「一年間の道徳で学んだこと」にSDGsとの関連が示されている。	○情報モラル、環境、人権、いじめ問題をユニットのテーマとして重点的に取り上げられている。 ○人権週間に合わせて人権への考えを深めるユニットが配置されている。	○いじめや多様性社会について、ユニット構成が組まれており、深く考えられるように工夫されている。 ○国際問題やSDGs、情報モラルなどを考えられる教材となっている。
	(5) 他の教科等との関連	○巻末の教材一覧表では内容項目別に並べられ、他の教科等との関連が示されている。	○巻末の内容項目別教材一覧表に掲載されている。	○教材の最後と巻末に掲載されている。	○巻末の頁で、教材ごとに他教科等との関連を一覧表として明示している。
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫	○AB版 ○UDフォントを使用している。 ○学年に応じて、漢字にルビを振っている。	○B5版 ○UDフォントを使用している。 ○中学で学習する常用漢字には、全ての教材で初出箇所にルビ、固有名詞には全てにルビを振っている。	○B5変型版 ○UDフォントを使用している ○中学校以上配当の常用漢字にルビを振っている。	○B5版 ○UDフォントを使用している ○学年に応じ、漢字にルビを振っている。

教科用図書調査報告書

教科・種目名	特別の教科 道徳	種 類	7種	2 枚中 2 枚
--------	----------	-----	----	----------

採択基準	基本観点	発行者名（番号・略号）			
		224 学研出版	232 あかつき教育図書	233 日本教科書	
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○本編のみで構成されており、本冊で35時間学習を行うことが可能である。 ○4つの観点ごとに教材がまとめられて色分けがされている。 ○内容項目ごとに教材の配列がバランス良く構成されている。 ○巻末に「学びの記録」があり、学期ごとに振り返りができるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本編のみで構成されており、本冊で35時間学習を行うことが可能である。 ○巻末に学期ごとに、また1年間の学習を振り返ることができるシートが用意されている。 ○年間を通してバランスよく教材の配列がされている。 ○教材ごとに4つの視点が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本編のみで構成されており、本冊で34時間学習を行うことが可能である。 ○読み物教材にコラム等を組み合わせて学習できるように構成されている。 ○すべての内容項目を扱っている。 ○タイトル部分に色分けがされている。 	
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること	(1) 道徳的諸価値についての理解を深めるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○教材ごとに「考えよう」が設定されており、教材を通して自分自身を振り返ることができる工夫がされている。 ○教材のタイトルとともに、キーフレーズが示されている。 ○教材ごとに日本の各地域と関連があるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○導入用動画や終末動画が用意されており、教材理解や考えを深めるための工夫がされている。 ○重点項目を自主、自立自由と責任・思いやり、感謝・生命の尊さ・よりよく生きる喜びと定め、各項目3時間分配当している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各頁で「考えよう」や「深めよう」という追加発問が掲載されており、生徒の「深い学び」を促す工夫がされている。 	
	(2) 物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○重点的に扱うテーマでは、複数の教材がユニットとして構成されている。 ○教材ごとに「13の現代的課題のマーク」が掲載されており、他の教材と関連して学ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材の最後に3つの視点からの発問が用意されている。 ○「Thinking」というコラムページが複数用意されており、学びを広げられるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○二次元コードを読み取ることで、関連動画や資料を参照でき、様々な視点で考えを深めることができる。 ○伝統や文化、郷土について学習できる内容が多い。 	
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に「考えを深める4つのステップ」が掲載され、学習の流れが示されており、学びを深めることができる。 ○教材ごとに二次元コードが掲載されており、資料等を活用できるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各学年に3か所「マイ・プラス」が設定されており、主体的・対話的に取り組むことができる。 ○スポーツ選手や実在の人物など、生徒が興味関心を持つような教材が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末に「ウェルビーイングカード」がついており、生徒自身がどのような価値を大事にしているかを意識したり、生徒同士で議論することができるよう工夫されている。 	
	(4) 情報モラルと現代的な課題の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○SDGs、多様性、いじめ防止などの現代的課題を取り扱っている。 ○防災教育、キャリア教育にも対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○現代的課題をユニット化し、連続して複数の教材に取り組めるように設定されている。 ○巻末付録にSDGsとふるさとについてのコラムが掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○SNS関連やいじめなどを扱っている教材が多い。 ○様々なテーマから考えが深められるように、テーマごとの分類表が掲載されている。 	
	(5) 他の教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末に、教材ごとの内容項目との関連を一覧表として示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末の内容一覧に他の教科等の関連が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他教科や領域との関わりは、特に掲載されていない。 	
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○AB版 ○UDフォントを使用している。 ○カラーUDについて配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○B5版 ○UDフォントを使用している。 ○カラーUDについて配慮している。 ○学年に応じて漢字にルビを振っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○AB版 ○UDフォントを使用している。 ○カラーUDについて配慮している。 ○学年に応じて漢字にルビを振っている。 	